

第3期尾鷲市子ども・子育て支援事業計画・
母子保健計画策定に向けたアンケート調査
結果報告書

令和6年6月

尾 鷲 市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の概要	1
2. 本報告書の留意点	1
II. アンケート調査結果	2
1. お子さんご家族の状況について	2
（1）居住地区	2
（2）子どもの年齢	3
（3）世帯人員・子どもの数	4
（4）住居について	5
（5）年収	6
（6）経済的な状況について	9
（7）回答者	13
（8）配偶関係	14
（9）子育てを主に行っている方	15
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	16
（1）子育てに日常にかかわっている方（場所）	16
（2）子育てに最も影響のある環境	17
（3）子どもをみてもらえる親族・知人	18
（4）子どもをみてもらっている状況	19
（5）相談相手・場所	20
3. 保護者の就労状況について	22
（1）妊娠中の就労（就学前児童）	22
（2）妊娠中の休暇のとりやすさ（就学前児童）	22
（3）就労状況	23
（4）就労時間	25
（5）就労時間帯	26
（6）育児休業の取得	27
（7）育児休業後の職場復帰	29
（8）職場復帰時の短時間勤務制度の利用	31
（9）育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由	32
（10）1歳までの育児休業の取得意向	34
4. 仕事と子育て（生活）の両立について	35
（1）希望の生活・働き方ができているか	35
（2）希望どおりに生活できていない、働けていない理由	36
（3）仕事と子育ての両立で大変なこと	38
5. 「定期的な」教育・保育の利用状況について（就学前児童）	40
（1）「定期的な」教育・保育サービスの利用状況	40
（2）教育・保育サービスを利用しない理由	41
（3）利用したい教育・保育サービス	42
6. 地域の子育て支援サービスについて（就学前児童）	43
（1）地域の子育て支援サービスの利用状況・認知度について	43
（2）地域の子育て支援サービスの利用意向について	47
7. お子さんの病気の際の対応について	49
（1）病気やけがの場合の対応	49
（2）利用したい事業	51

(3) 利用しない理由	52
8. お子さんの一時預かり等の利用について（小学生児童）	53
(1) 不定期に利用している子育てサービス	53
(2) 利用していない理由	53
(3) 泊まりがけで子どもを預ける必要性の有無	54
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（就学前児童）	55
(1) 小学校就学後の放課後の過ごし方	55
10. 放課後の過ごし方について（小学生児童）	56
(1) 放課後の過ごし方：現状	56
(2) 放課後の過ごし方：希望	58
(3) 土曜や日曜・祝日、長期休暇中の放課後児童クラブの利用意向	60
11. 子育ての不安や負担について	63
(1) 子育てについて	63
(2) 子育てについての悩みごと	65
12. 子どもの居場所について	69
(1) 子どもがよく遊ぶ場所（就学前児童）	69
(2) 子どもの遊び場について	70
(3) 外出時に困ること	72
13. 市の子育て環境について	74
(1) 市の子育て環境について	74
(2) 子育て支援で期待すること	78
(3) 子育てに関する情報入手方法	80
14. 子どもへのテレビ・インターネット・ゲーム等の影響について	82
(1) 番組や動画などの視聴時間	82
(2) ゲームをする時間	83
(3) スマートフォンやタブレットの使用時間	84
(4) スマートフォンやタブレットの利用開始時期	85
(5) スマートフォンやタブレットの利用についての不安	86
15. 妊娠・出産・子育てについて（就学前児童）	87
(1) 妊娠、出産期の相談相手の有無	87
(2) 産前、産後うつの経験の有無	87
(3) 不妊治療の有無	87
(4) 不妊治療の悩みの相談相手	88
(5) 不妊治療を継続する上での問題点	88
16. 調査結果からみえる課題等	89

I. 調査の概要

1. 調査の概要

「第3期子ども・子育て支援事業計画・母子保健計画」の策定に向け、市民の子育てに関する実態やニーズ等の把握を行うためアンケート調査を実施しました。

▼調査概要

	就学前児童保護者対象 アンケート	小学校就学児保護者対象 アンケート
調査対象	小学校就学前児童の保護者	小学生児童の保護者
調査時期	令和6年2月	令和6年2月
調査方法	保育園・認定こども園での配布・回収、郵送による配布・回収、Webでの回答	学校での配布・回収、Webでの回答
配布数	313	420
回収数	194（うちWeb回答70件）	285（うちWeb回答119件）
回収率	62.0%	67.9%

2. 本報告書の留意点

- ・比率は百分率（％）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100％を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率は“n=〇〇〇”を100％として算出しています。
- ・グラフに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100％を超える場合があります。
- ・問の中には回答を限定する問があり、回答者の数が少ない問が含まれます。
- ・選択肢が長文の場合、省略して表記している場合があります。
- ・選択肢の「その他」などに自由記述の回答があったものは代表的な意見を「◇その他回答」に掲載しています。
- ・「前回調査」は平成30年12月に実施した第2期計画策定のためのアンケート調査結果となります。

Ⅱ. アンケート調査結果

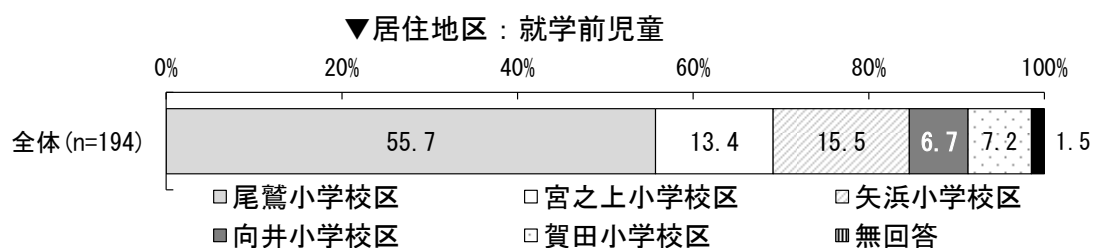
1. お子さんご家族の状況について

(1) 居住地区

問1 お住まいの地区をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

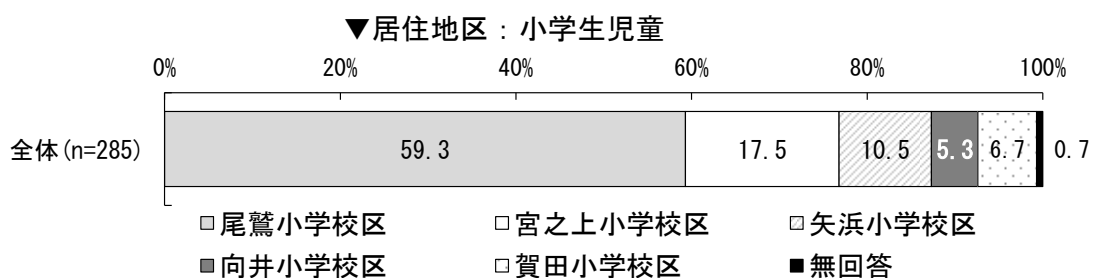
①就学前児童

◆「尾鷲小学校区」が55.7%で最も多く、次いで「矢浜小学校区」(15.5%)、「宮之上小学校区」(13.4%)、「賀田小学校区」(7.2%)、「向井小学校区」(6.7%)が続きます。



②小学生児童

◆「尾鷲小学校区」が59.3%で最も多く、次いで「宮之上小学校区」(17.5%)、「矢浜小学校区」(10.5%)、「賀田小学校区」(6.7%)、「向井小学校区」(5.3%)が続きます。

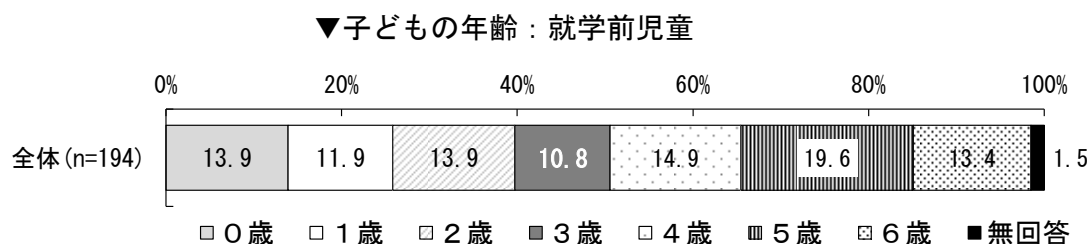


(2) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの年齢（令和6年1月1日現在）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

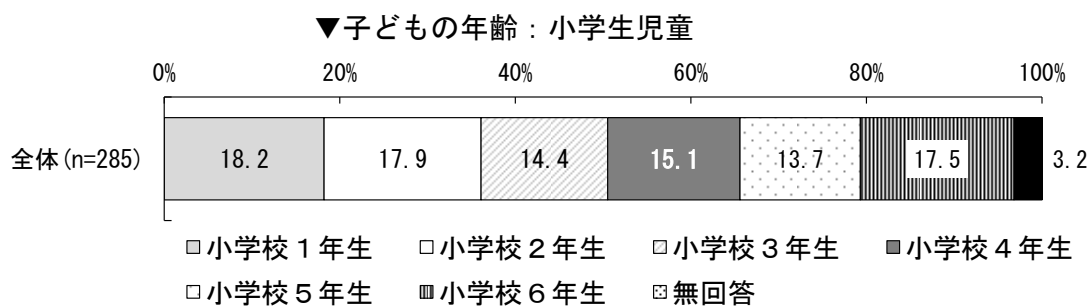
①就学前児童

◆「5歳」（19.6%）が最も多く、次いで「4歳」（14.9%）、「0歳」及び「2歳」（同率13.9%）、「6歳」（13.4%）、「1歳」（11.9%）、「3歳」（10.8%）が続きます。



②小学生児童

◆「小学校1年生」（18.2%）が最も多く、次いで「小学校2年生」（17.9%）、「小学校6年生」（17.5%）、「小学校4年生」（15.1%）、「小学校3年生」（14.4%）、「小学校5年生」（13.7%）が続きます。



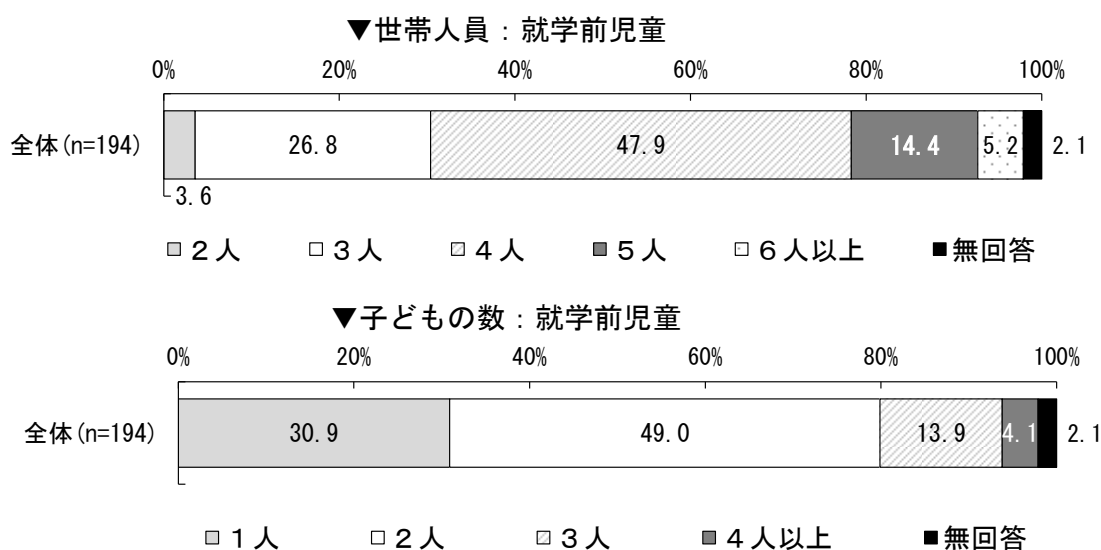
(3) 世帯人員・子どもの数

問3 一緒にお住まいで、生計を共にしているご家族（世帯員）は、あなたを含めて全員で何人ですか。また、そのうちのお子さん（18歳未満）の人数は何人ですか。□に数字をご記入ください。

①就学前児童

◆世帯人員は「4人」が47.9%で最も多く、次いで「3人」(26.8%)、「5人」(14.4%)が続きます。

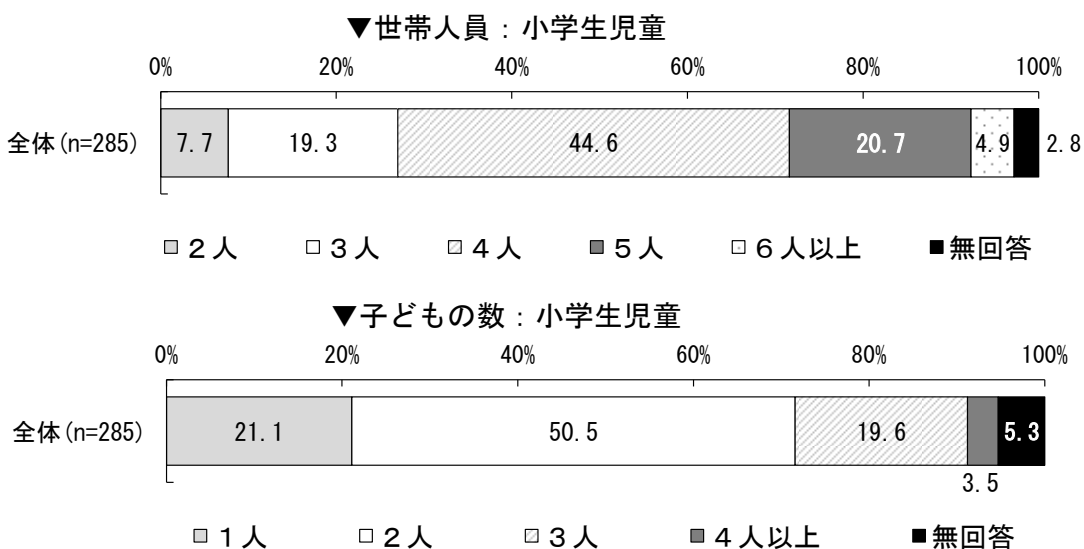
◆子どもの数は「2人」が49.0%で最も多く、次いで「1人」(30.9%)、「3人」(13.9%)が続きます。



②小学生児童

◆世帯人員は「4人」が44.6%で最も多く、次いで「5人」(20.7%)、「3人」(19.3%)が続きます。

◆子どもの数は「2人」が50.5%で最も多く、次いで「1人」(21.1%)、「3人」(19.6%)が続きます。

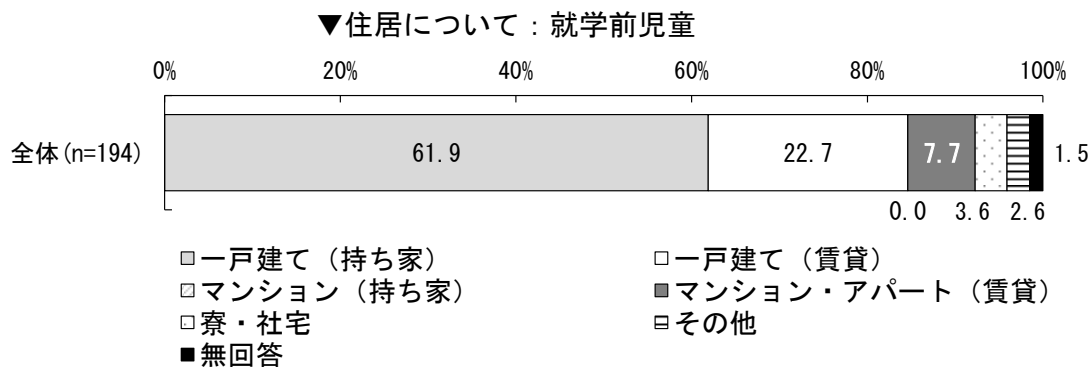


(4) 住居について

問4 現在お住まいの住居の状況をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

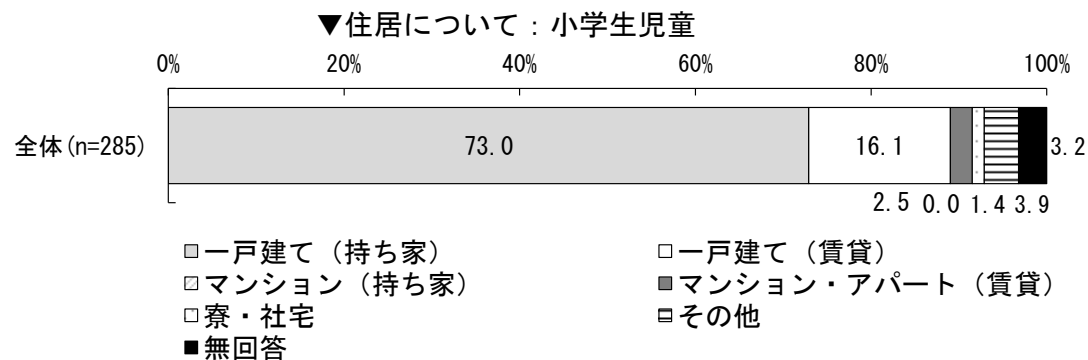
①就学前児童

◆「一戸建て（持ち家）」(61.9%) が最も多く、次いで「一戸建て（賃貸）」(22.7%)、「マンション・アパート（賃貸）」(7.7%) が続きます。



②小学生児童

◆「一戸建て（持ち家）」(73.0%) が最も多く、次いで「一戸建て（賃貸）」(16.1%)、「その他」(3.9%) が続きます。



(5) 年収

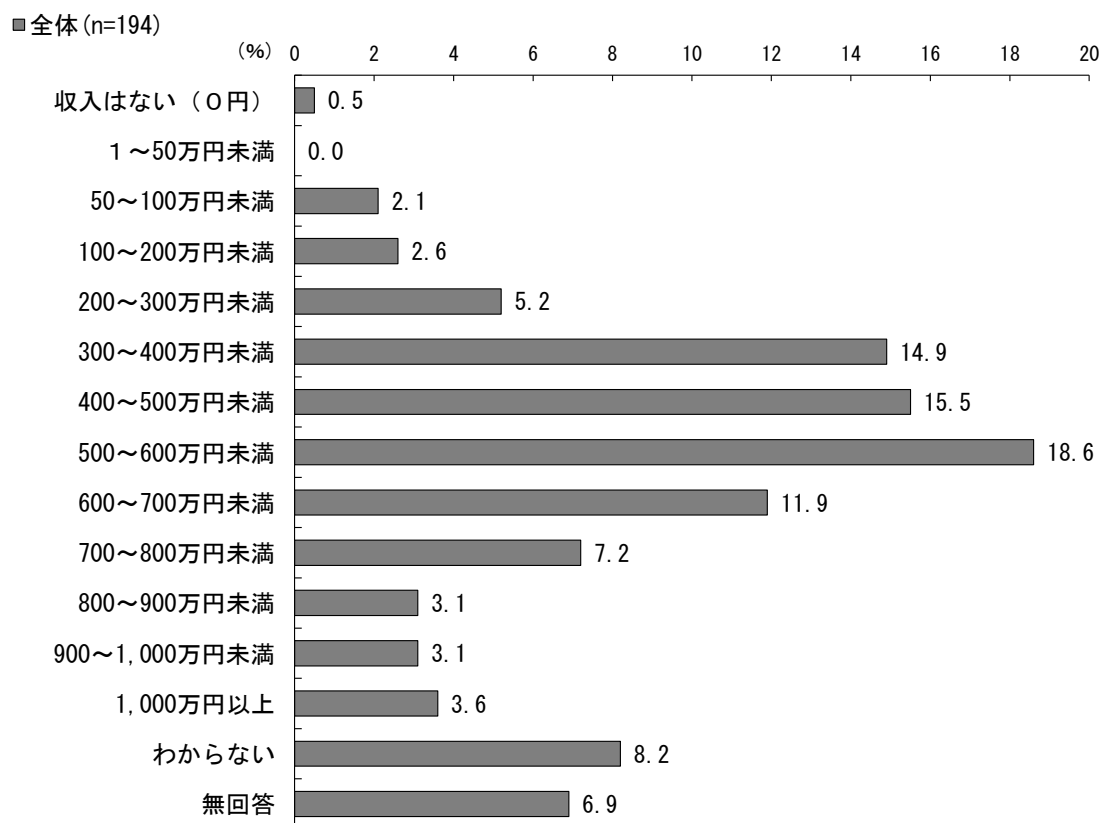
問5 一緒にお住まいで、生計を共にしているご家族全員の収入をあわせた「世帯の年間収入（税込み）」について、昨年（令和5年）はおおよそいくらでしたか。（あてはまるもの1つに○）

①就学前児童

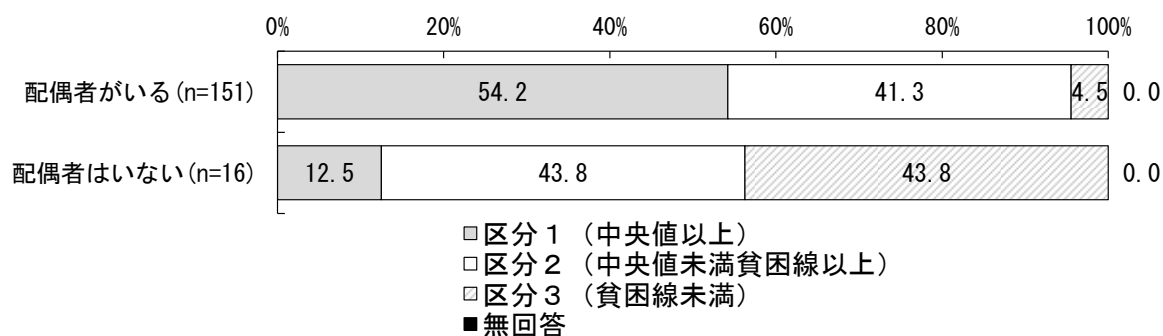
◆「500～600万円未満」（18.6%）が最も多く、次いで「400～500万円未満」（15.5%）、「300～400万円未満」（14.9%）が続きます。

◆世帯人員・年収から等価世帯収入による分類（次ページ参照）した結果を、配偶者の有無でみると、配偶者のいない「ひとり親家庭」では「区分3（貧困線未満）」に分類される割合が43.8%と、配偶者がいる家庭（4.5%）を大きく上回ります。

▼年収：就学前児童



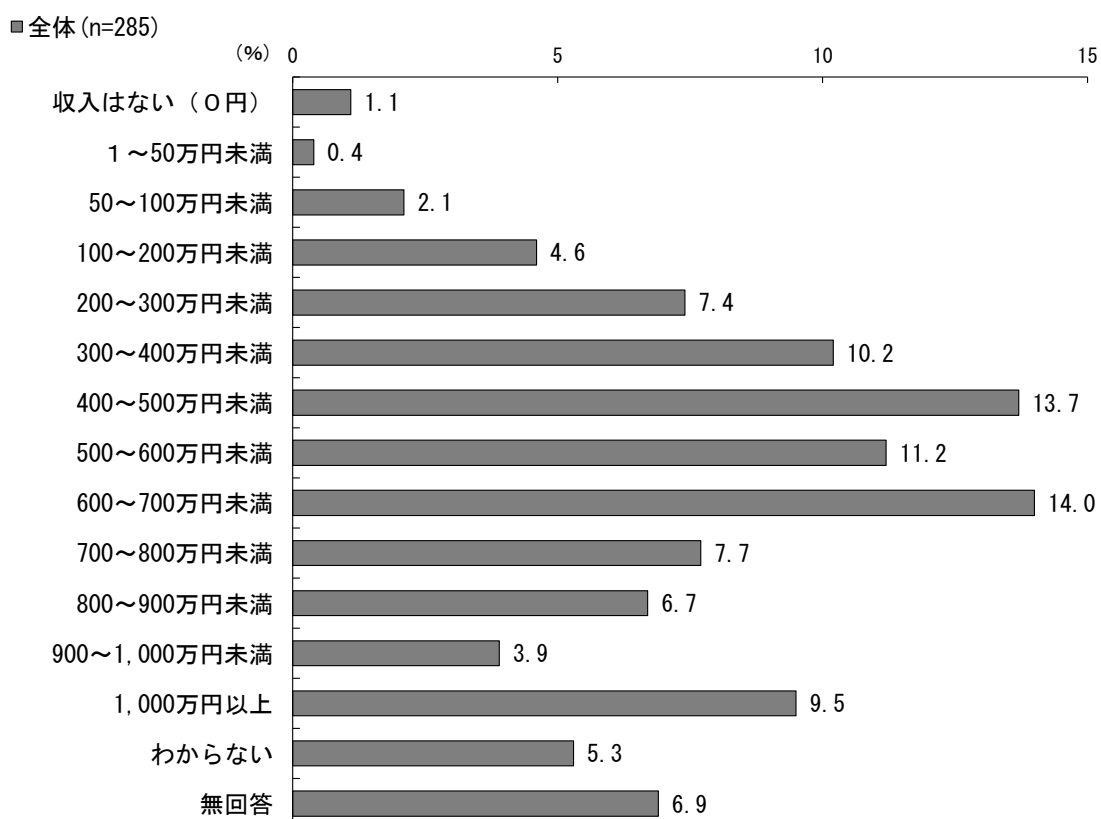
▼等価世帯収入による分類結果（配偶者の有無）：就学前児童



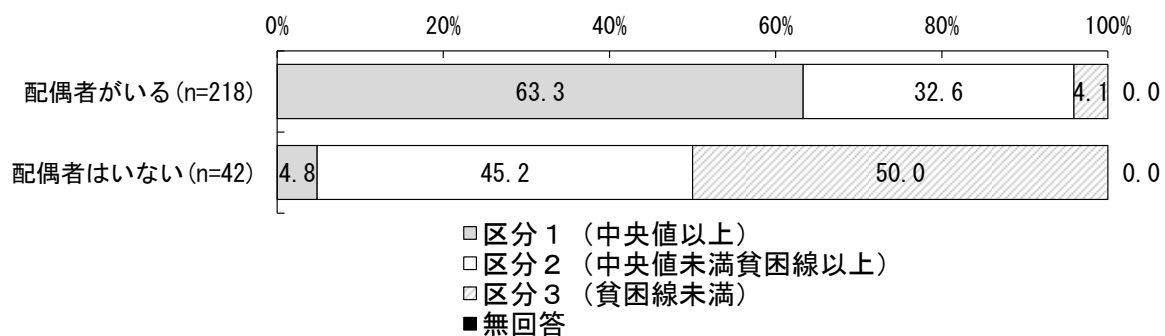
②小学生児童

- ◆「600～700 万円未満」(14.0%) が最も多く、次いで「400～500 万円未満」(13.7%)、「500～600 万円未満」(11.2%)、「300～400 万円未満」(10.2%) が続きます。
- ◆世帯人員・年収から等価世帯収入による分類（次ページ参照）した結果を、配偶者の有無でみると、配偶者のいない「ひとり親家庭」では「区分3（貧困線未満）」に分類される割合が 50.0%と、配偶者がいる家庭（4.1%）を大きく上回ります。

▼年収：小学生児童



▼等価世帯収入による分類結果（配偶者の有無）：小学生児童



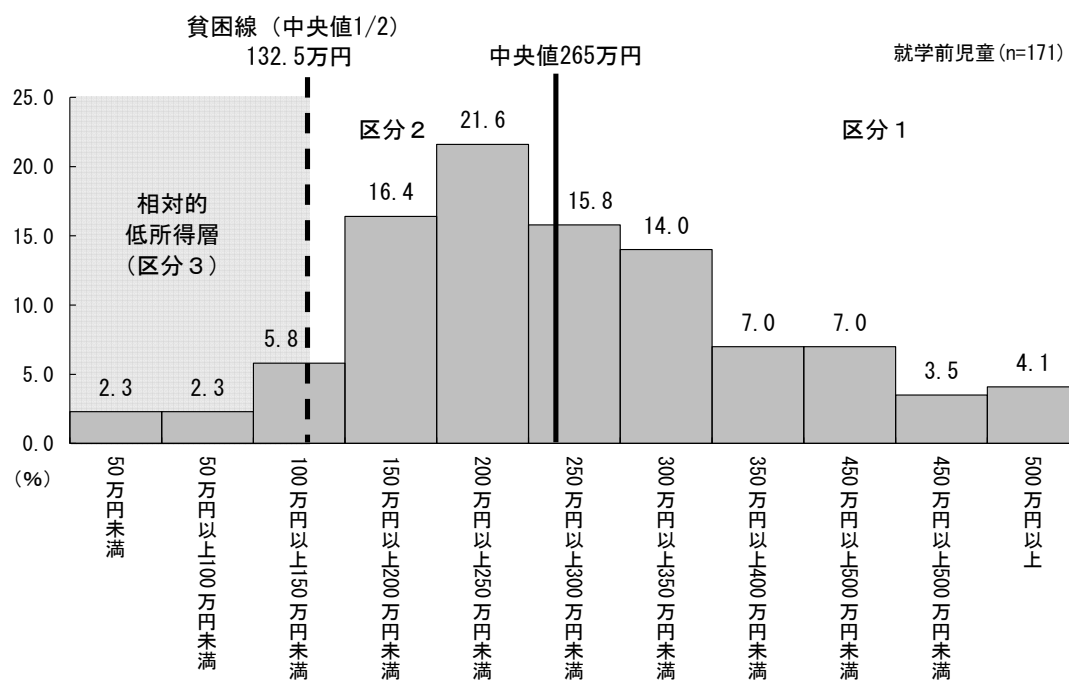
◆等価世帯収入における分類

本調査報告書においては、世帯人員・年収の回答結果から簡易的に分類を行いました。

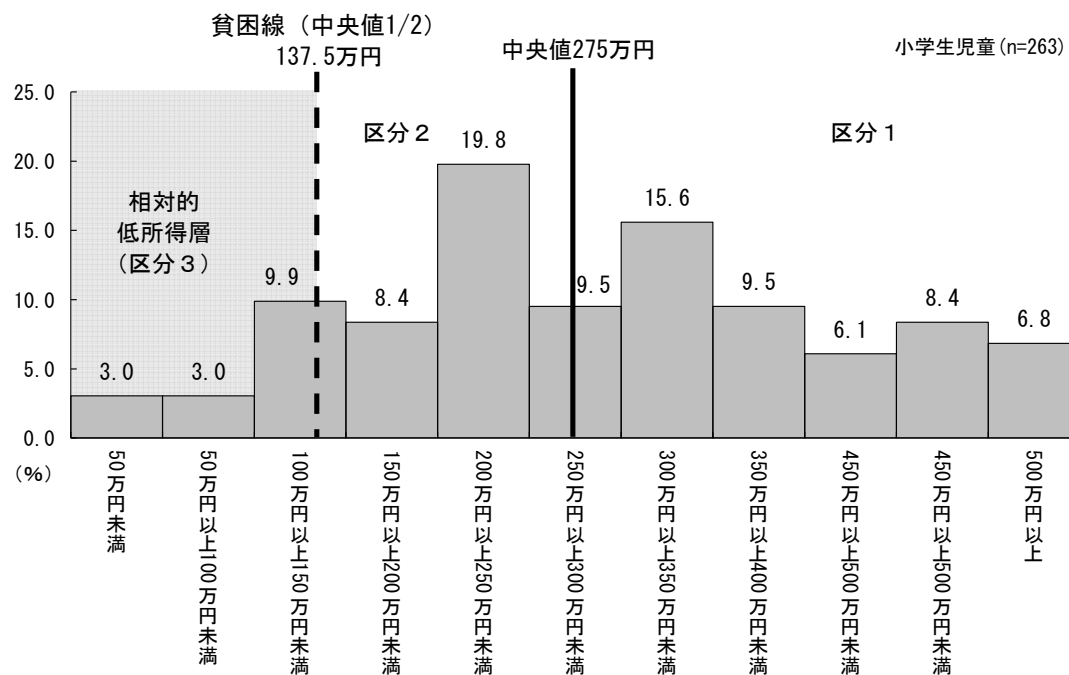
◆算出方法

- ① 年収に関する回答の各選択肢の階級値（階級の間値）をその世帯の収入の値とします。例：年収 300～400 万円未満では 350 万円とします（なお、1,000 万円以上は 1,050 万円）。
- ② ①の値を世帯人員の人数の平方根で除します（等価世帯収入）。
- ③ ②で算出した値の中央値を求め、その中央値の2分の1を「貧困線」として、中央値以上を区分1、中央値未満貧困線以上を区分2、貧困線未満を区分3として分類しました。

▼就学前児童の等価世帯収入分布



▼小学生児童の等価世帯収入分布



(6) 経済的な状況について

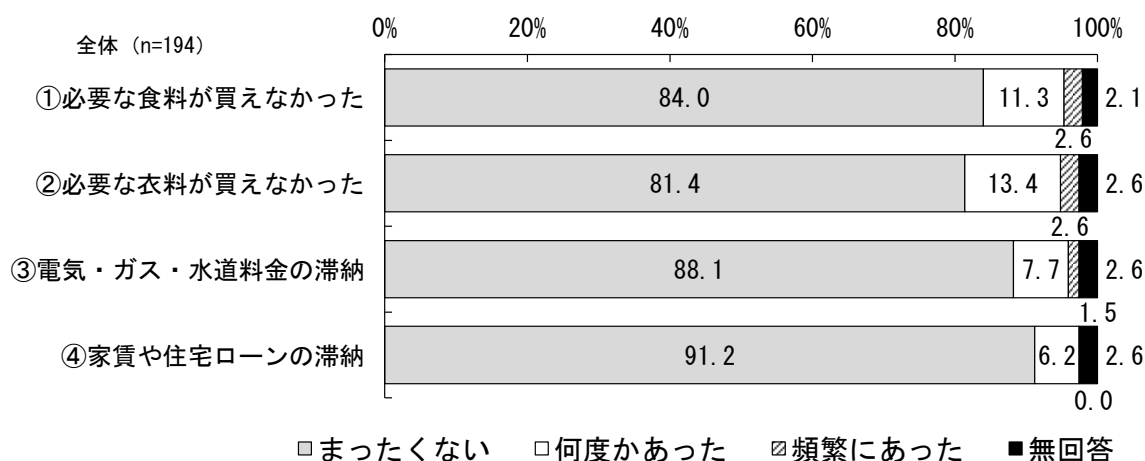
問6 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。(あてはまるもの1つに○)

①就学前児童

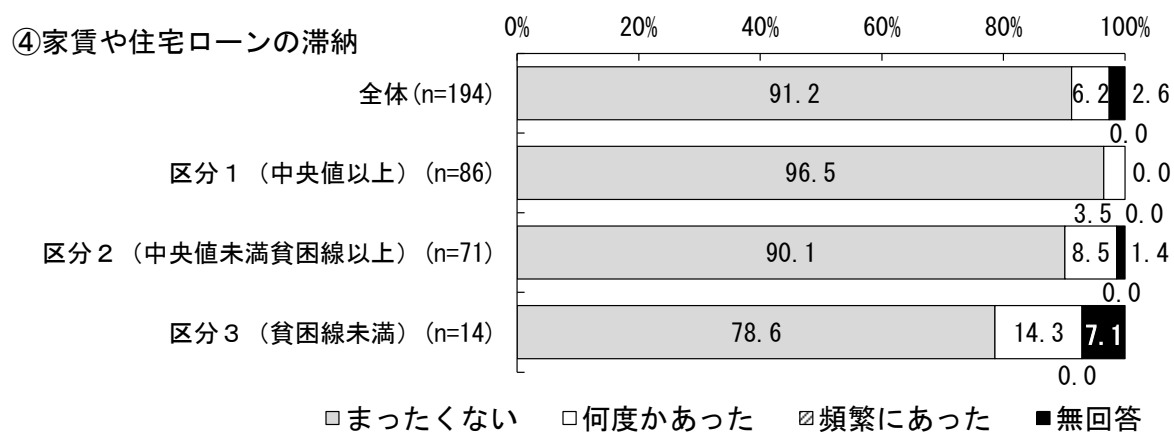
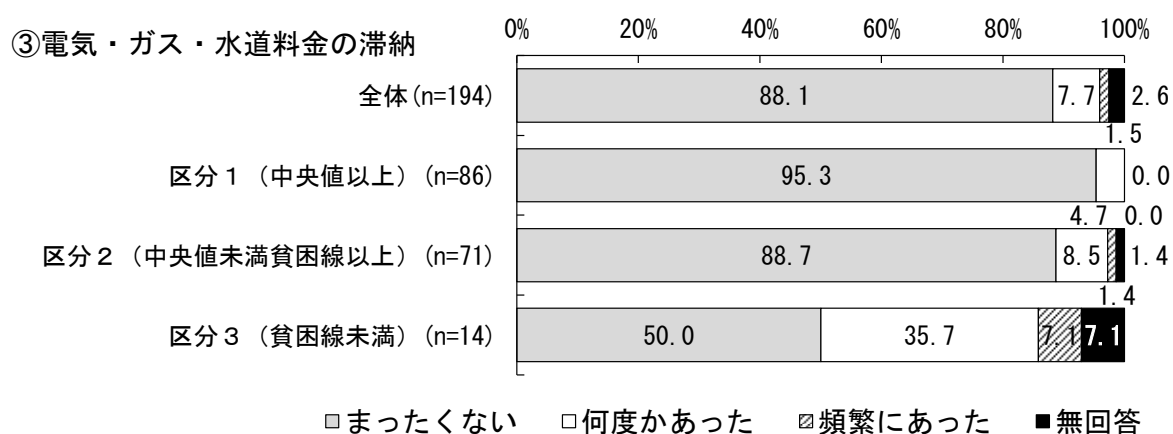
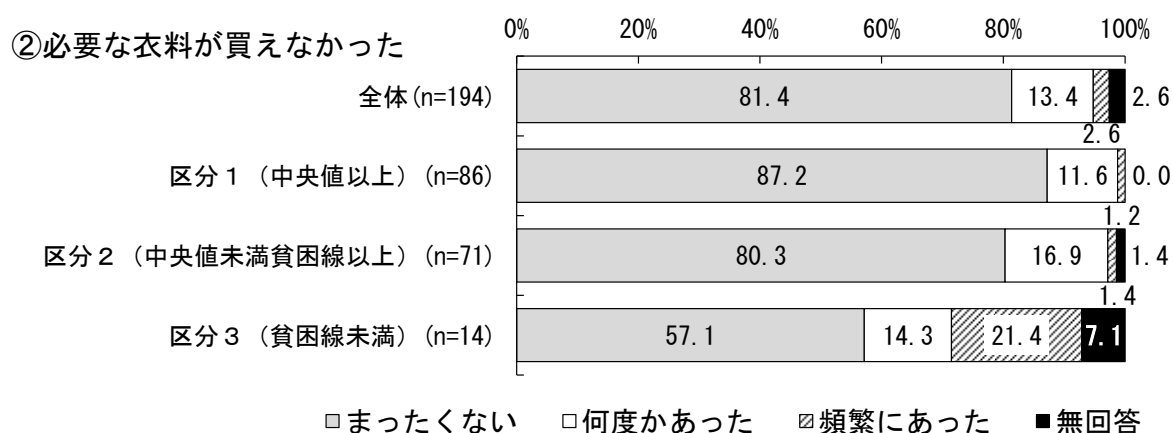
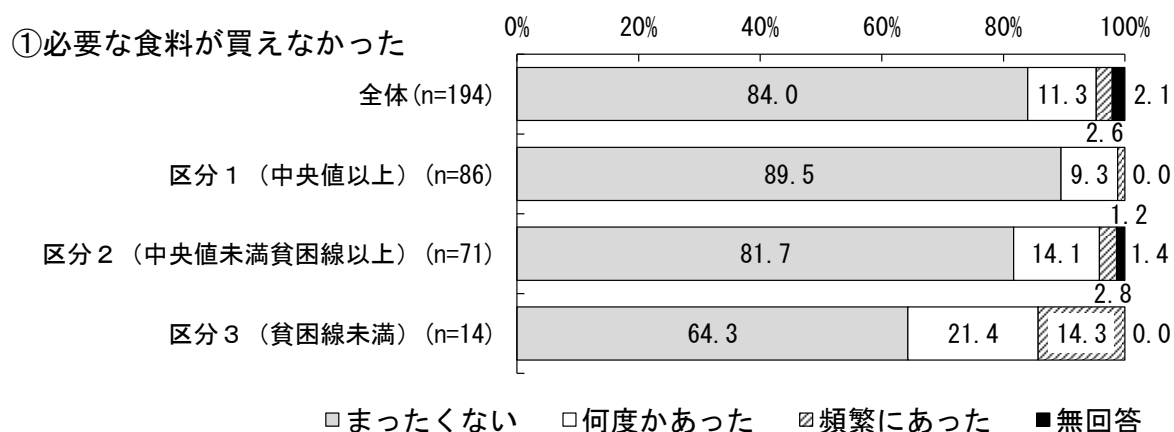
◆『経験があった』(「何度かあった」と「頻繁にあった」の合計)と回答する割合は、「②必要な衣料が買えなかった」で16.0%と最も多く、次いで「①必要な食料が買えなかった」(13.9%)、「③電気・ガス・水道料金の滞納」(9.2%)、「④家賃や住宅ローンの滞納」(6.2%)となっています。

◆等価世帯収入区分別の「区分3(貧困線未満)」の傾向をみると、『経験があった』(「何度かあった」と「頻繁にあった」の合計)の割合は、「③電気・ガス・水道料金の滞納」(42.8%)が最も多く、次いで「①必要な食料が買えなかった」及び「②必要な衣料が買えなかった」(同率35.7%)、「④家賃や住宅ローンの滞納」(14.3%)となっています。

▼経済的な状況について：就学前児童

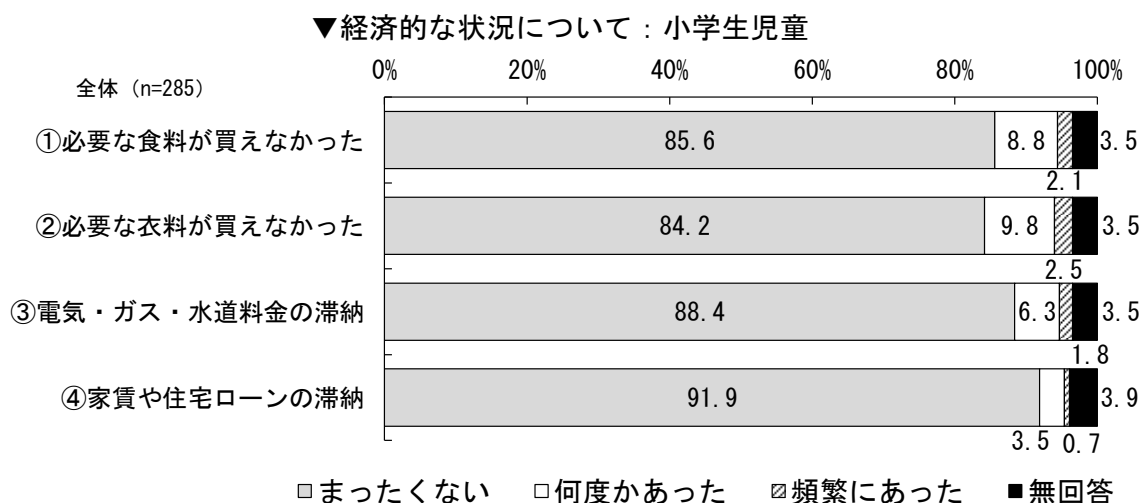


▼経済的な状況について（全体、等価世帯収入区分別）：就学前児童

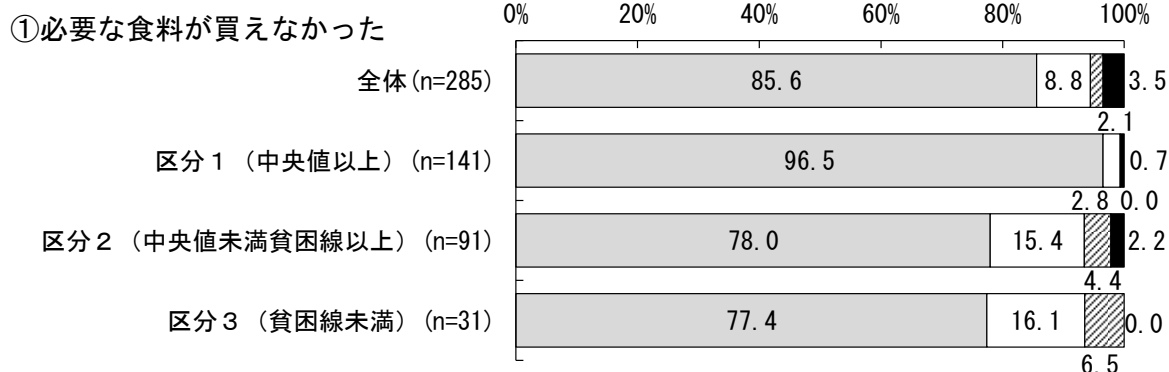


②小学生児童

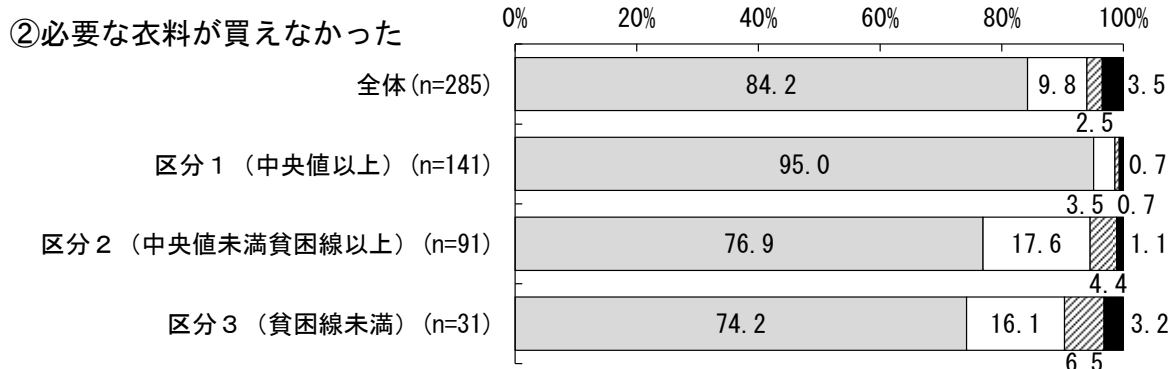
- ◆『経験があった』（「何度かあった」と「頻繁にあった」の合計）と回答する割合は、「②必要な衣料が買えなかった」で 12.3%と最も多く、次いで「①必要な食料が買えなかった」（10.9%）、「③電気・ガス・水道料金の滞納」（8.1%）、「④家賃や住宅ローンの滞納」（4.2%）となっています。
- ◆等価世帯収入区別の「区分3（貧困線未満）」の傾向をみると、『経験があった』（「何度かあった」と「頻繁にあった」の合計）の割合は、「①必要な食料が買えなかった」、「②必要な衣料が買えなかった」及び「③電気・ガス・水道料金の滞納」がそれぞれ 22.6%（同率）となっており、「④家賃や住宅ローンの滞納」は 6.5%となっています。



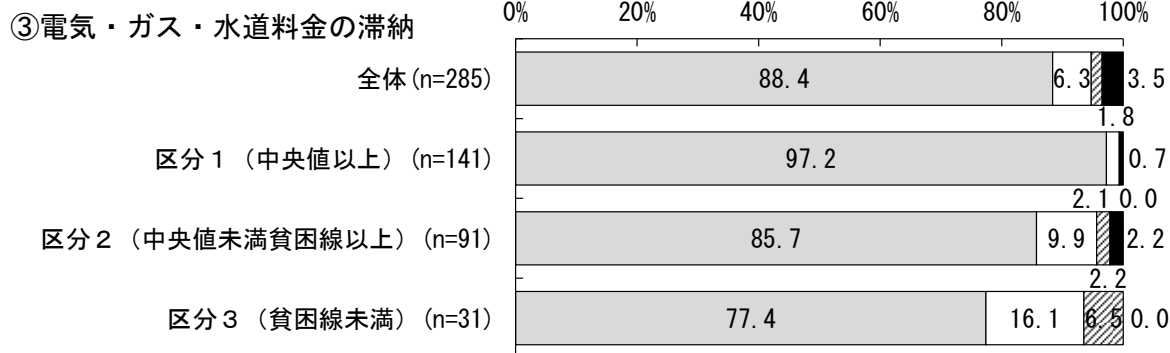
▼経済的な状況について（全体、等価世帯収入区分別）：小学生児童



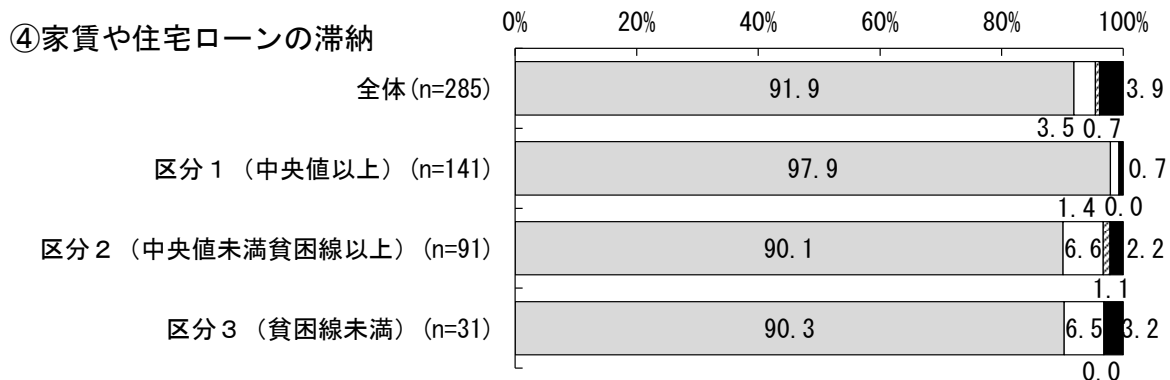
□まったくない □何度かあった ▨頻繁にあった ■無回答



□まったくない □何度かあった ▨頻繁にあった ■無回答



□まったくない □何度かあった ▨頻繁にあった ■無回答



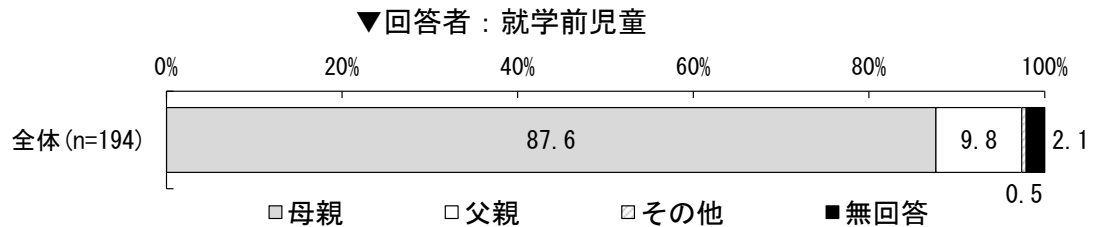
□まったくない □何度かあった ▨頻繁にあった ■無回答

(7) 回答者

問7 この調査にご回答いただく方はどなたですか。(あてはまるもの1つに○)

①就学前児童

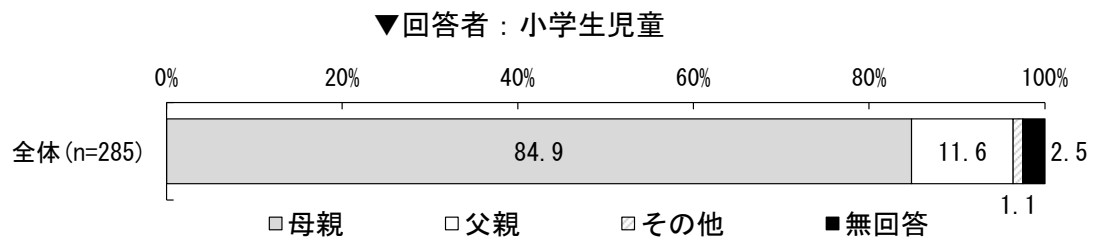
◆「母親」が87.6%を占め、「父親」が9.8%となっています。



◇その他回答：祖母

②小学生児童

◆「母親」が84.9%を占め、「父親」が11.6%となっています。



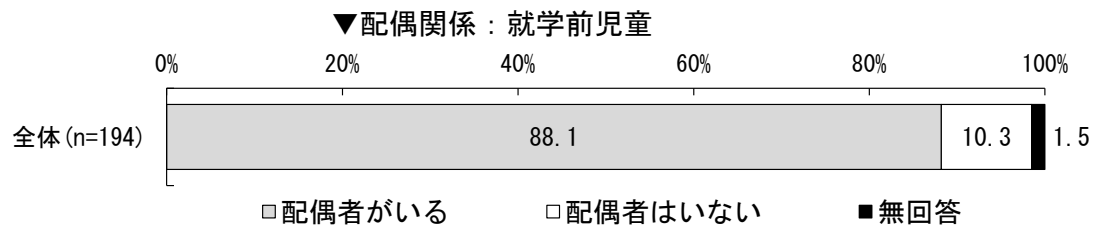
◇その他回答：祖父母／祖母

(8) 配偶関係

問8 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

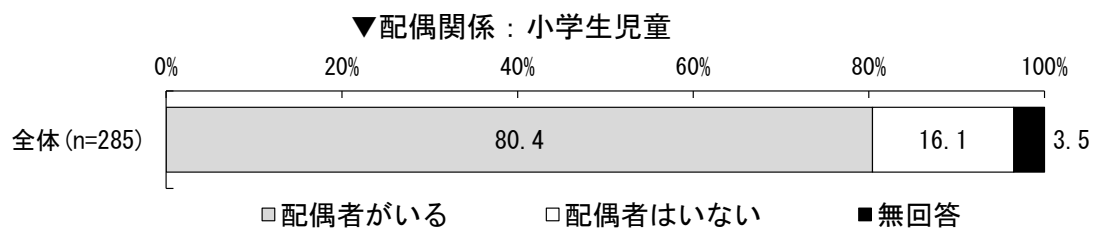
①就学前児童

◆「配偶者がいる」が88.1%と約9割を占めています。



②小学生児童

◆「配偶者がいる」が80.4%と約8割を占めています。



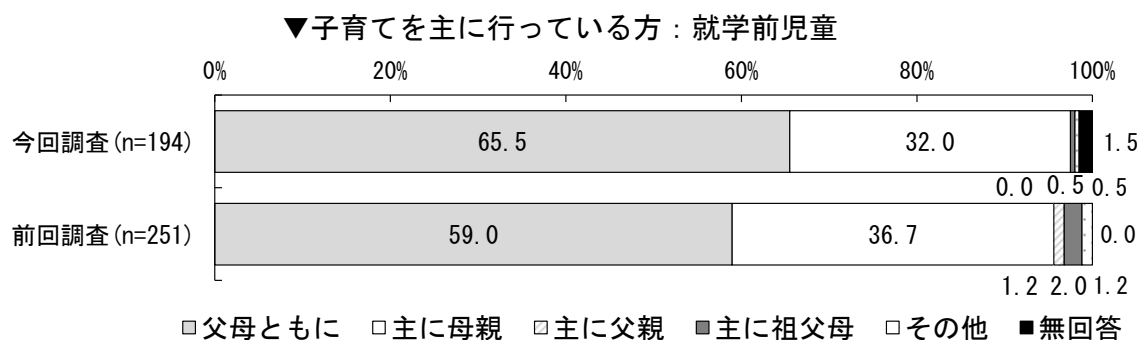
(9) 子育てを主に行っている方

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

①就学前児童

◆「父母ともに」が65.5%を占め、「主に母親」が32.0%で続きます。

◆前回調査から「父母ともに」が約7ポイント増加（59.0%→65.5%）しています。

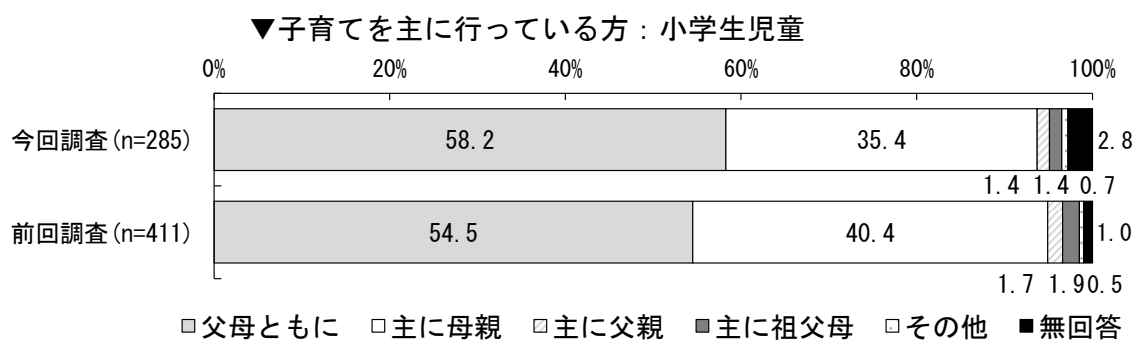


◇その他回答：父母と祖母

②小学生児童

◆「父母ともに」が58.2%を占め、「主に母親」が35.4%で続きます。

◆前回調査から「父母ともに」が約4ポイント増加（54.5%→58.2%）しています。



◇その他回答：父母と祖母／母親と祖母

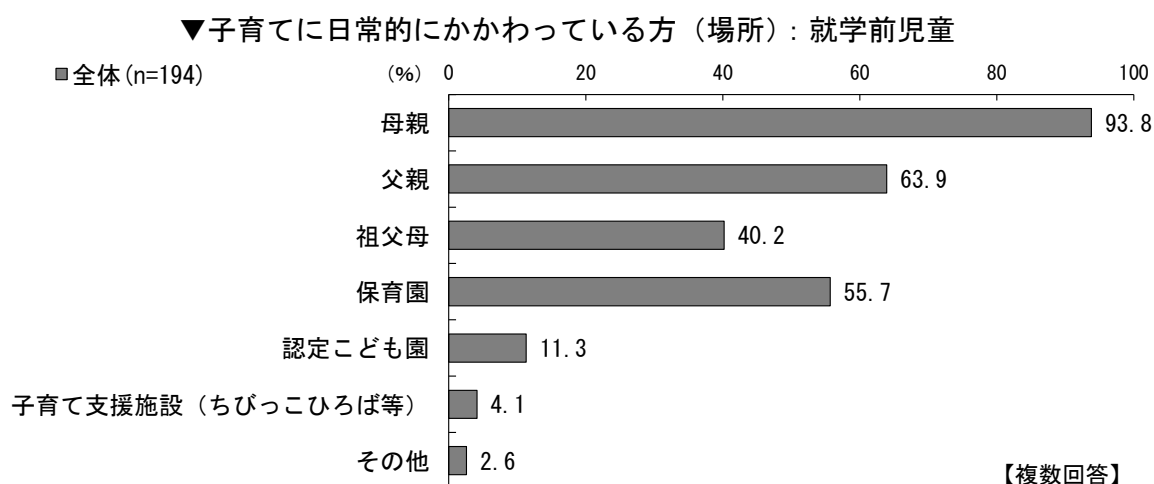
2. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的にかかわっている方（場所）

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的にかかわっている方はどなた（どこ）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

①就学前児童

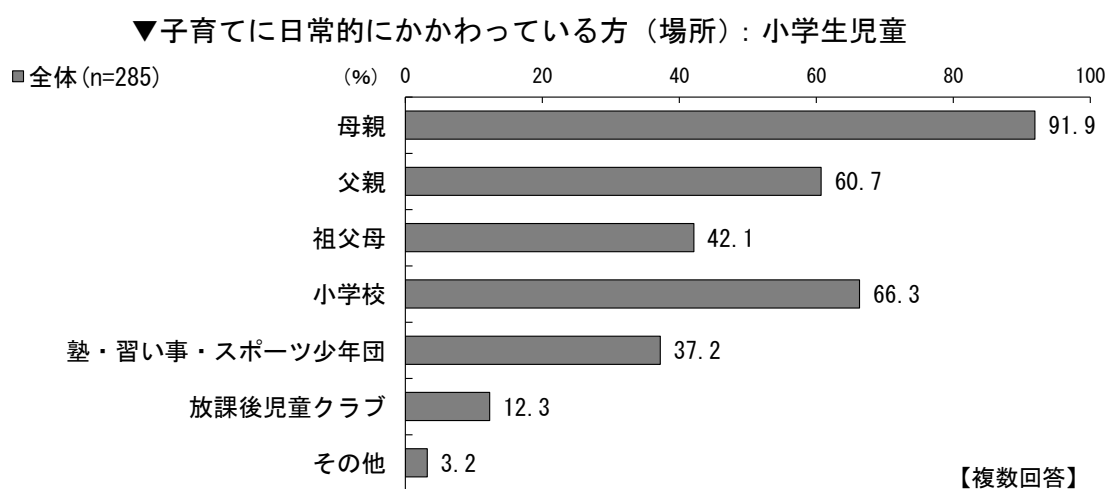
◆「母親」（93.8%）が最も多く、次いで「父親」（63.9%）、「保育園」（55.7%）が続きます。



◇その他回答：叔母／兄弟／ファミリーサポートセンター

②小学生児童

◆「母親」（91.9%）が最も多く、次いで「学校」（66.3%）、「父親」（60.7%）が続きます。



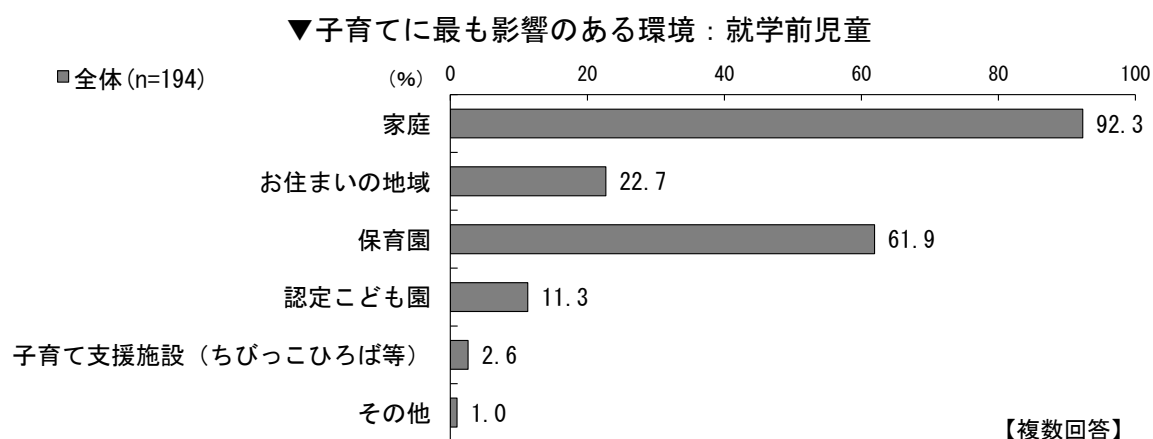
◇その他回答：姉／兄姉／叔母／近所のおばあちゃん

(2) 子育てに最も影響のある環境

問11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、最も影響すると思われる環境についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

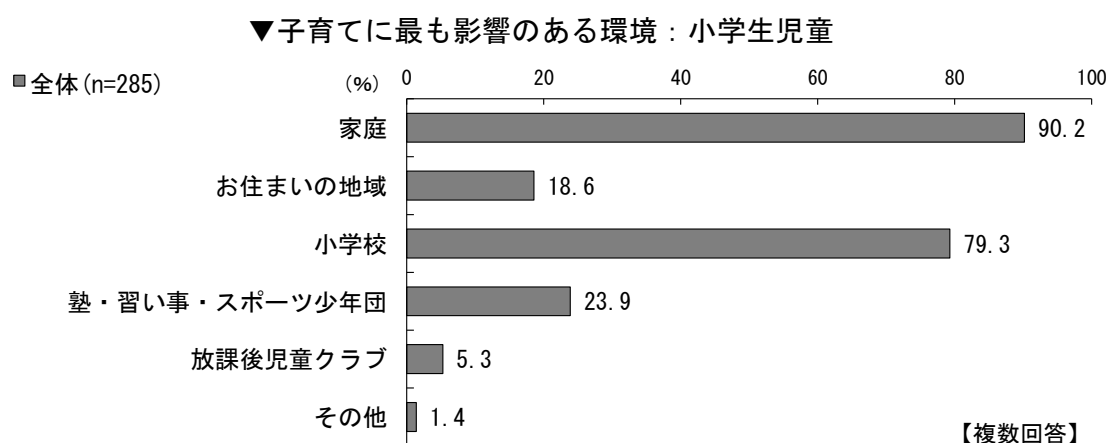
①就学前児童

◆「家庭」(92.3%)が最も多く、次いで「保育園」(61.9%)、「お住まいの地域」(22.7%)となっています。



②小学生児童

◆「家庭」(90.2%)が最も多く、次いで「小学校」(79.3%)、「塾・習い事・スポーツ少年団」(23.9%)、「お住まいの地域」(18.6%)となっています。



◇その他回答：友人

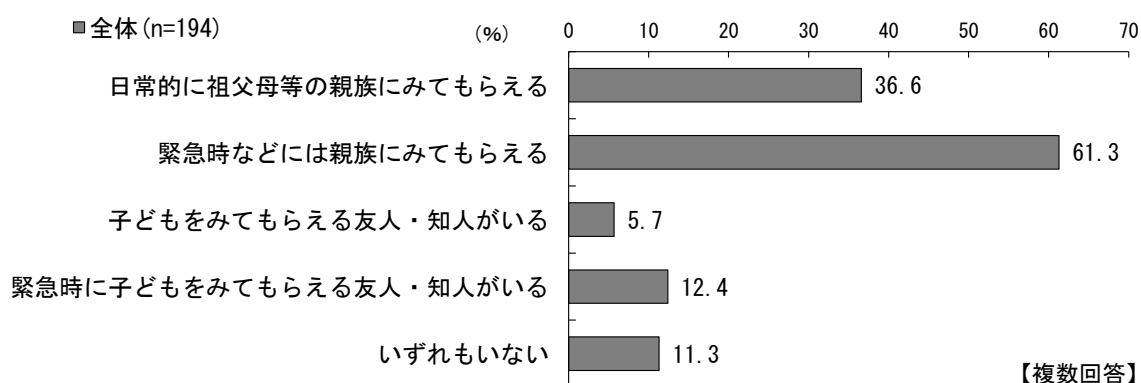
(3) 子どもをみてもらえる親族・知人

問12 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

①就学前児童

◆「緊急時などには親族にみてもらえる」(61.3%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(36.6%)が続きます。

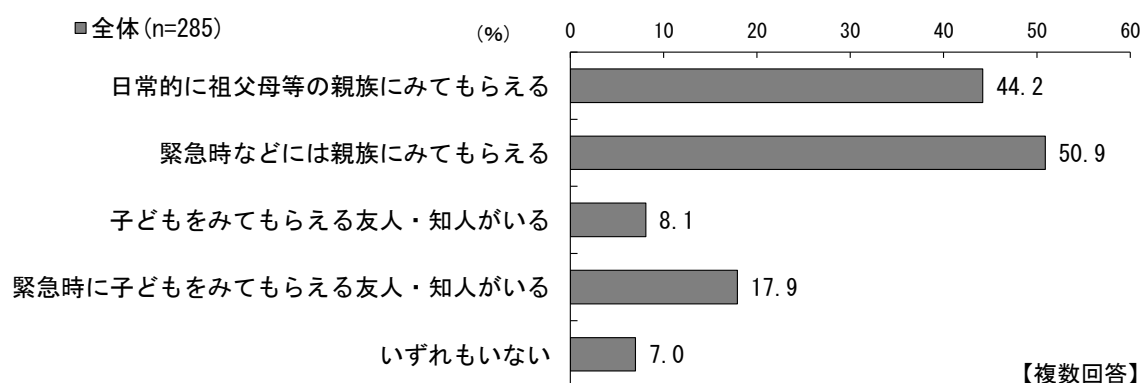
▼子どもをみてもらえる親族・知人：就学前児童



②小学生児童

◆「緊急時などには親族にみてもらえる」(50.9%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(44.2%)が続きます。

▼子どもをみてもらえる親族・知人：小学生児童



(4) 子どもをみてもらっている状況

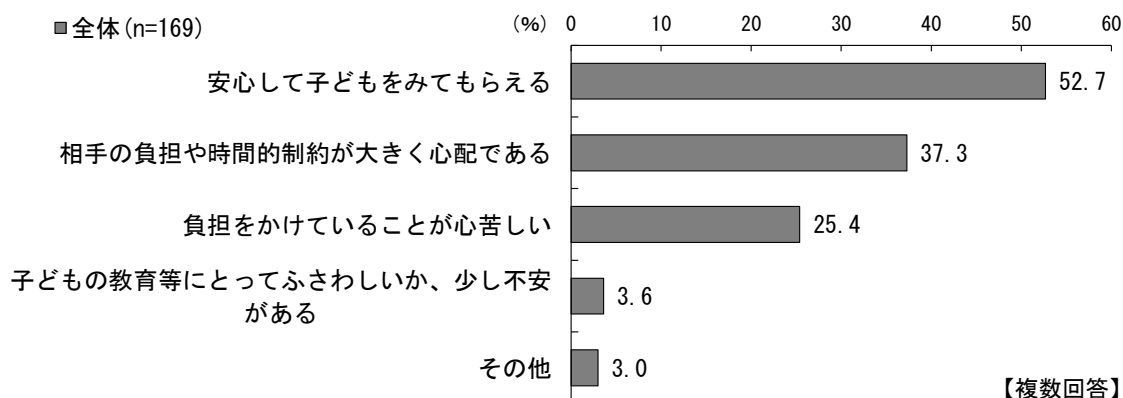
【問12で「1～4」を選んだ方にうかがいます。】

問13 親族や知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

①就学前児童

◆「安心して子どもをみてもらえる」(52.7%) が最も多く、次いで「相手の負担や時間的制約が大きく心配である」(37.3%)、「負担をかけていることが心苦しい」(25.4%) が続きます。

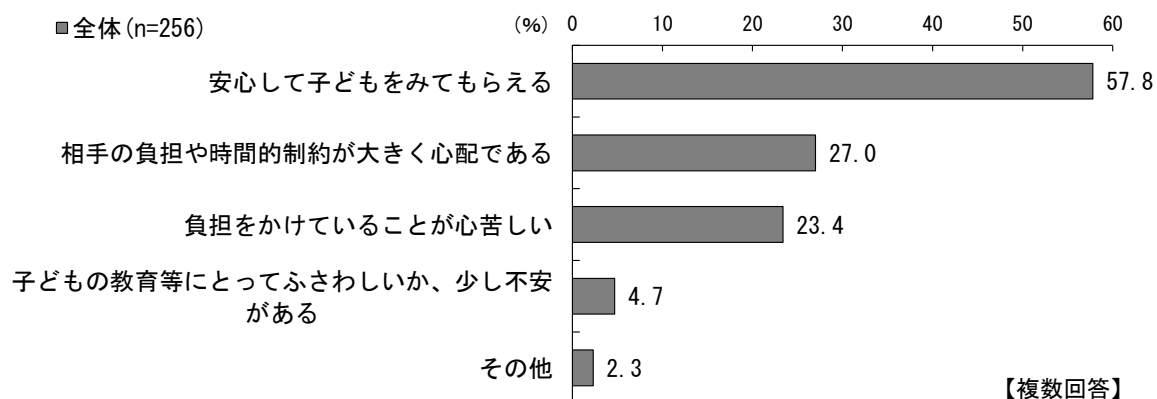
▼子どもをみてもらっている状況：就学前児童



②小学生児童

◆「安心して子どもをみてもらえる」(57.8%) が最も多く、次いで「相手の負担や時間的制約が大きく心配である」(27.0%)、「負担をかけていることが心苦しい」(23.4%) が続きます。

▼子どもをみてもらっている状況：小学生児童



◇その他回答：高齢のため、必要最低限の協力をお願いしている／子どもたちが大きくなったので短時間みてもらう

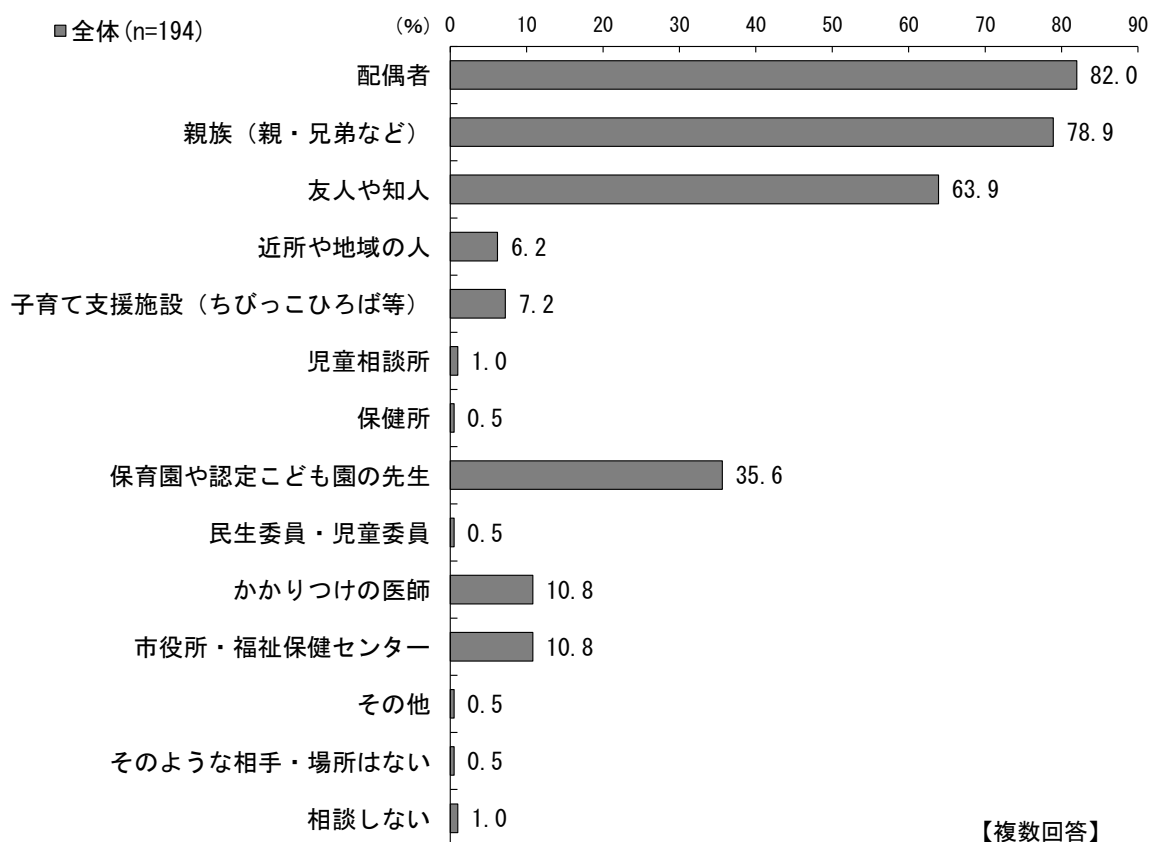
(5) 相談相手・場所

問14 子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所は誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

①就学前児童

◆相談相手は「配偶者」(82.0%)が最も多く、次いで「親族(親・兄弟など)」(78.9%)、「友人や知人」(63.9%)、「保育園や認定こども園の先生」(35.6%)が続きます。

▼相談相手・場所：就学前児童

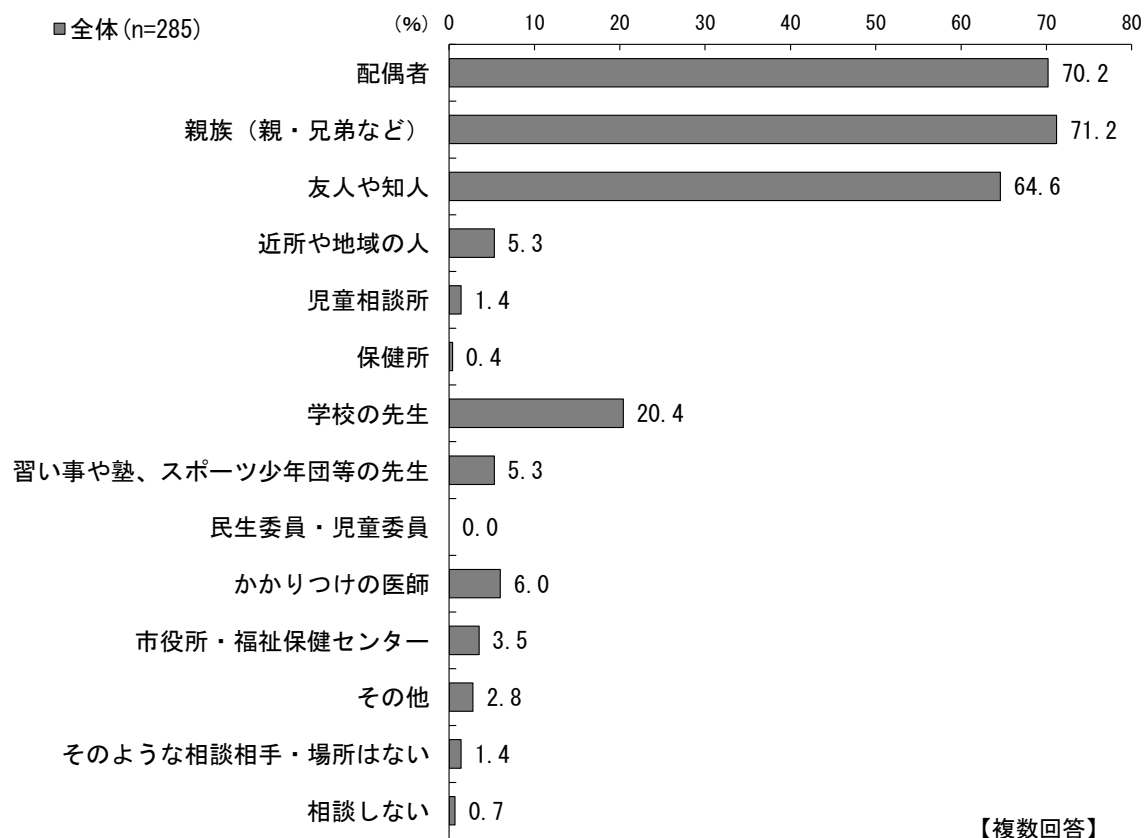


◇その他回答：スクールカウンセラー

②小学生児童

◆相談相手は「親族（親・兄弟など）」（71.2%）が最も多く、次いで「配偶者」（70.2%）「友人や知人」（64.6%）、「学校の先生」（20.4%）が続きます。

▼相談相手・場所：小学生児童



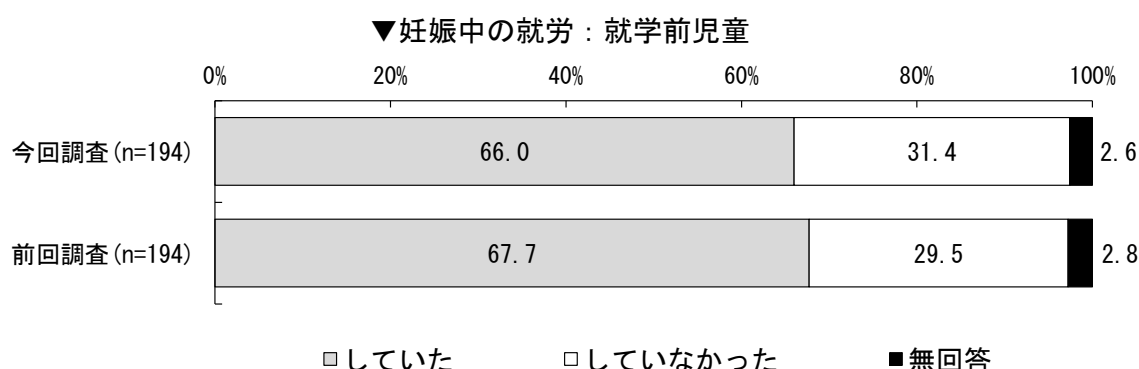
◇その他回答：小児科／スクールカウンセラー／職場の人／スイミングのコーチ

3. 保護者の就労状況について

(1) 妊娠中の就労（就学前児童）

問15 妊娠中、仕事をしていたか。（あてはまるもの1つに○）

◆「していた」が66.0%と6割を超え、前回調査（67.7%）とほぼ同率となっています。



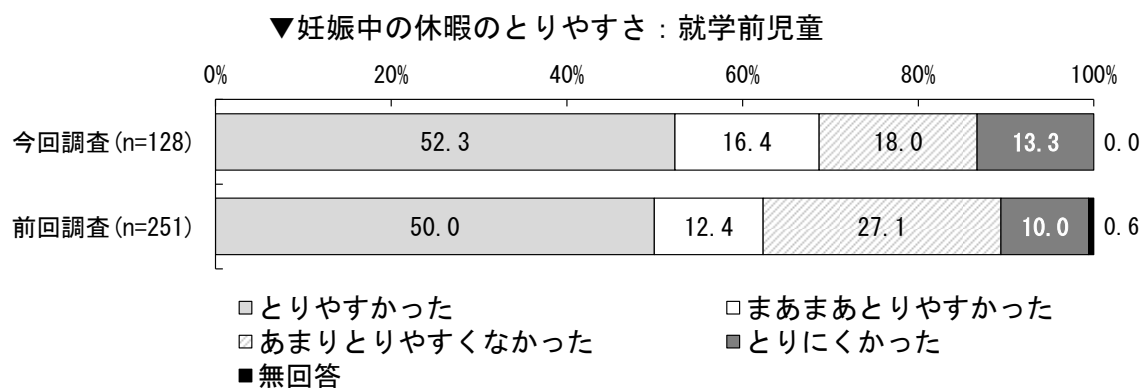
(2) 妊娠中の休暇のとりやすさ（就学前児童）

【問15で「1」を選んだ方にうかがいます。】

問16 健診受診や調子の悪いときに休みはとりやすかったですか。（あてはまるもの1つに○）

◆「とりやすかった」が52.3%で最も多く、これに「まあまあとりやすかった」の16.4%をあわせた『とりやすかった』が68.7%となっています。一方、「あまりとりやすくなかった」の18.0%と「とりにくかった」の13.3%をあわせた『とりにくかった』は31.3%となっています。

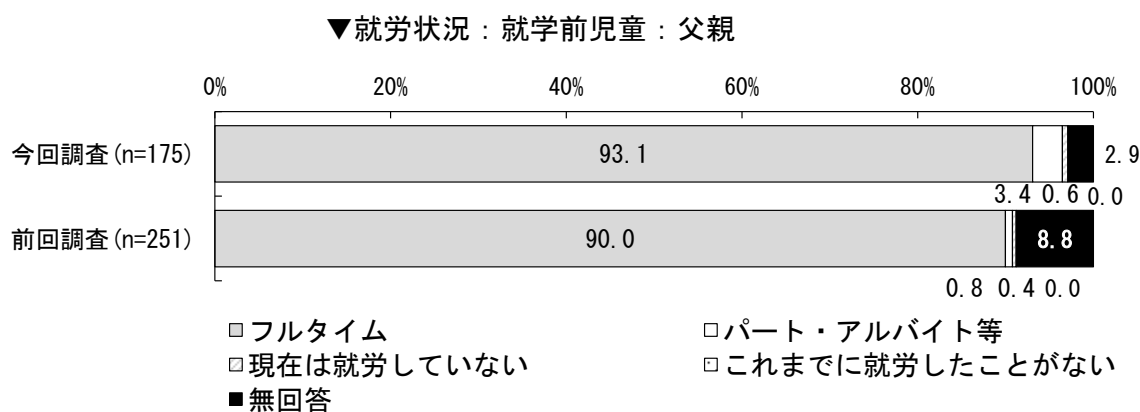
◆前回調査と比較すると『とりやすかった』（「とりやすかった」と「まあまあとりやすかった」の合計）が約6ポイント増加（62.4%→68.7%）しています。



①就学前儿童

問25 現在の就労状況はどれですか。(あてはまるもの1つに○)：父親

◆父親は「フルタイム」が 93.1%と前回調査（90.0%）と同様に約9割となっています。



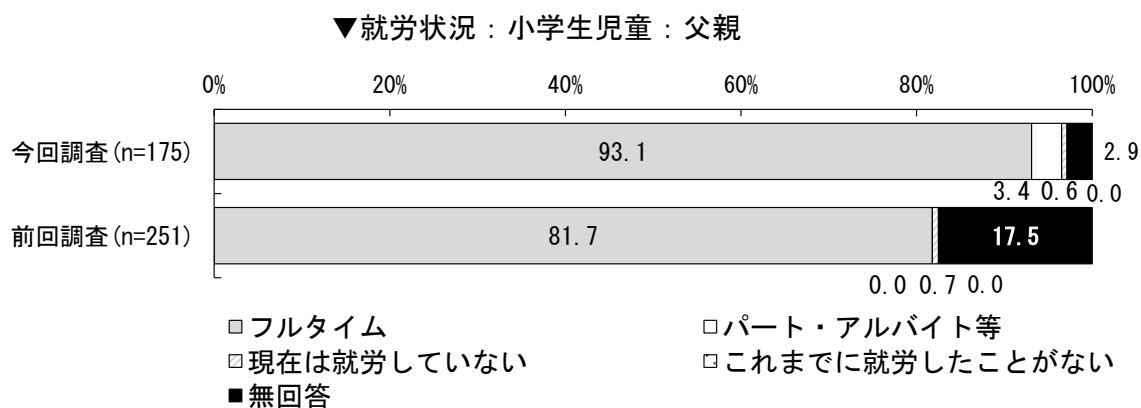
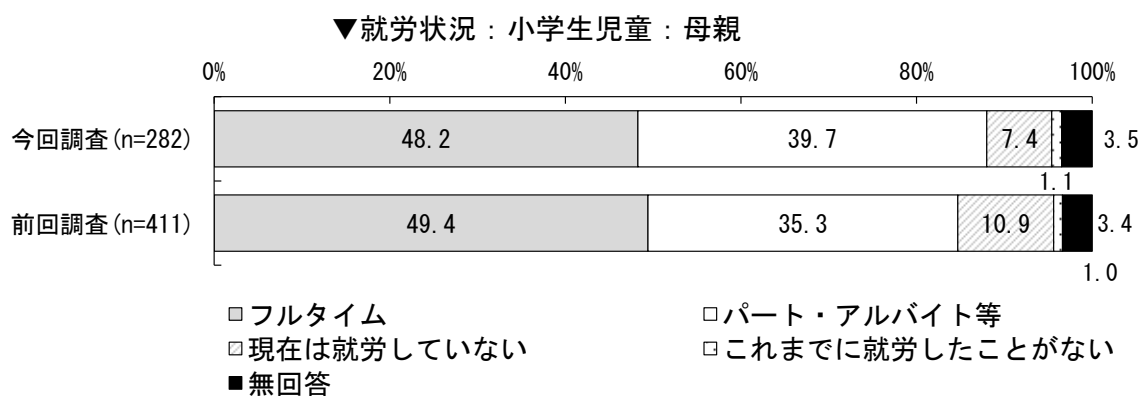
②小学生児童

問15 現在の就労状況はどれですか。(あてはまるもの1つに○)：母親

問23 現在の就労状況はどれですか。(あてはまるもの1つに○)：父親

◆母親は「フルタイム」が48.2%、「パート・アルバイト等」が39.7%となっており、これらをあわせた『就労している』が87.9%となっています。また、『就労している』は前回調査(84.7%)より約3ポイント増加しています。

◆父親は「フルタイム」が93.1%と前回調査(81.7%)と同様に多数を占めています。



(4) 就労時間

①就学前児童

【問17で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】

問18 就労時間について、最も多いパターンをお答えください。(あてはまるもの1つに○)：母親

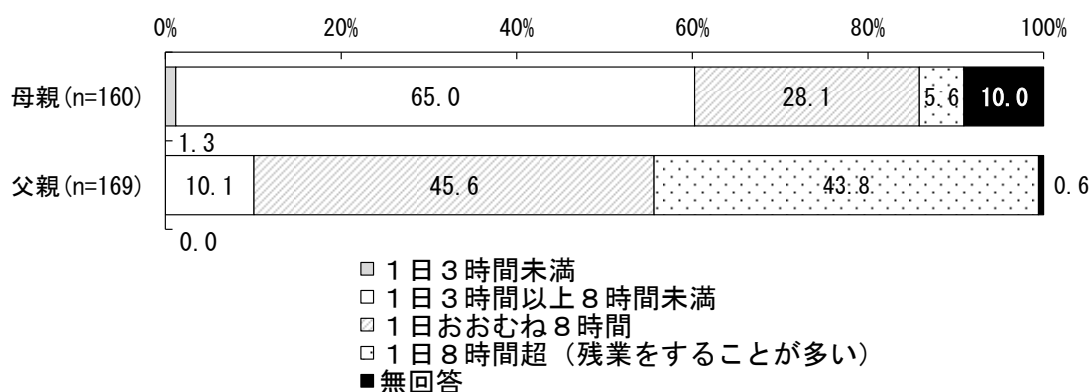
【問25で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】

問26 就労時間について、最も多いパターンをお答えください。(あてはまるもの1つに○)：父親

◆母親は「1日3時間以上8時間未満」が65.0%で最も多く、次いで「1日おおむね8時間」(28.1%)が続きます。

◆父親は「1日おおむね8時間」(45.6%)及び「1日8時間超(残業をすることが多い)」(43.8%)がほとんどを占めています。

▼就労時間：就学前児童



②小学生児童

【問15で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】

問16 就労時間について、最も多いパターンをお答えください。(あてはまるもの1つに○)：母親

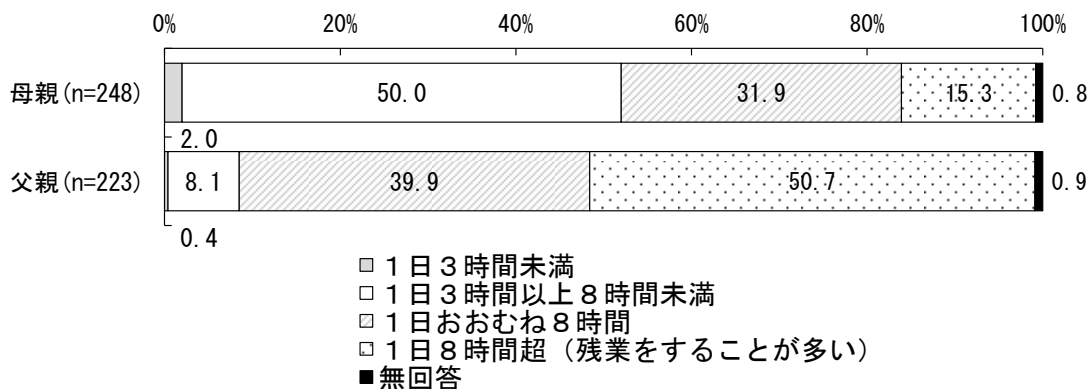
【問23で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】

問24 就労時間について、最も多いパターンをお答えください。(あてはまるもの1つに○)：父親

◆母親は「1日3時間以上8時間未満」が50.0%で最も多く、次いで「1日おおむね8時間」(31.9%)が続きます。

◆父親は「1日8時間超(残業をすることが多い)」が50.7%で最も多く、次いで「1日おおむね8時間」が39.9%が続きます。

▼就労時間：小学生児童



(5) 就労時間帯

①就学前児童

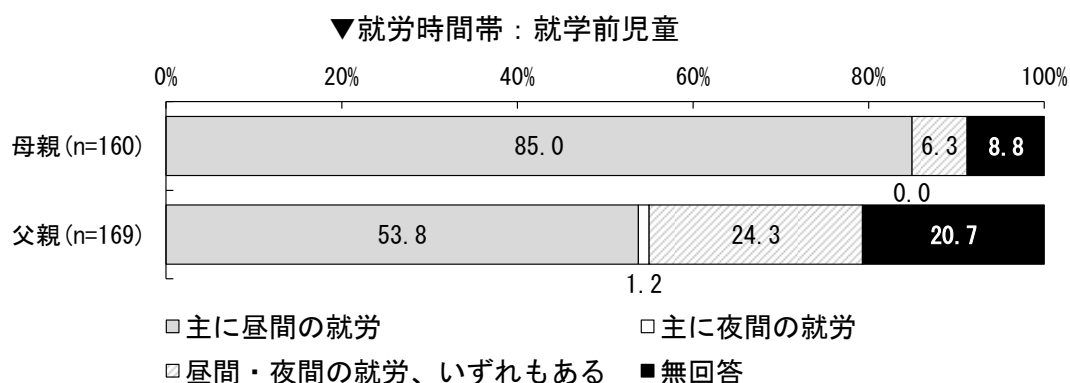
【問17で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】

問19 就労時間帯について、最も多いパターンはどれですか。(あてはまるもの1つに○)：母親

【問25で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】

問27 就労時間帯について、最も多いパターンはどれですか。(あてはまるもの1つに○)：父親

◆母親では「主に昼間の就労」(85.0%)が多数を占め、父親では「主に昼間の就労」が53.8%、「昼間・夜間の就労、いずれもある」が24.3%となっています。



②小学生児童

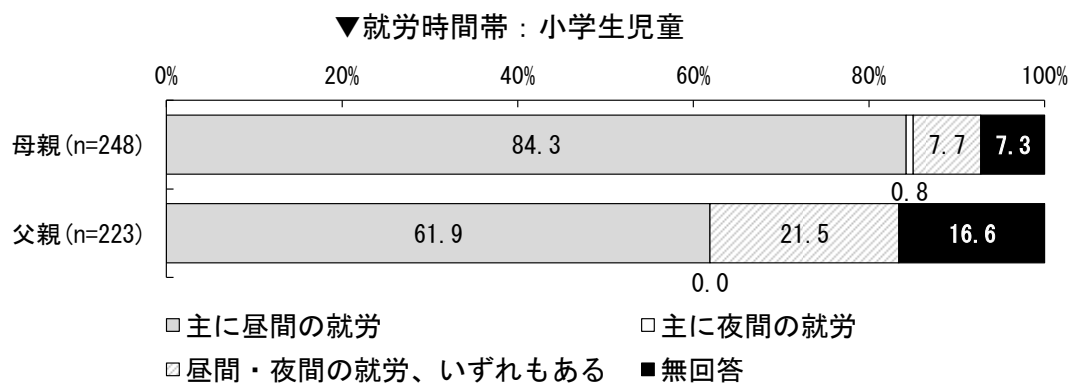
【問15で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】

問17 就労時間帯について、最も多いパターンはどれですか。(あてはまるもの1つに○)：母親

【問23で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】

問25 就労時間帯について、最も多いパターンはどれですか。(あてはまるもの1つに○)：父親

◆母親では「主に昼間の就労」(84.3%)が多数を占め、父親では「主に昼間の就労」が61.9%、「昼間・夜間の就労、いずれもある」が21.5%となっています。



(6) 育児休業の取得

①就学前児童

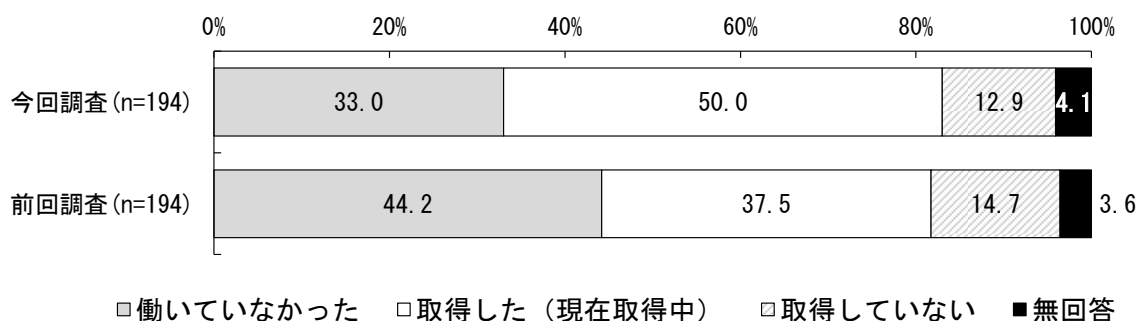
問20 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。(あてはまるもの1つに○)：母親

問28 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。(あてはまるもの1つに○)：父親

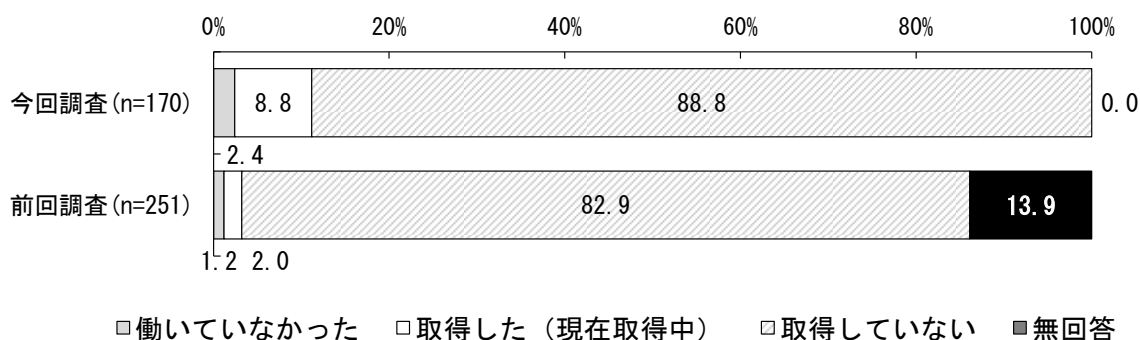
◆母親では「取得した(現在取得中)」が50.0%で、前回調査(37.5%)より約13ポイント増加しています。

◆父親で「取得した(現在取得中)」が8.8%で、前回調査(2.0%)より約7ポイント増加しています。

▼育児休業の取得：就学前児童：母親



▼育児休業の取得：就学前児童：父親



母親

◇取得していない理由：退職したため／自営業のため／パートで制度が使えなかったため／次の子どもを妊娠したため／育児休業を取得しにくい職場のため 等

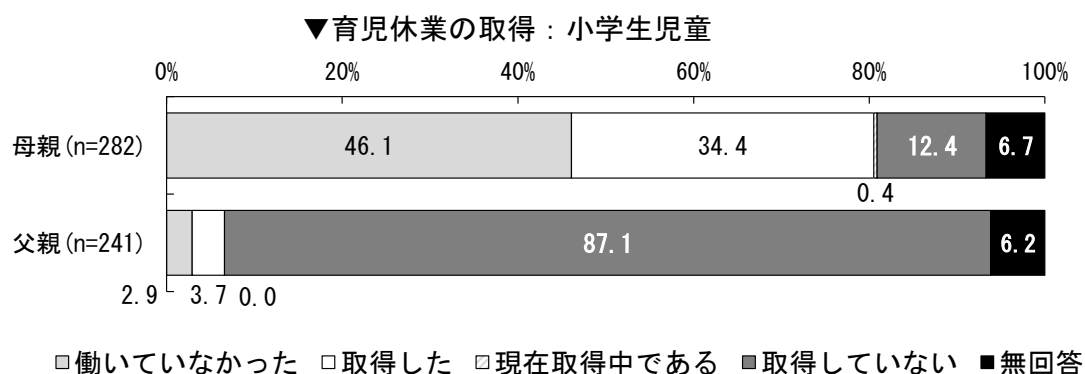
父親

◇取得していない理由：育児休業を取得しにくい職場のため(理解がない、人手不足)／育児休業制度がない／母親が取得したから／自営業のため／両親が協力してくれたため／仕事の都合上取得していない／経済的理由(手取りが減る) 等

②小学生児童

問18 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。(あてはまるもの1つに○)：母親
問26 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。(あてはまるもの1つに○)：父親

◆母親では「取得した」が 34.4%となっていますが、父親では 3.7%にとどまります。



母親

◇取得していない理由：パートであるため制度が利用できなかった／自営業のため／勤務先に育児休業制度がなかった／育児休業がとりにくかった 等

父親

◇取得していない理由：育児休業を取得しにくい職場のため（前例がない、管理職のため、父親が育休を取得するような時代ではない）／勤務先に育児休業制度がない／母親が取得したから／自営業のため／両親が協力してくれたため／仕事が忙しいため／経済的理由（手取りが減る） 等

(7) 育児休業後の職場復帰

①就学前児童

【問20で「2」を選んだ方にうかがいます。】

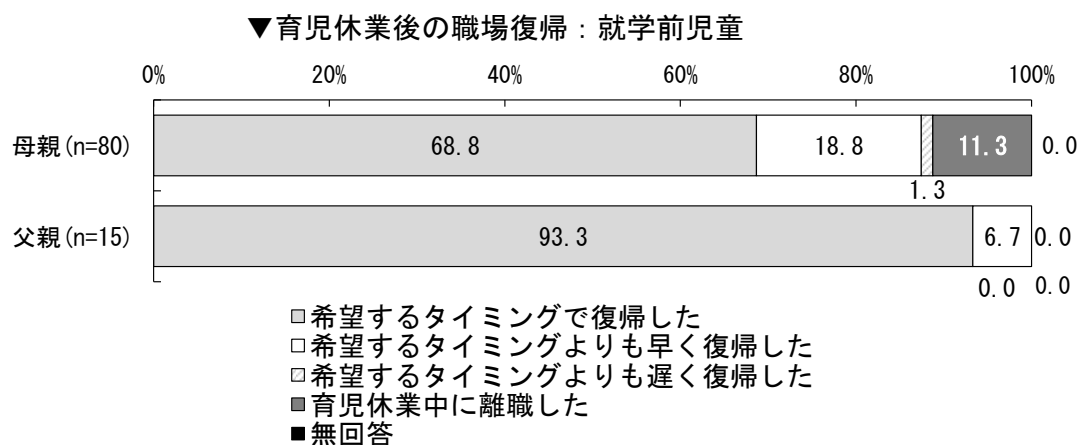
問21 育児休業後、職場に復帰しましたか。(あてはまるもの1つに○)：母親

【問28で「2」を選んだ方にうかがいます。】

問29 育児休業後、職場に復帰しましたか。(あてはまるもの1つに○)：父親

◆育児休業後の職場復帰の時期は、「希望するタイミングで復帰した」が母親で68.8%、父親で93.3%となっています。

◆母親では「希望するタイミングよりも早く復帰した」が18.8%と約2割となっています。



母親

◇希望するタイミングよりも早く復帰した理由：経済的理由／職場の人員不足／育児休業を取得できないと思っていたため／家にずっと子どもと2人でいると苦痛／1年はほしかったがとれなかった 等

◇希望するタイミングよりも遅く復帰した理由：保育園がみつからなかった

◇離職した理由：復帰後の条件が合わなかったため／パートで働ける所に転職した／家庭の事情／妊娠中のため／引っ越したため 等

父親

◇希望するタイミングよりも早く復帰した理由：休めない

②小学生児童

【問18で「2」を選んだ方にうかがいます。】

問19 育児休業後、職場に復帰しましたか。(あてはまるもの1つに○)：母親

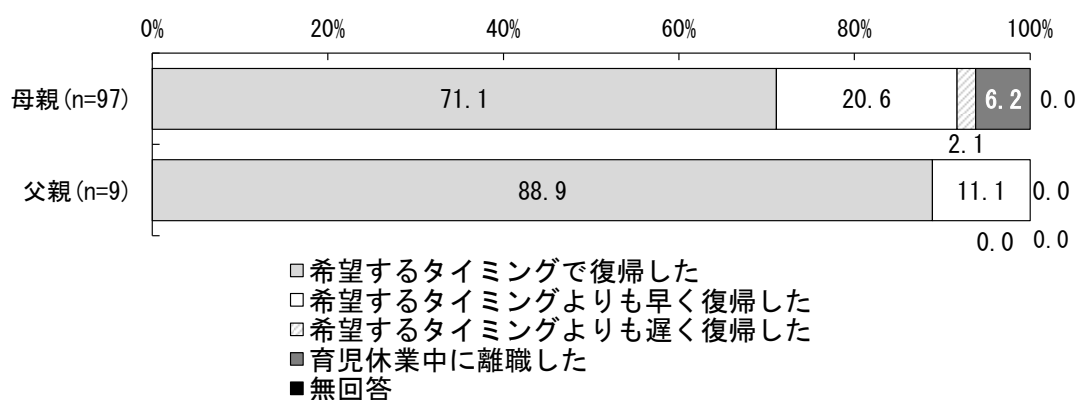
【問26で「2」を選んだ方にうかがいます。】

問27 育児休業後、職場に復帰しましたか。(あてはまるもの1つに○)：父親

◆育児休業後の職場復帰の時期は、「希望するタイミングで復帰した」が母親で71.1%、父親で88.9%となっています。

◆母親では「希望するタイミングよりも早く復帰した」が20.6%と約2割となっています。

▼育児休業後の職場復帰：小学生児童



母親

◇希望するタイミングよりも早く復帰した理由：経済的理由／職場の人員不足／職場からの要望／年度初めのタイミングを選んだから 等

◇希望するタイミングよりも遅く復帰した理由：保育園の待機児童待ちが多くてなかなか入れなかった

◇離職した理由：転居したから／祖母の介護／もう少し休みたかったため

(8) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用

①就学前児童

【問21で「1～3」を選んだ方にうかがいます。】

問22 職場に復帰した際、短時間勤務制度を利用しましたか。(あてはまるもの1つに○)：母親

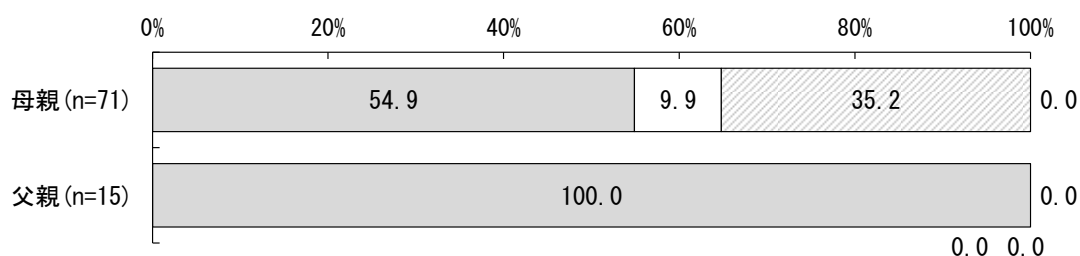
【問29で「1～3」を選んだ方にうかがいます。】

問30 職場に復帰した際、短時間勤務制度を利用しましたか。(あてはまるもの1つに○)：父親

◆職場復帰時の短時間勤務制度の利用については、「利用した」が母親では35.2%、父親では0.0%となっています。

◆「利用したかったが、利用できなかった」は母親で9.9%と約1割となっています。

▼職場復帰時の短時間勤務制度の利用：就学前児童



□利用しなかった □利用したかったが、利用できなかった □利用した ■無回答

②小学生児童

【問19で「1～3」を選んだ方にうかがいます。】

問20 職場に復帰した際、短時間勤務制度を利用しましたか。(あてはまるもの1つに○)：母親

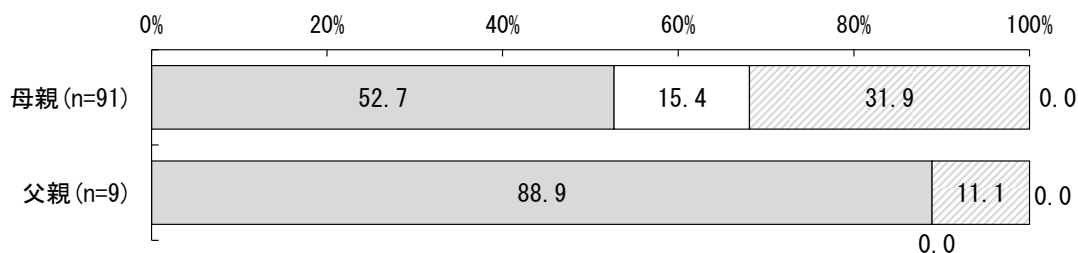
【問27で「1～3」を選んだ方にうかがいます。】

問28 職場に復帰した際、短時間勤務制度を利用しましたか。(あてはまるもの1つに○)：父親

◆職場復帰時の短時間勤務制度の利用については、「利用した」が母親では31.9%、父親では11.1%となっています。

◆「利用したかったが、利用できなかった」は母親で15.4%となっています。

▼職場復帰時の短時間勤務制度の利用：小学生児童



□利用しなかった □利用したかったが、利用できなかった □利用した ■無回答

(9) 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由

①就学前児童

【問22で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】

問23 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)：母親

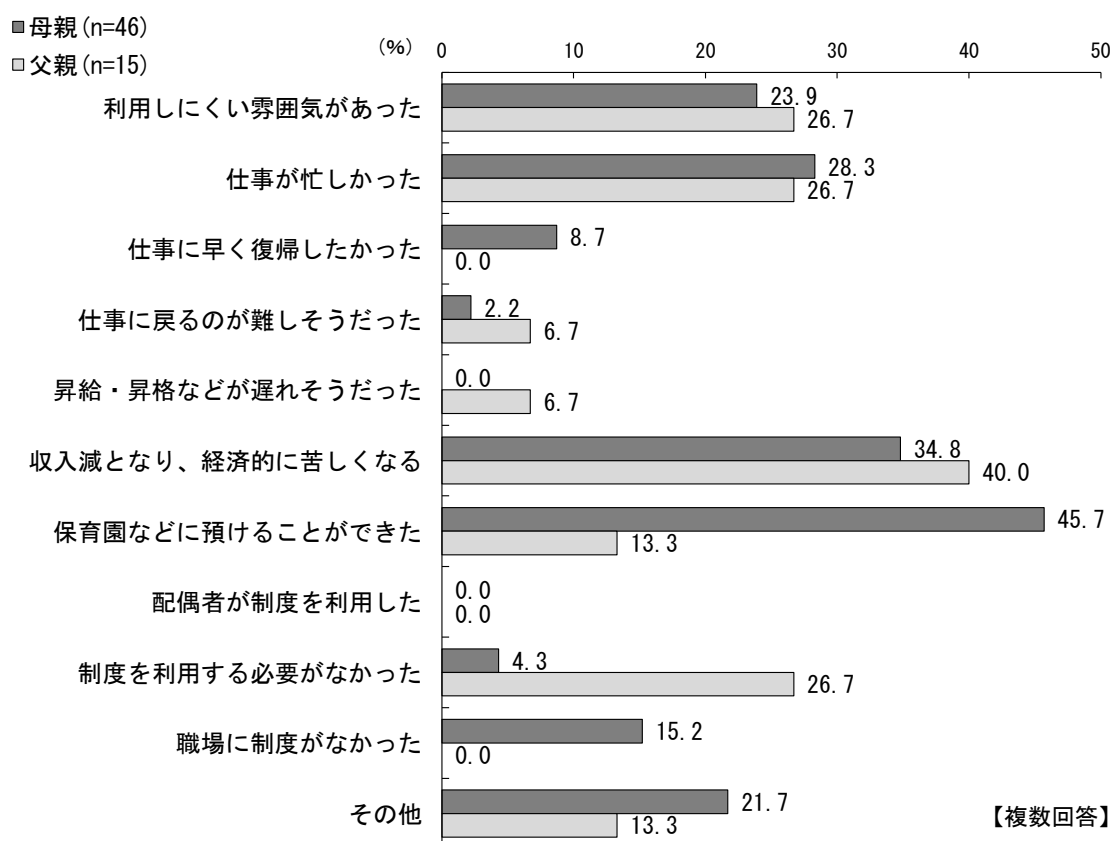
【問30で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】

問31 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)：父親

◆利用しなかった理由は、母親では「保育園などに預けることができた」(45.7%)が最も多く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」(34.8%)、「仕事が忙しかった」(28.3%)などが続きます。

◆父親では「収入減となり、経済的に苦しくなる」(40.0%)が最も多く、次いで「利用しにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」、「制度を利用する必要がなかった」(同率 26.7%)が続きます。

▼育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由：就学前児童



母親

◇その他回答：自営業のため／短時間勤務を知らなかった／職場から拒否された 等

父親

◇その他回答：配偶者が転職した

②小学生児童

【問20で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】

問21 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)：母親

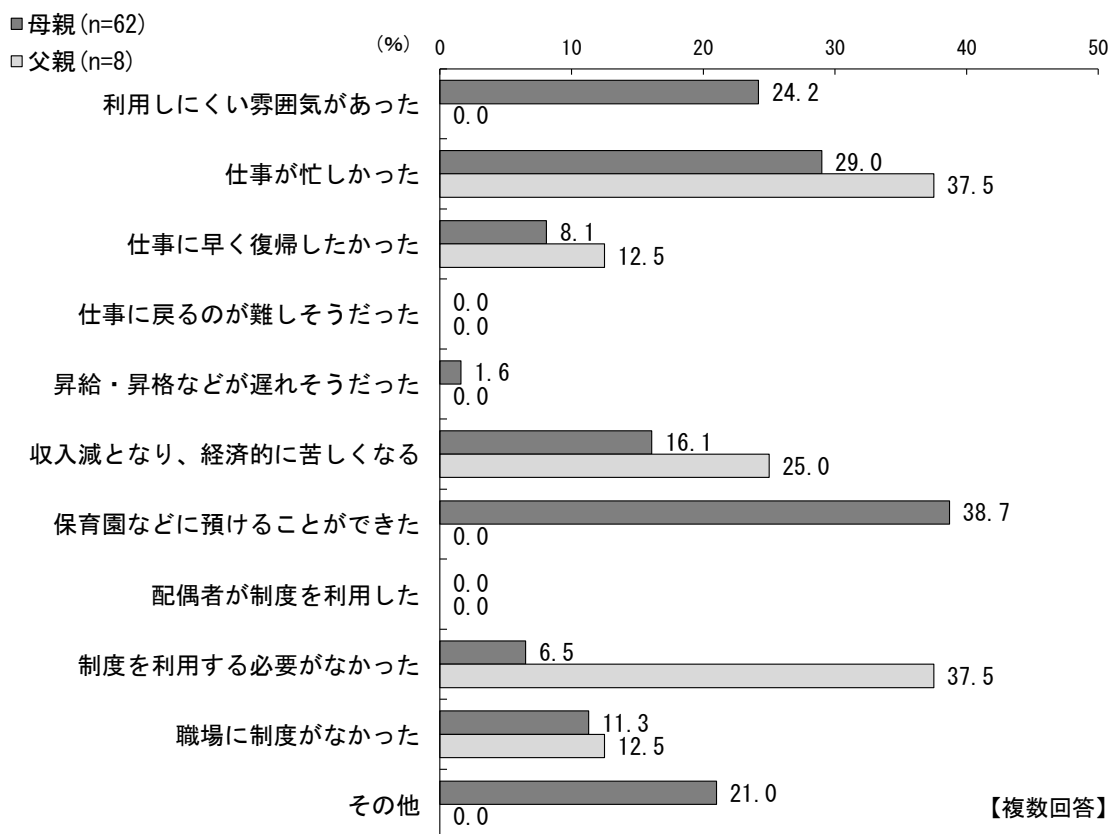
【問28で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。】

問29 育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)：父親

◆利用しなかった理由は、母親では「保育園などに預けることができた」(38.7%)が最も多く、次いで「仕事が忙しかった」(29.0%)、「利用しにくい雰囲気があった」(24.2%)などが続きます。

◆父親では「仕事が忙しかった」及び「制度を利用する必要がなかった」(同率 37.5%)が上位を占め、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」(25.0%)が続きます。

▼育児休業制度や短時間勤務制度を利用しなかった理由：小学生児童



母親

◇その他回答：職場で取得を拒否された／育児休業制度や短時間勤務制度を知らなかった／祖父母が養育しているため／自営業のため／経済的理由／人手不足のため

父親

◇その他回答：今まで利用した人がいない

(10) 1歳までの育児休業の取得意向

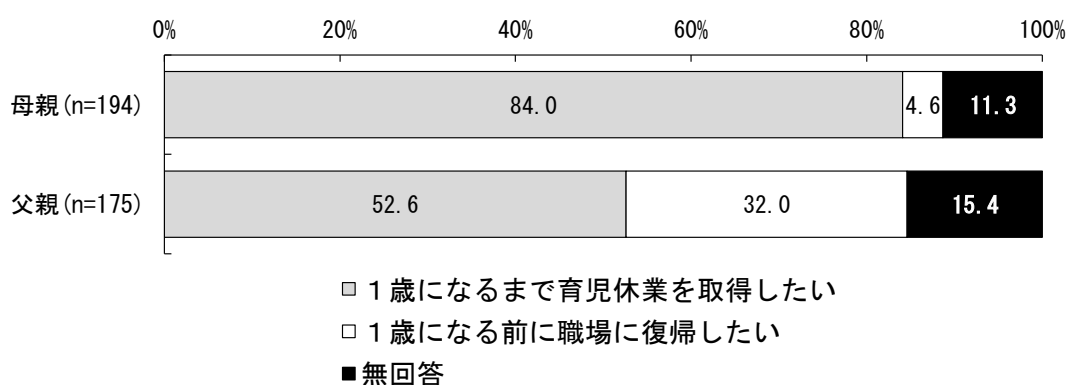
①就学前児童

問24 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる子育て支援サービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。(あてはまるもの1つに○)：母親

問32 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる子育て支援サービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。(あてはまるもの1つに○)：父親

◆「1歳になるまで育児休業を取得したい」は母親では84.0%、父親では52.6%となっています。

▼1歳までの育児休業の取得意向：就学前児童



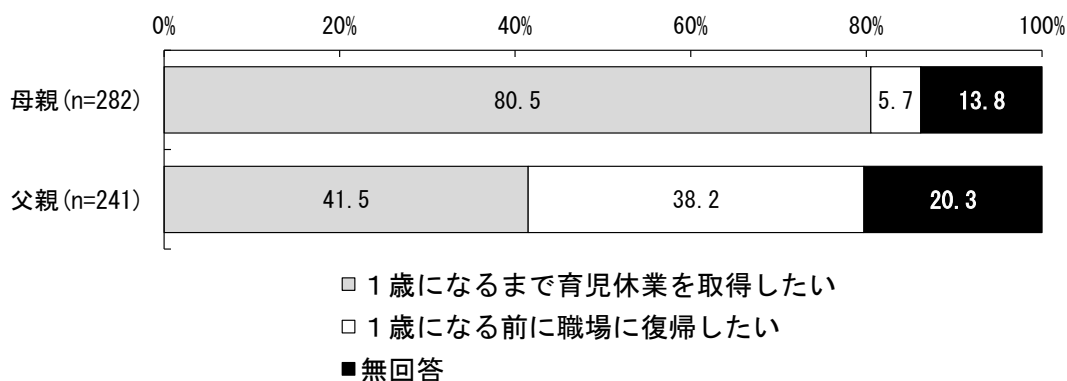
②小学生児童

問22 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる子育て支援サービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。(あてはまるもの1つに○)：母親

問30 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる子育て支援サービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。(あてはまるもの1つに○)：父親

◆「1歳になるまで育児休業を取得したい」は母親では80.5%、父親では41.5%となっています。

▼1歳までの育児休業の取得意向：小学生児童



4. 仕事と子育て（生活）の両立について

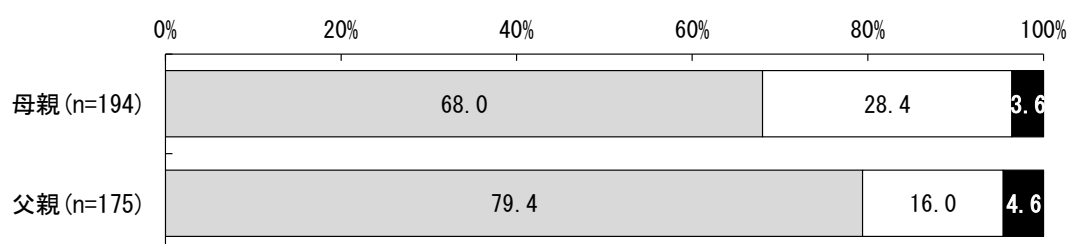
（１）希望の生活・働き方ができているか

①就学前児童

問33 現在、子育てをしながら希望の生活・働き方ができていますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

◆「おおむね希望どおりの生活・働き方ができている」が母親で 68.0%、父親で 79.4% となっています。

▼希望の生活・働き方ができているか：就学前児童



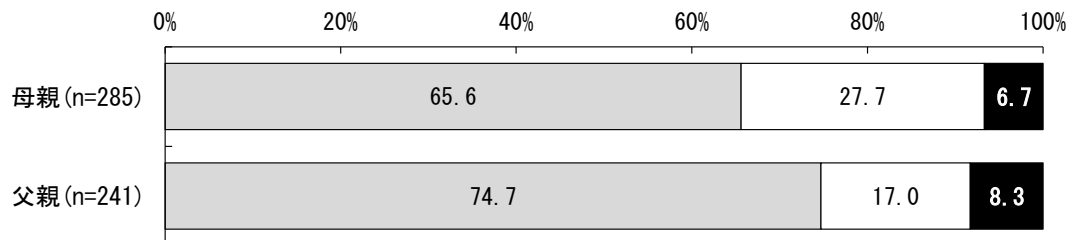
- おおむね希望どおりの生活・働き方ができている
- 希望どおりの生活・働き方ができていない
- 無回答

②小学生児童

問31 現在、子育てをしながら希望の生活・働き方ができていますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

◆「おおむね希望どおりの生活・働き方ができている」が母親で 65.6%、父親で 74.7% となっています。

▼希望の生活・働き方ができているか：小学生児童



- おおむね希望どおりの生活・働き方ができている
- 希望どおりの生活・働き方ができていない
- 無回答

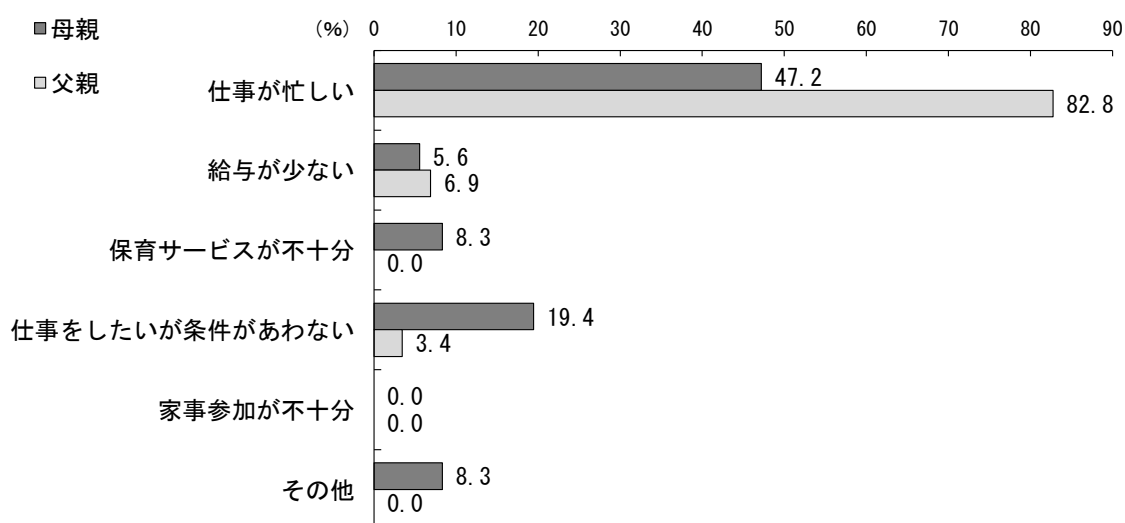
(2) 希望どおりに生活できていない、働けていない理由

①就学前児童

問34 希望どおりに生活できていない、働けていない理由は何ですか。できるだけ具体的にご記入ください。

◆残業が多い、休みがとれないなどの「仕事が忙しい」が母親で 47.2%、父親で 82.8% となっています。また、母親では「仕事がしたいが条件があわない」と回答する割合が多くなっています。

▼希望どおりに生活できていない、働けていない理由：就学前児童



自由記述された意見（母親 36 件、父親 29 件）を代表的な意見として分類し、割合を算出しています。

具体的な記述内容等次のとおりです。

「仕事が忙しい」

→残業が多い／就労時間が長い／休みがとれずに子どもの行事に参加できない／人員不足で休暇がとれない／行事と仕事が重なり参加できない／仕事が忙しく子どもとの時間がとれない／夜勤が多い 等

「給与が少ない」

→給与が上がらない

「保育サービスが不十分」

→土曜勤務では保育園が午後開いておらず大変／保育料が高い

「仕事がしたいが条件があわない」

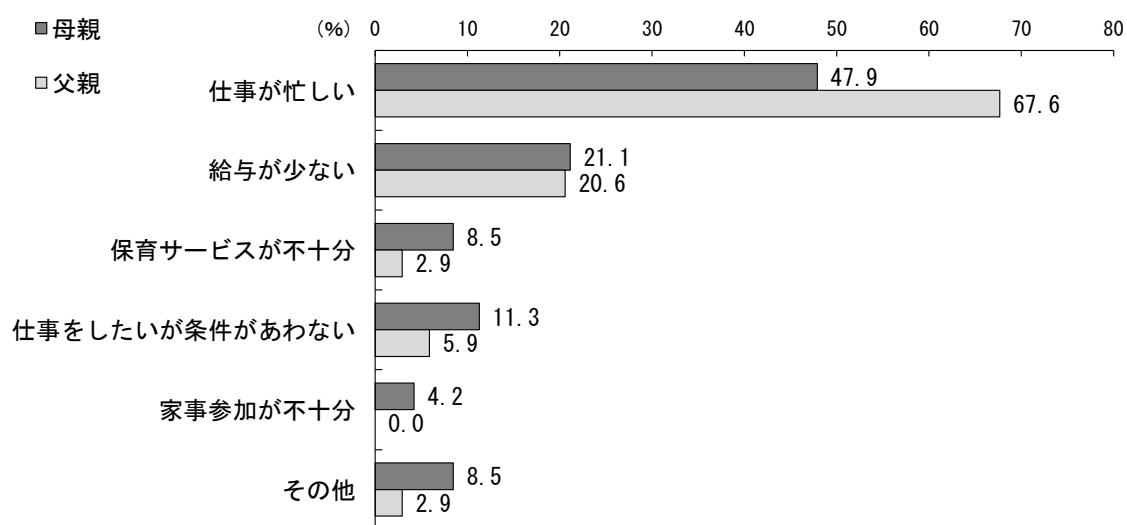
→正社員にはなれずパートになるため／希望する時間で働ける仕事がなかなかみつからない／子育てしながらの職がない

②小学生児童

問32 希望どおりに生活できていない、働けていない理由は何ですか。できるだけ具体的にご記入ください。

◆残業が多い、休みがとれないなどの「仕事が忙しい」が母親で 47.9%、父親で 67.6% となっています。また、母親では「保育サービスが不十分」、「仕事がしたいが条件があわない」と回答する割合が多くなっています。

▼希望どおりに生活できていない、働けていない理由：小学生児童



自由記述された意見（母親 71 件、父親 34 件）を代表的な意見として分類し、割合を算出しています。

具体的な記述内容等次のとおりです。

「仕事が忙しい」

→残業が多い／働いている時間が長い／休日出勤が多い／休暇がとれない／仕事で子どもの行事に参加できない／仕事が忙しく子どもとの時間がとれない／出張が多い／単身赴任／夜勤時は家族にも負担がかかる 等

「給与が少ない」

→給与が上がらない／生活が苦しく働かざるを得ない／賃金が低すぎる

「保育サービスが不十分」

→小学校 3 年生までしか放課後児童クラブがないので預け先がない／放課後児童クラブの利用料が高い／放課後児童クラブに延長がない

「仕事がしたいが条件があわない」

→子どもの帰宅時間に合わせなければいけないため思うように働けない／希望する時間で働ける仕事がない／自分にあった条件の就業先が少ない／もう少し働きたいが、子育てを中心にするとなかなかできない

「家事参加が不十分」

→ワンオペ育児のため子どもにかかわる時間の確保が難しい／父親の家事、子育ての協力が少ない

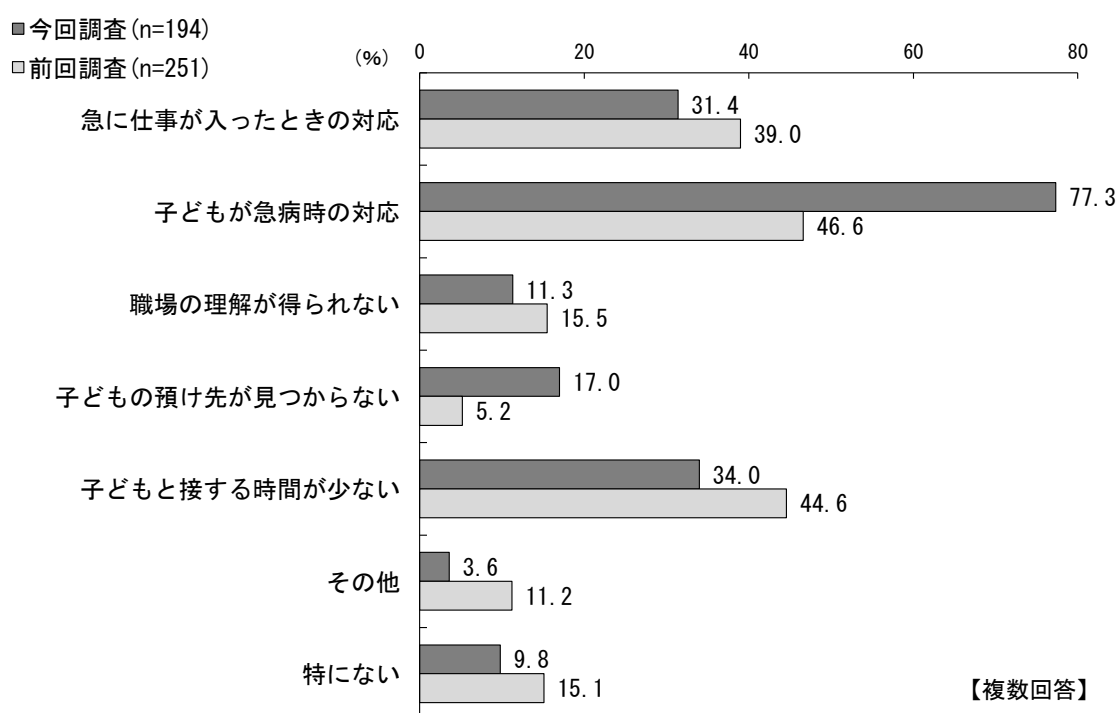
(3) 仕事と子育ての両立で大変なこと

①就学前児童

問35 仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ◆「子どもが急病時の対応」(77.3%) が最も多く、次いで「子どもと接する時間が少ない」(34.0%)、「急に仕事が入ったときの対応」(31.4%)が続きます。
- ◆「子どもが急病時の対応」と回答する割合が前回調査(46.6%)より大幅に増加しています。

▼仕事と子育ての両立で大変なこと：就学前児童



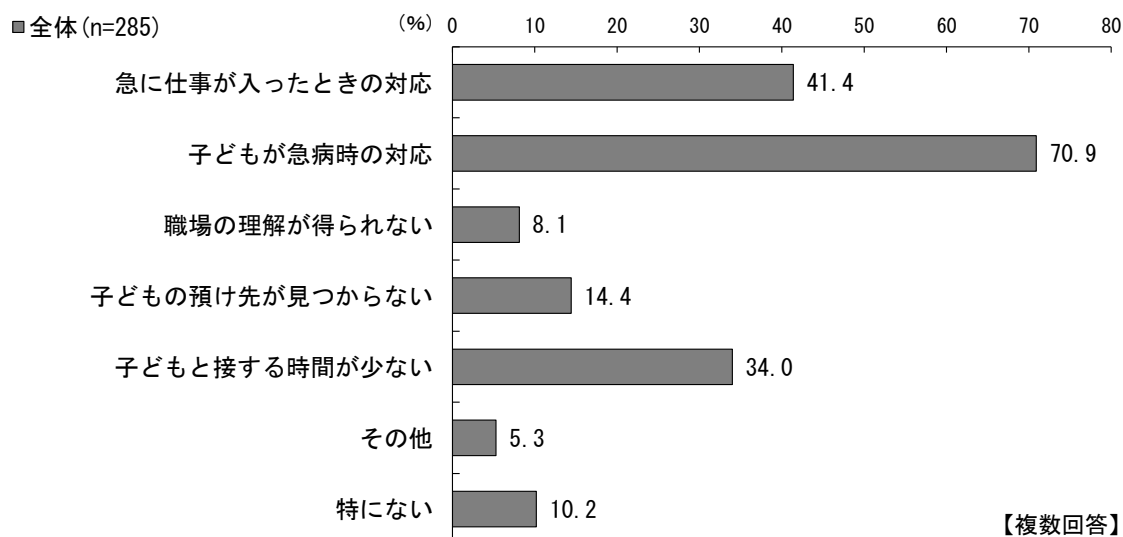
◇その他回答：体力がない／心の余裕がない／家事負担が大きい／保育料が高い／休みがとりにくい 等

②小学生児童

問33 仕事と子育ての両立に関して、大変だと感じていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

◆「子どもが急病時の対応」(70.9%)が最も多く、次いで「急に仕事が入ったときの対応」(41.4%)、「子どもと接する時間が少ない」(34.0%)が続きます。

▼仕事と子育ての両立で大変なこと：小学生児童



◇その他回答：長時間労働／送り迎えができない／子どもが小さい程負担が大きい／子どもが感染症にかかった場合、預け先がない、祖父母にも預けられない／睡眠時間が少ない／親の介護／家事が多い／保育料が高い／放課後に子どものいる場所がない／共働きだと子どもを家に1人にしてしまう／長期休暇の居場所がほしい

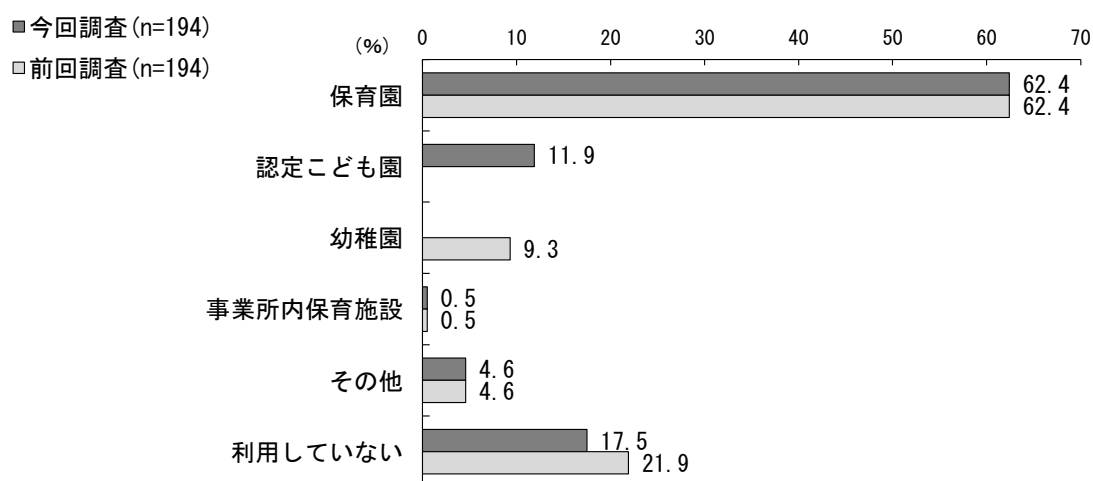
5. 「定期的な」教育・保育の利用状況について（就学前児童）

（１）「定期的な」教育・保育サービスの利用状況

問36 宛名のお子さんが平日に年間を通じて、定期的にご利用している施設を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

- ◆「保育園」が62.4%で最も多く、次いで「認定こども園」が11.9%で続きます。
- ◆「利用していない」は17.5%と前回調査（21.9%）より約4ポイント減少しています。

▼「定期的な」教育・保育サービスの利用状況：就学前児童



※「幼稚園」は前回調査のみ、認定こども園は今回調査のみの選択肢。

◇その他回答：ちびっこひろば／習い事／子育て支援施設／一時預かり 等

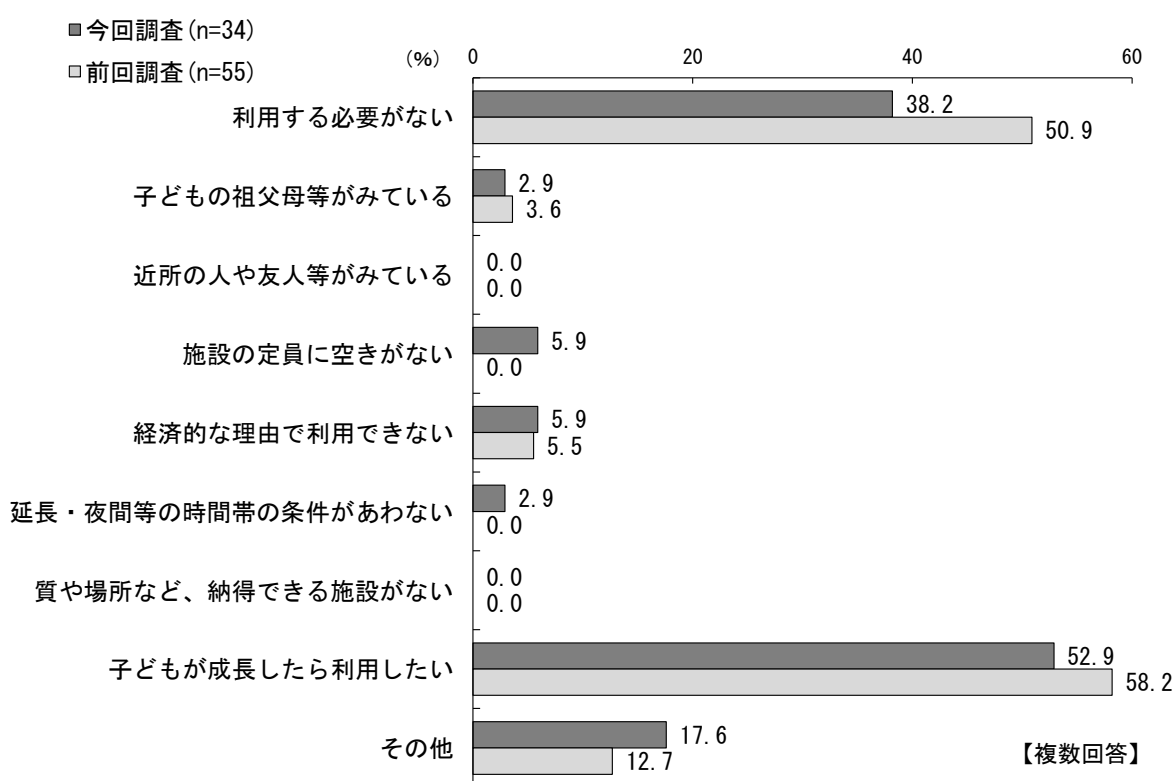
(2) 教育・保育サービスを利用しない理由

【問36で「5」を選んだ方にうかがいます。】

問37 教育・保育サービスを利用していない理由は何ですか。主な理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- ◆「子どもが成長したら利用したい」(52.9%) が最も多く、次いで「利用する必要がない」(38.2%) が続きます。
- ◆「利用する必要がない」と回答する割合が前回調査(50.9%)より約13ポイント減少しています。

▼教育・保育サービスを利用しない理由：就学前児童

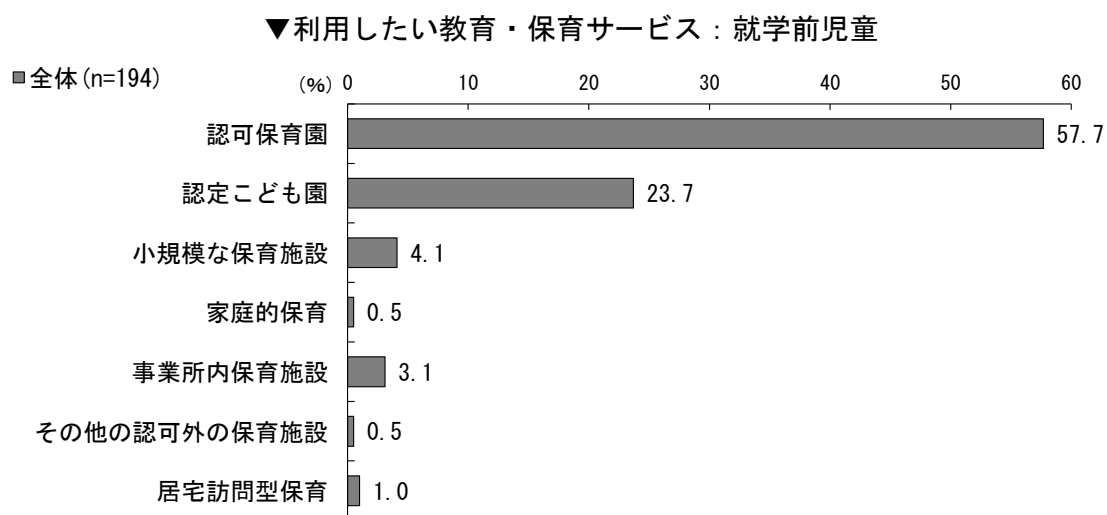


◇その他回答：これから利用する

(3) 利用したい教育・保育サービス

問38 現在利用している、していないにかかわらず、宛名のお子さんの保育園などの利用について、「利用したい」と思うものをお答えください。(あてはまるもの1つに○)

◆「認可保育園」(57.7%)が最も多く、次いで「認定こども園」(23.7%)が続きます。



6. 地域の子育て支援サービスについて（就学前児童）

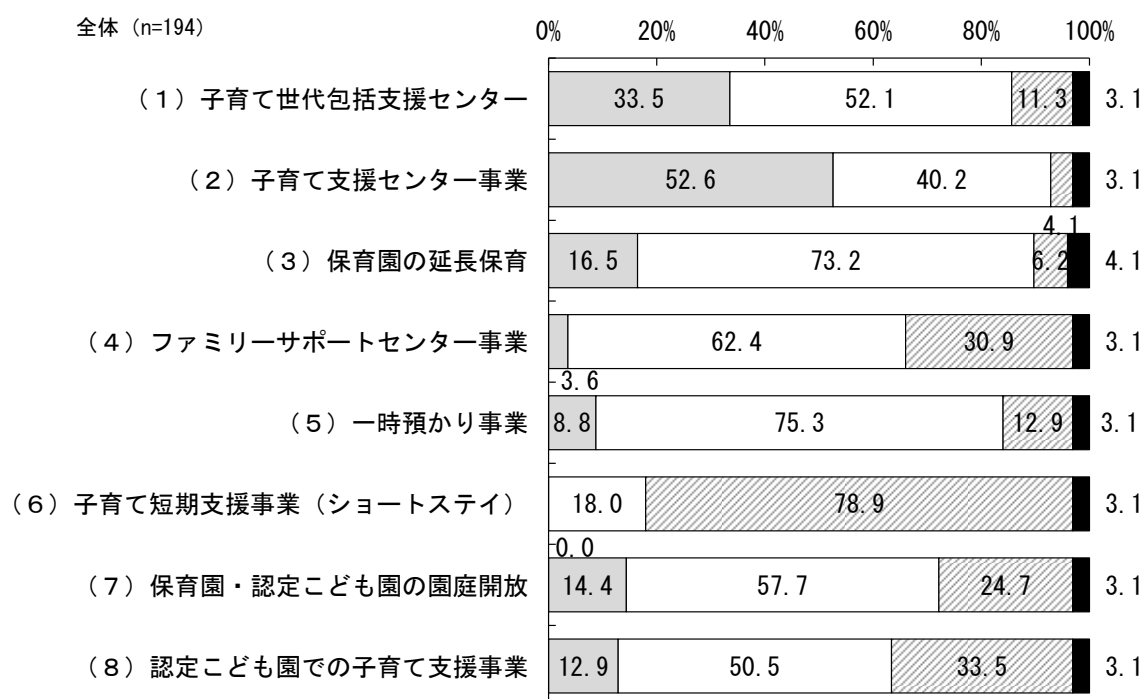
（１）地域の子育て支援サービスの利用状況・認知度について

問39 現在、尾鷲市では、次の（１）～（８）の地域子ども・子育て支援事業を行っています。これらの取り組みを知っていましたか。また、利用したことがありますか。（利用状況・認知度、今後の利用意向それぞれあてはまるもの１つに○）

①利用状況

- ◆「利用したことがある」と回答したサービスは「（２）子育て支援センター事業」（52.6%）が最も多く、次いで「（１）子育て世代包括支援センター」（33.5%）、「（３）保育園の延長保育」（16.5%）が続きます。
- ◆定期的な教育・保育サービスを利用していない方（問36の定期的な教育・保育サービスの利用状況で「利用していない」と回答した方）の利用状況をみると、「利用したことがある」と回答したサービスは「（１）子育て世代包括支援センター」及び「（２）子育て支援センター事業」（同率44.1%）が最も多く、次いで「（７）保育園・認定こども園の園庭開放」及び「（８）認定こども園での子育て支援事業」（同率17.6%）が続きます。
- ◆利用状況について前回調査と比較可能なサービスをみると、前回調査から減少した項目が多いものの、「子育て世代包括支援センター」では前回調査の26.7%から今回調査の33.5%へ約7ポイント増加しています。

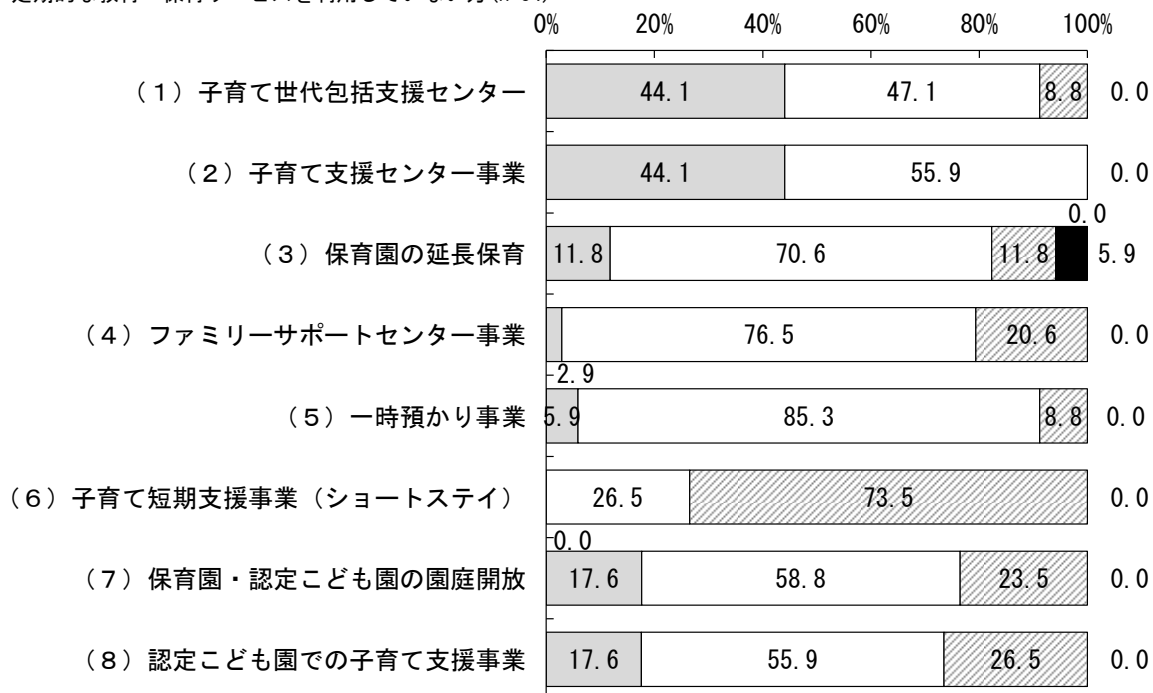
▼地域の子育て支援サービスの利用状況：就学前児童



□利用したことがある □知っているが、利用したことはない □知らなかった ■無回答

▼地域の子育て支援サービスの利用状況：就学前児童：定期的な教育・保育サービスを利用していない方※

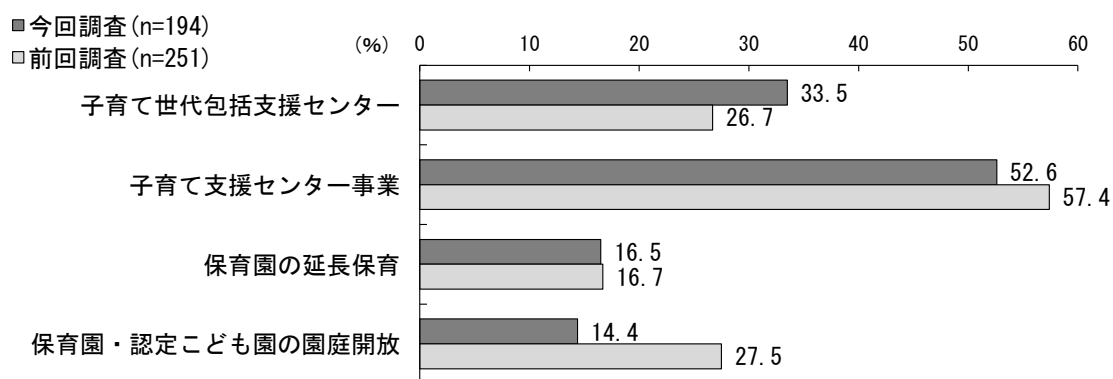
定期的な教育・保育サービスを利用していない方 (n=34)



□利用したことがある □知っているが、利用したことはない □知らなかった ■無回答

※問 36 の定期的な教育・保育サービスの利用状況で「利用していない」と回答した方のみ。

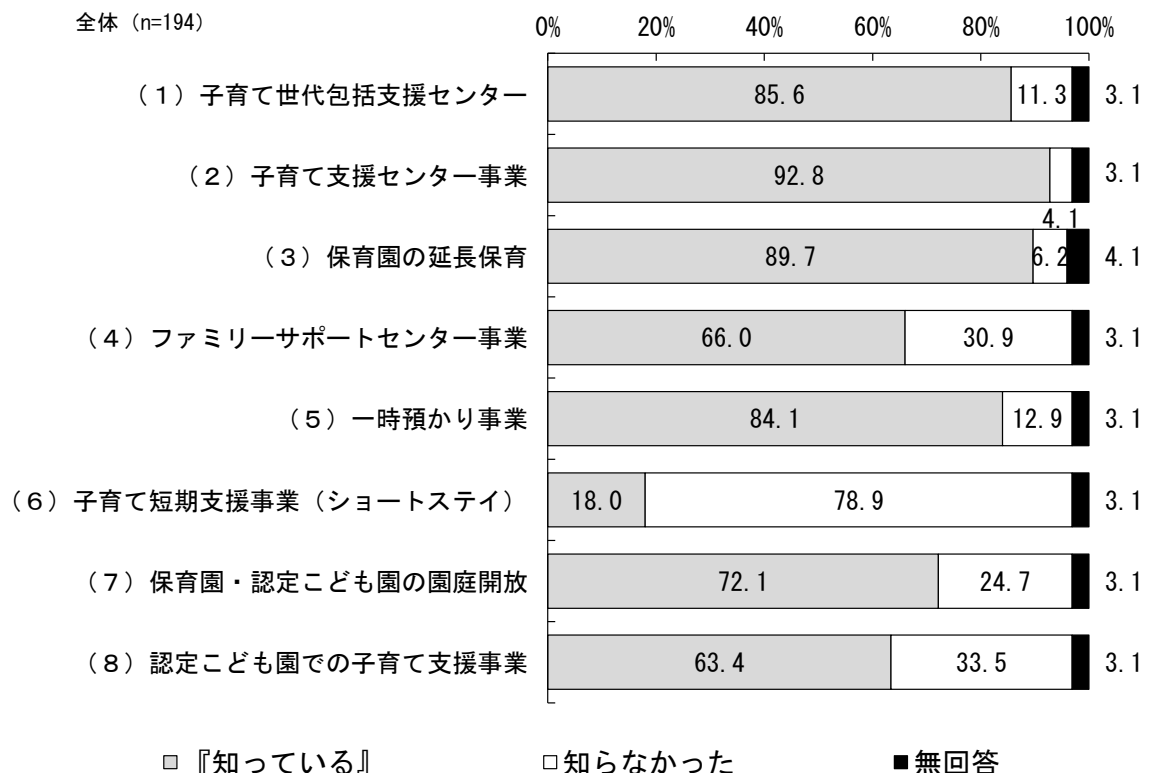
▼地域の子育て支援サービスの利用状況（前回調査との比較）：就学前児童



②認知度

- ◆『知っている』（「利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」の合計）と回答した割合の多い、認知度の高いサービスは「（２）子育て支援センター事業」（92.8%）が最も多く、次いで「（３）保育園の延長保育」（89.7%）、「（１）子育て世代包括支援センター」（85.6%）が続きます。
- ◆定期的な教育・保育サービスを利用していない方（問36の定期的な教育・保育サービスの利用状況で「利用していない」と回答した方）の認知度をみると、「（２）子育て支援センター事業」（100.0%）が最も多く、次いで「（１）子育て世代包括支援センター」及び「（５）一時預かり事業」（同率91.2%）が続きます。
- ◆「知らなかった」と回答した割合の多い、認知度の低いサービスは「（６）子育て短期支援事業（ショートステイ）」（78.9%）が最も多く、次いで「（８）認定こども園での子育て支援事業」（33.5%）、「（４）ファミリーサポートセンター事業」（30.9%）が続きます。
- ◆前回調査と比較可能なサービスについて認知度をみると、認知度はほとんどの項目で増加しており、「（１）子育て世代包括支援センター」では前回調査の62.9%から今回調査の85.6%へ約23ポイント増加しています。

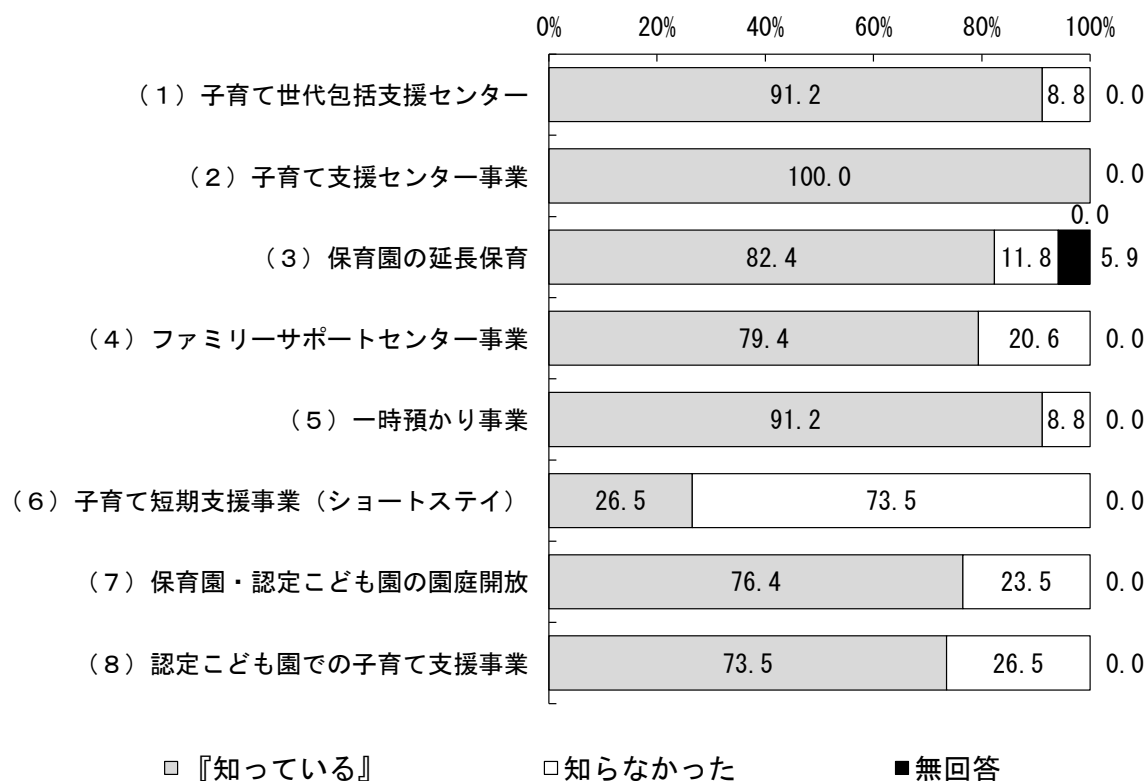
▼地域の子育て支援サービスの認知度：就学前児童



※『知っている』は「利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」の合計。

▼地域の子育て支援サービスの認知度：就学前児童：定期的な教育・保育サービスを利用していない方※

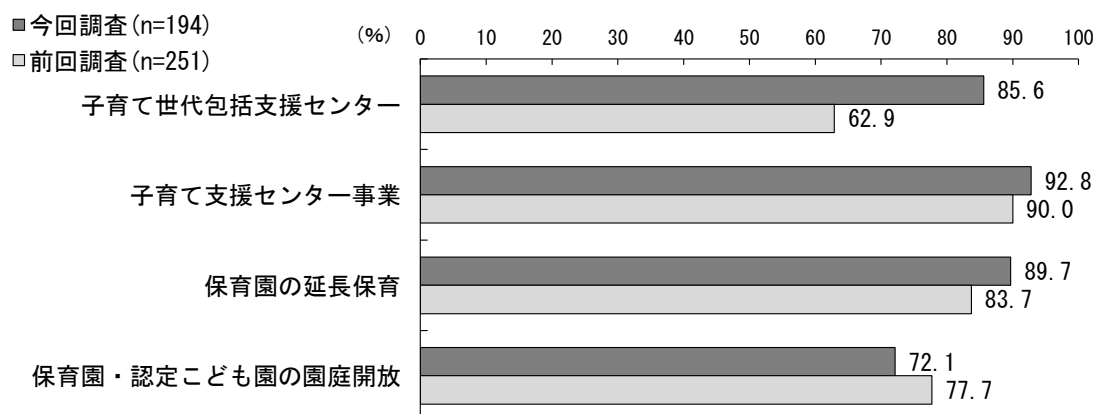
定期的な教育・保育サービスを利用していない方（n=34）



※問 36 の定期的な教育・保育サービスの利用状況で「利用していない」と回答した方のみ。

※『知っている』は「利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」の合計。

▼地域の子育て支援サービスの認知度（前回調査との比較）：就学前児童

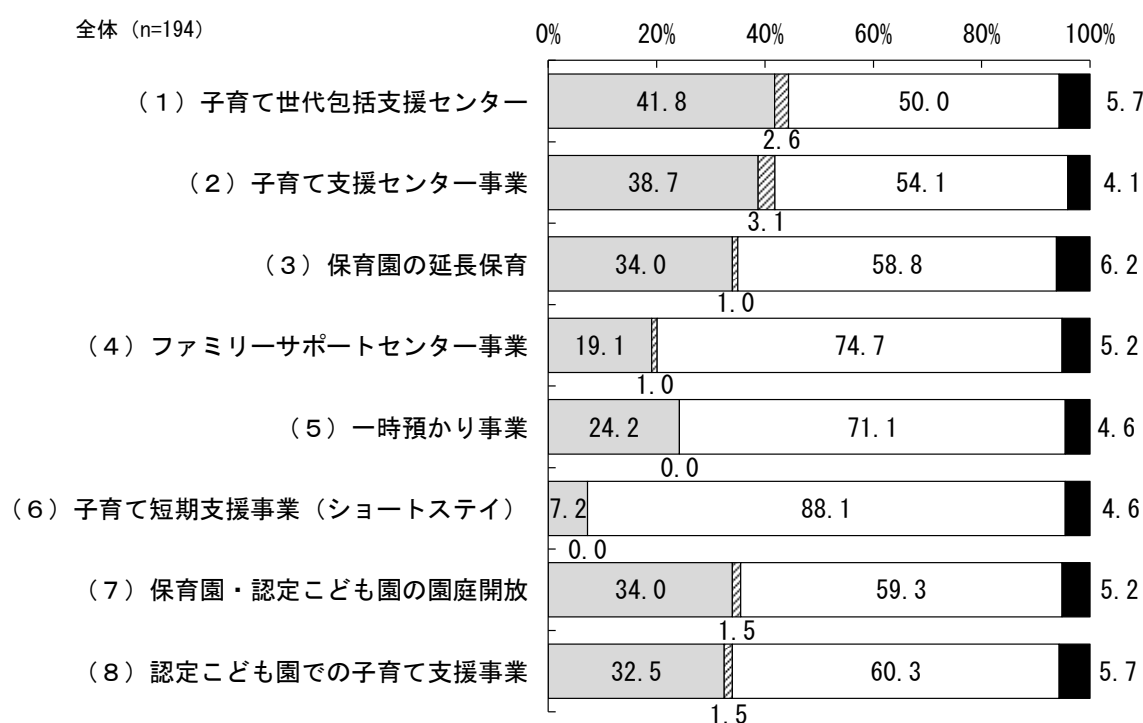


(2) 地域の子育て支援サービスの利用意向について

問39 現在、尾鷲市では、次の(1)～(8)の地域子ども・子育て支援事業を行っています。これらの取り組みを知っていましたか。また、利用したことがありますか。(利用状況・認知度、今後の利用意向それぞれあてはまるもの1つに○)

- ◆「利用したい」と回答したサービスは「(1) 子育て世代包括支援センター」(41.8%)が最も多く、次いで「(2) 子育て支援センター事業」(38.7%)、「(7) 保育園・認定こども園の園庭開放」(34.0%)が続きます。
- ◆定期的な教育・保育サービスを利用していない方(問36の定期的な教育・保育サービスの利用状況で「利用していない」と回答した方)の利用意向をみると、「(7) 保育園・認定こども園の園庭開放」及び「(8) 認定こども園での子育て支援事業」(同率50.0%)が上位に挙げられ、次いで「(1) 子育て世代包括支援センター」及び「(2) 子育て支援センター事業」(同率47.1%)が続きます。
- ◆前回調査と比較可能なサービスについて「利用したい」の回答割合をみると、ほとんどの項目で増加しており、「子育て支援センター事業」では前回調査の31.9%から今回調査の38.4%へ約7ポイント増加しています。

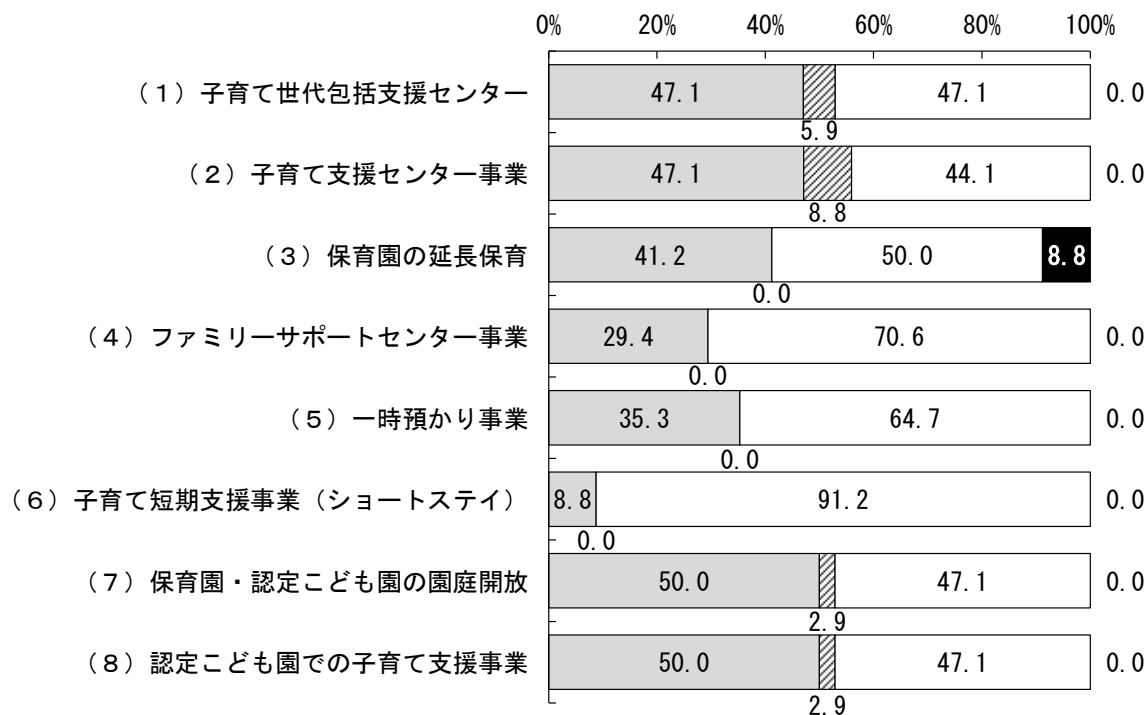
▼地域の子育て支援サービスの利用意向：就学前児童



□ 利用したい ▨ 利用しており、今後は利用日数を増やしたい □ 利用しない ■ 無回答

▼地域の子育て支援サービスの利用意向：就学前児童：定期的な教育・保育サービスを利用していない方※

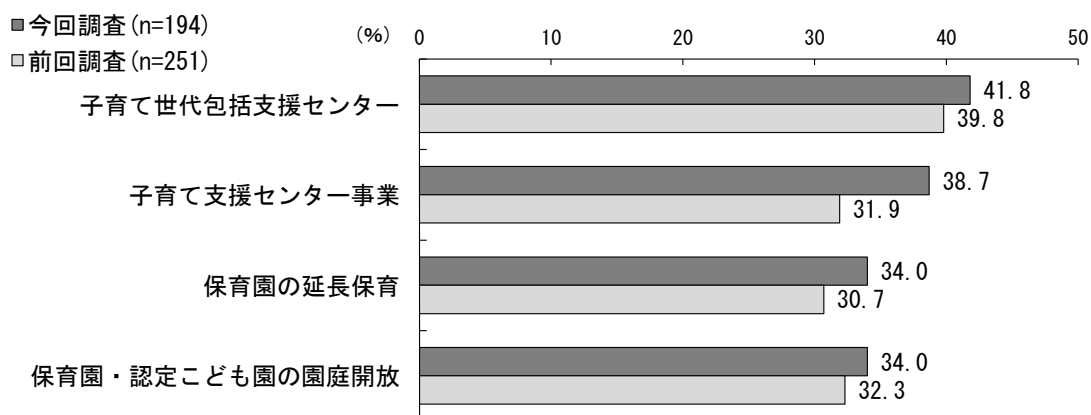
定期的な教育・保育サービスを利用していない方（n=34）



□利用したい ▨利用しており、今後は利用日数を増やしたい □利用しない ■無回答

※問 36 の定期的な教育・保育サービスの利用状況で「利用していない」と回答した方のみ。

▼地域の子育て支援サービスの利用意向（前回調査との比較）：就学前児童



7. お子さんの病気の際の対応について

(1) 病気やけがの場合の対応

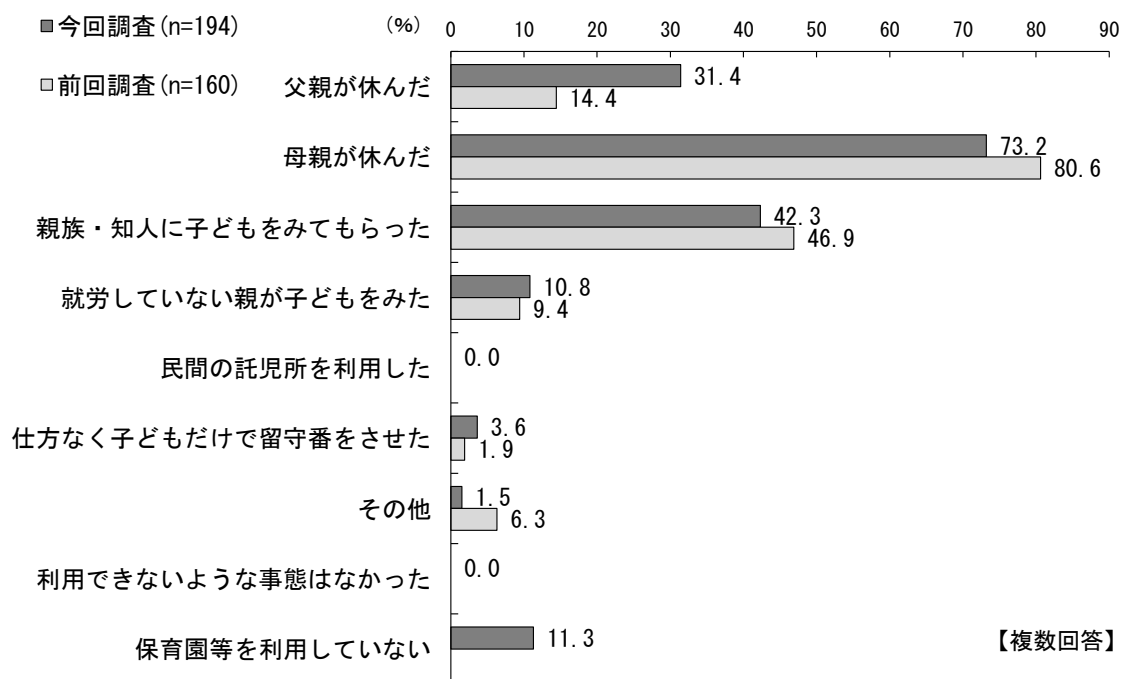
①就学前児童

問40 お子さんが、病気やけがで保育園等を利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◆「母親が休んだ」(73.2%)が最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」(42.3%)、「父親が休んだ」(31.4%)が続きます。

◆「父親が休んだ」が前回調査(14.4%)から約17ポイント増加しています。

▼病気やけがの場合の対応：就学前児童



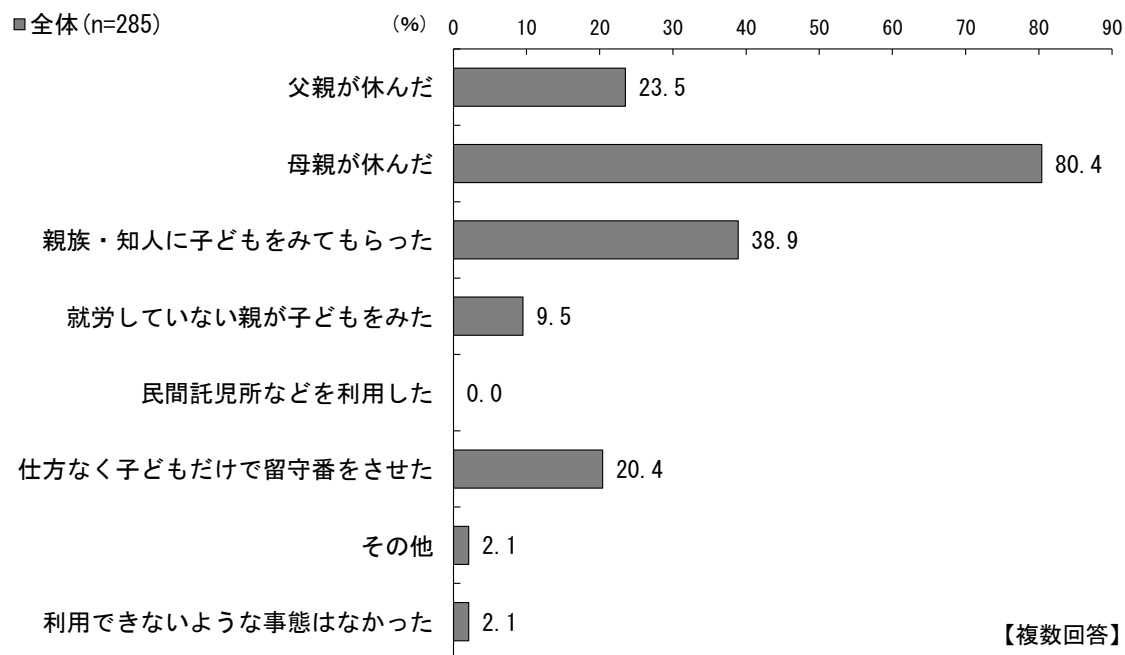
※「民間の託児所を利用した」、「利用できないような事態はなかった」、「保育園等を利用していない」の選択肢は今回調査から設定。

②小学生児童

問34 お子さんが、病気やけがで保育園等を利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

◆「母親が休んだ」(80.4%)が最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」(38.9%)、「父親が休んだ」(23.5%)が続きます。

▼病気やけがの場合の対応：小学生児童



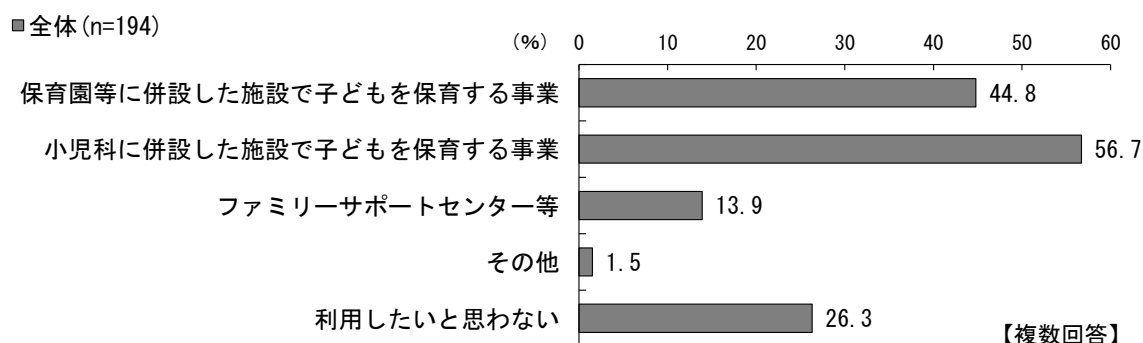
(2) 利用したい事業

①就学前児童

問41 お子さんが病気やけがで保育園等を利用できない場合に、どのような子育て支援サービスを利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- ◆「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(56.7%)が最も多く、次いで「保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」(44.8%)が続きます。
- ◆「利用したいと思わない」は26.3%となっています。

▼利用したい事業：就学前児童



◇その他回答：病気やけがの時くらい休める環境づくり／訪問型病児保育／子育てしやすい環境づくり

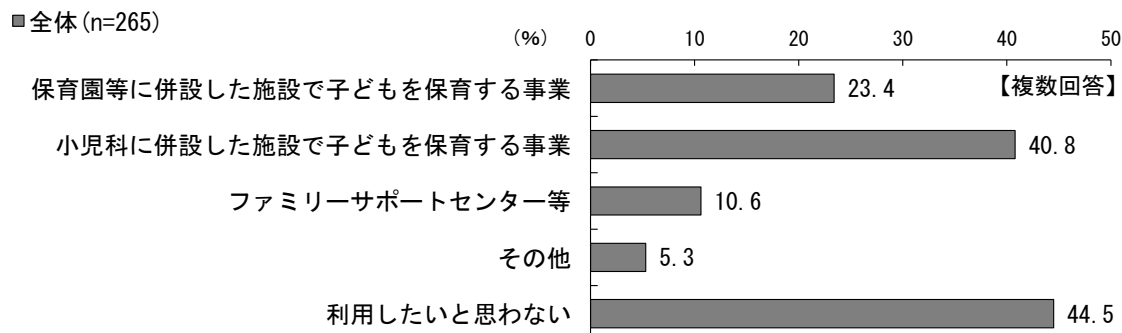
②小学生児童

【問34で「1～7」を選んだ方にうかがいます。】

問35 宛名のお子さんが病気やけがの際、以下の病児・病後児のための施設等を今後（も）利用したいですか。(あてはまるものすべてに○)

- ◆「利用したいと思わない」(44.5%)が最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(40.8%)、「保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」(23.4%)が続きます。

▼利用したい事業：小学生児童



◇その他回答：職場の理解が得られるような社会になってほしい／両親／利用した事がないので、イメージがわからない／親族にみてもらえるうちは考えていない／施設の環境などを含めて預け先を考えたいため現段階ではわからない／子育てに理解ある社会づくりをしてほしい／有資格者による病児保育（看護師の巡回訪問あり）／小児科もないし困っている／ファミリーサポートセンターに預けるのは少し抵抗があるし、病気の際は側に居てあげたいので少しは利用したいと思う気持ちはあるが利用はしない

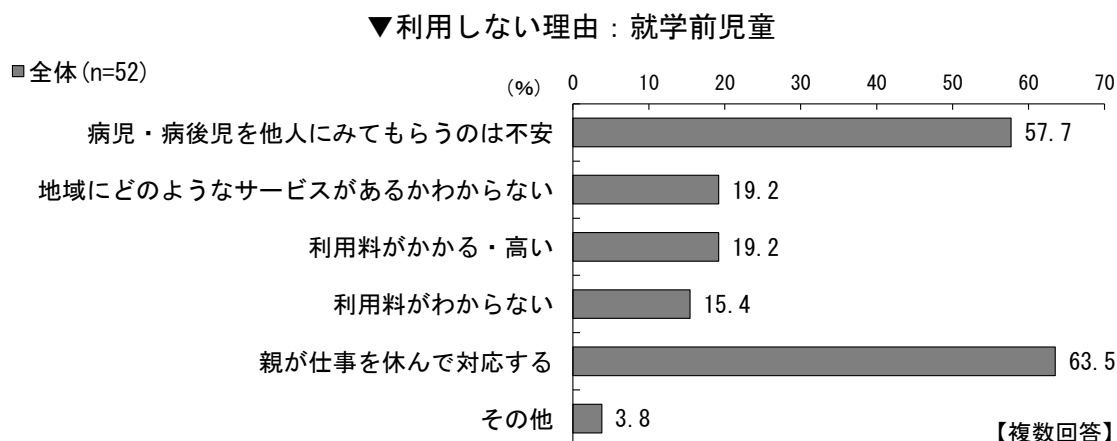
(3) 利用しない理由

①就学前児童

【問41で「5」を選んだ方にうかがいます。】

問42 利用したいと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

◆「親が仕事を休んで対応する」(63.5%)が最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」(57.7%)が続きます。



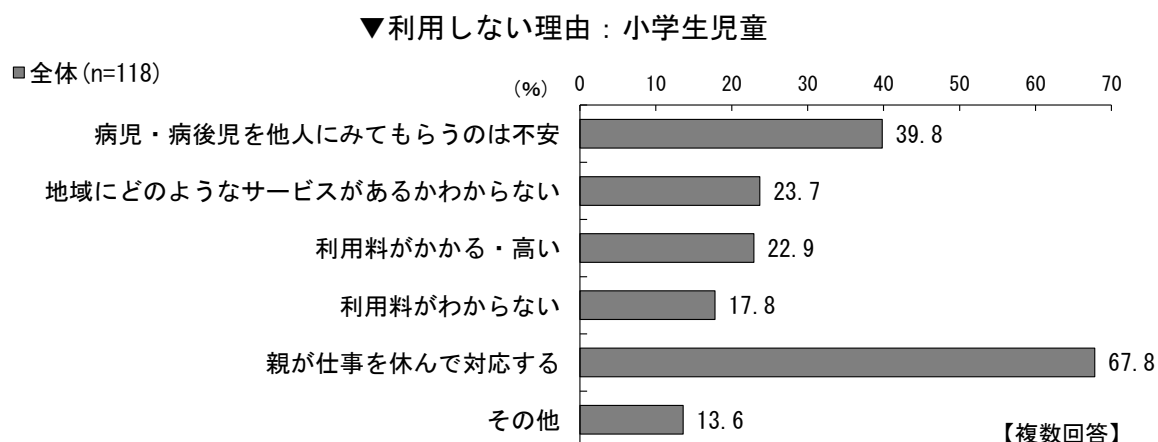
◇その他回答：病児保育で他の病気に感染する不安がある

②小学生児童

【問35で「5」を選んだ方にうかがいます。】

問36 利用したいと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

◆「親が仕事を休んで対応する」(67.8%)が最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」(39.8%)が続きます。



◇その他回答：祖父母に頼む／自分でみる／病気やけがの時はなるべく一緒にいてあげたい／感染症が広がる心配と感染症にかかる心配／制度の周知／軽い病気やけがなら預けたい／保育園や小学校低学年であれば利用したいが、高学年になり、預けられるのを嫌がるから／子が一人で留守番できる年齢になってきたため

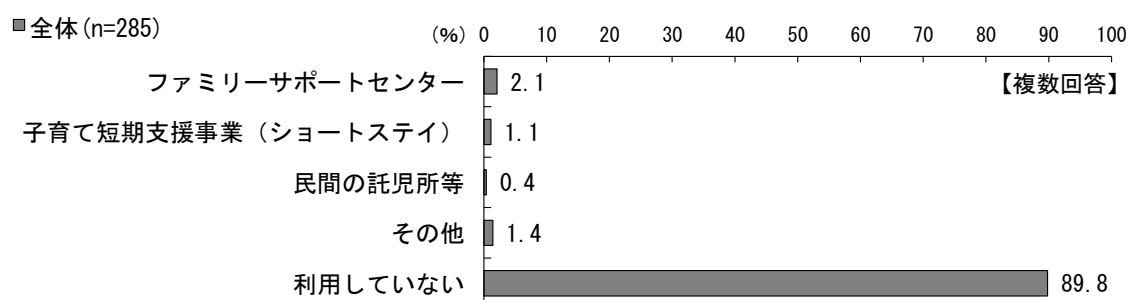
8. お子さんの一時預かり等の利用について（小学生児童）

（１）不定期に利用している子育てサービス

問37 宛名のお子さんについて、病気やけがでの利用以外に、私用、不定期の就労等の目的で、「不定期に」利用している子育てサービスはありますか。（あてはまるものすべてに○）

◆「利用していない」が89.8%と約9割を占め、「ファミリーサポートセンター」が2.1%などとなっています。

▼不定期に利用している子育てサービス：小学生児童



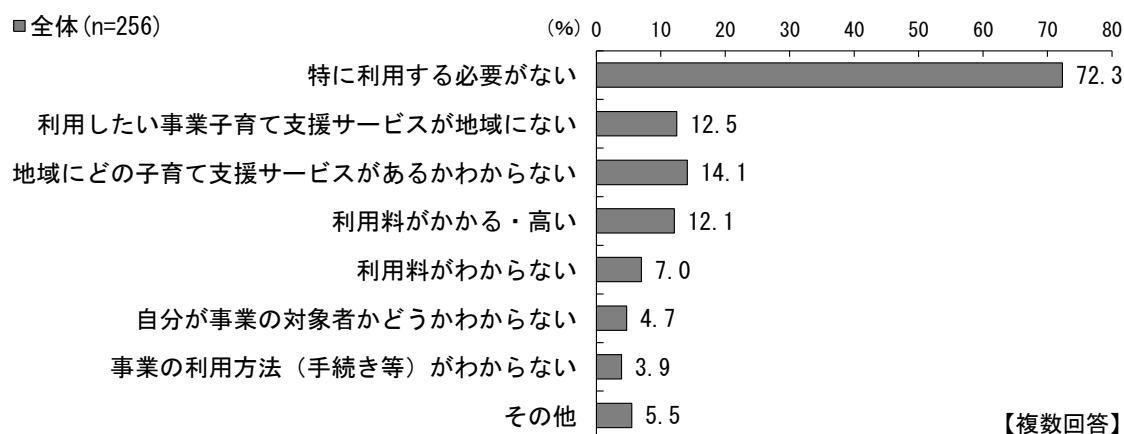
（２）利用していない理由

【問37で「5」を選んだ方にうかがいます。】

問38 利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

◆「特に利用する必要がない」(72.3%)が最も多く、次いで「地域にどの子育て支援サービスがあるかわからない」(14.1%)が続きます。

▼利用していない理由：小学生児童



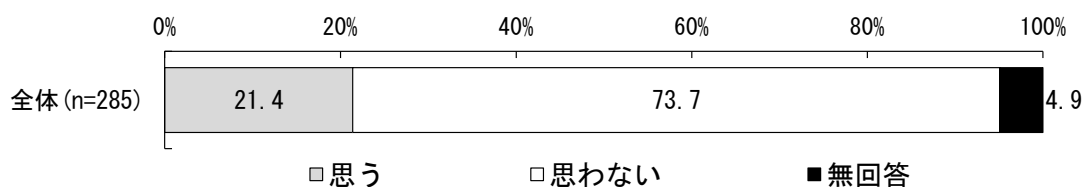
◇その他回答：制度自体知らない／急な預かりが難しい／予約が面倒／子どもを他人に預けることに勇気がいるため／実際に利用している方が周りにいないので、実態がわからない／急に必要になっても利用できない／子どもが留守番できるようになった／子どもが小さい時は安心して預けることができない

(3) 泊まりがけで子どもを預ける必要性の有無

問39 今後、保護者の用事（冠婚葬祭や家族の育児疲れ、病気等）により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預ける必要が出てくると思いますか。（あてはまるものすべてに○）

◆「思わない」が73.7%と7割を超え、「思う」は21.4%となっています。

▼泊まりがけで子どもを預ける必要性の有無：小学生児童



9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について（就学前児童）

（１）小学校就学後の放課後の過ごし方

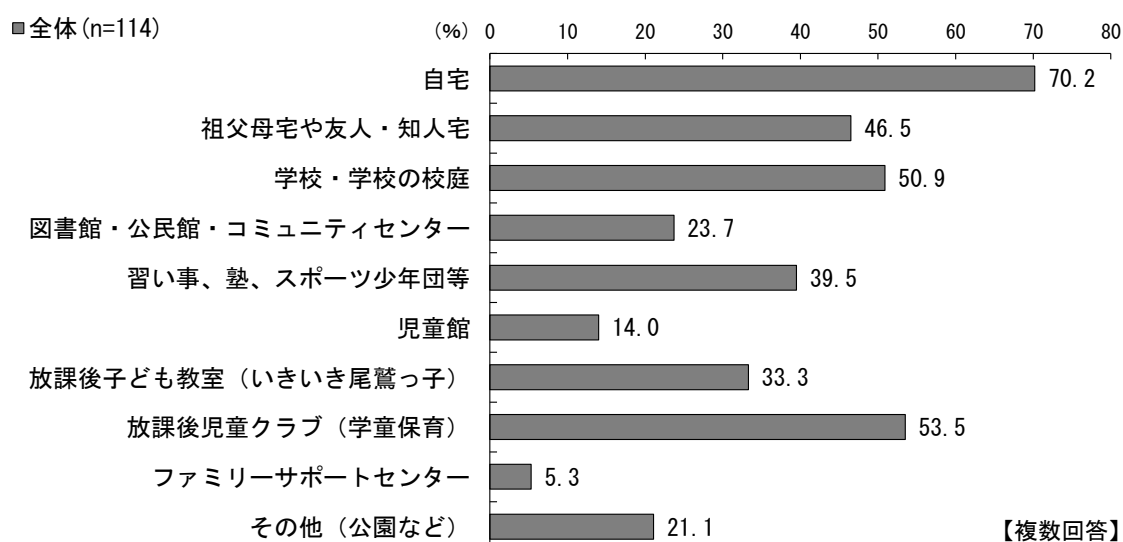
【3歳から6歳のお子さんをお持ちの方にうかがいます。】

問43 宛名のお子さんが小学生になったときに、平日の学校終了後（放課後）や土曜日、日曜・祝日にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（小学校低学年、小学校高学年でそれぞれあてはまるものすべてに○）

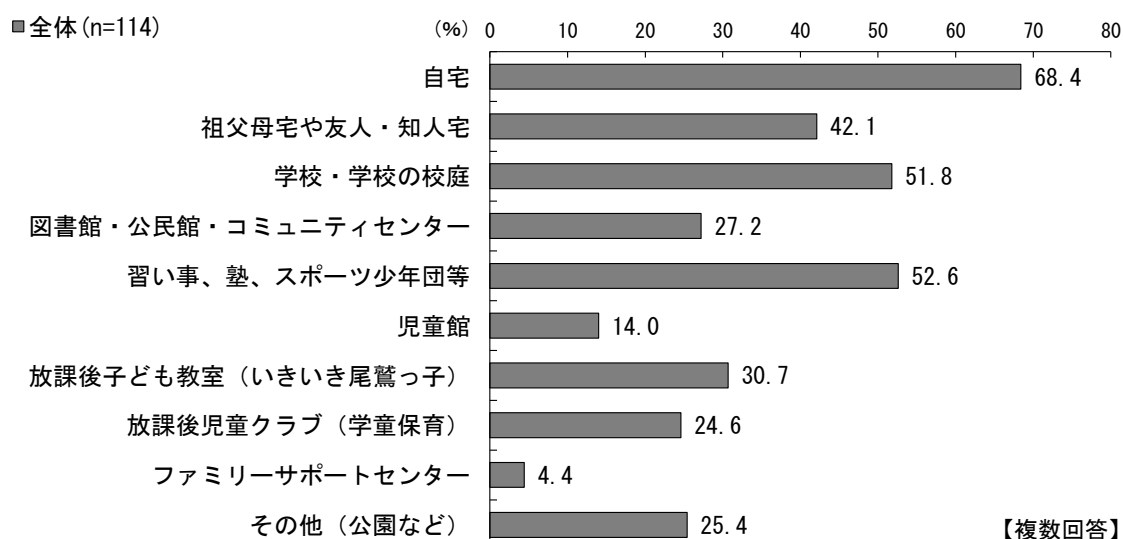
◆小学校低学年（１～３年）では「自宅」（70.2%）が最も多く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」（53.5%）、「学校・学校の校庭」（50.9%）が続きます。

◆小学校高学年（４～６年）では「自宅」（68.4%）が最も多く、次いで「習い事、塾、スポーツ少年団等」（52.6%）、「学校・学校の校庭」（51.8%）が続きます。

▼小学校低学年（１～３年）：就学前児童



▼小学校高学年（４～６年）：就学前児童



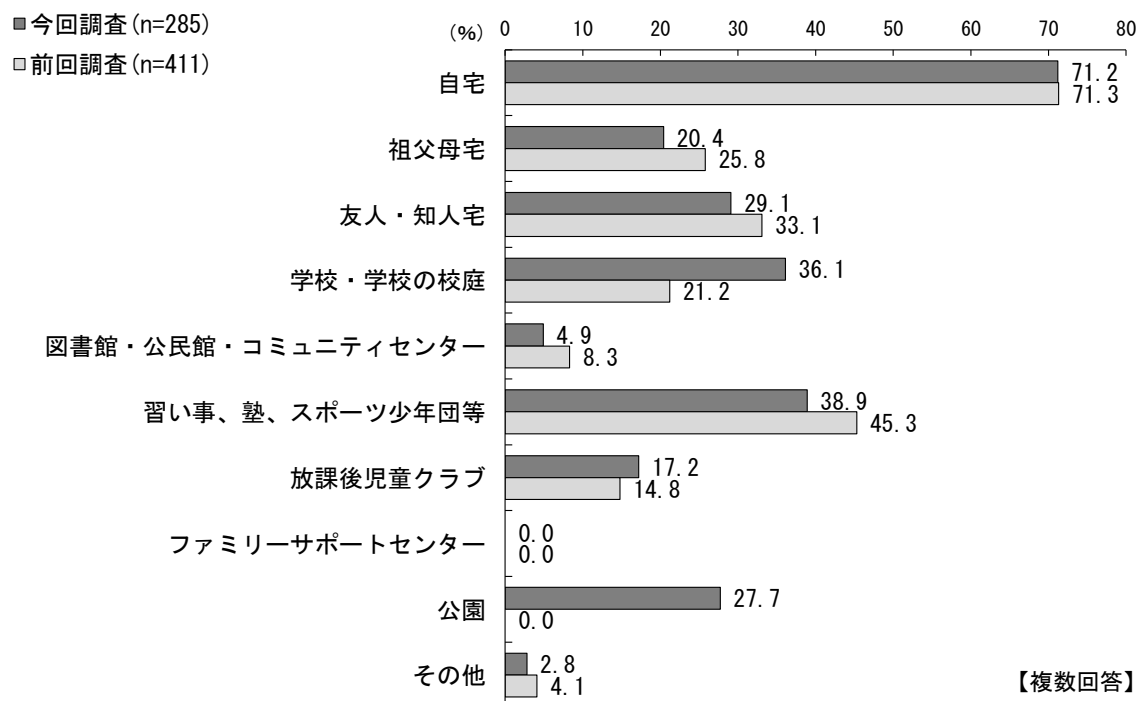
10. 放課後の過ごし方について（小学生児童）

（１）放課後の過ごし方：現状

問40 宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間を、どのような場所で過ごしていますか。

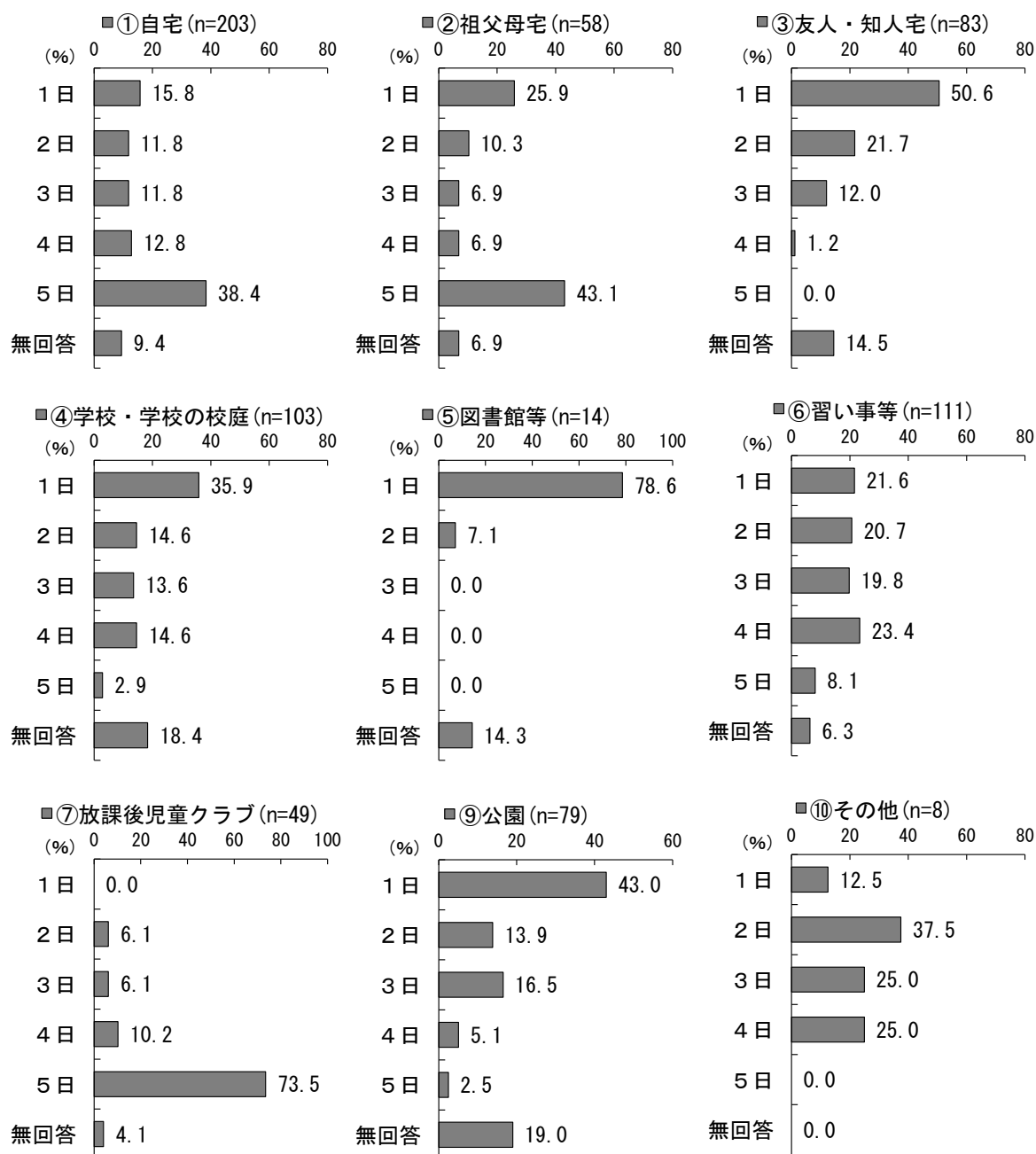
- ◆現状の放課後の過ごし方は「自宅」（71.2%）が最も多く、次いで「習い事、塾、スポーツ少年団等」（38.9%）、「学校・学校の校庭」（36.1%）が続きます。
- ◆前回調査と比べ「学校・学校の校庭」が約15ポイント増加しています。また、前回調査にはない「公園」が27.7%となっています。

▼放課後の過ごし方：小学生児童：現状

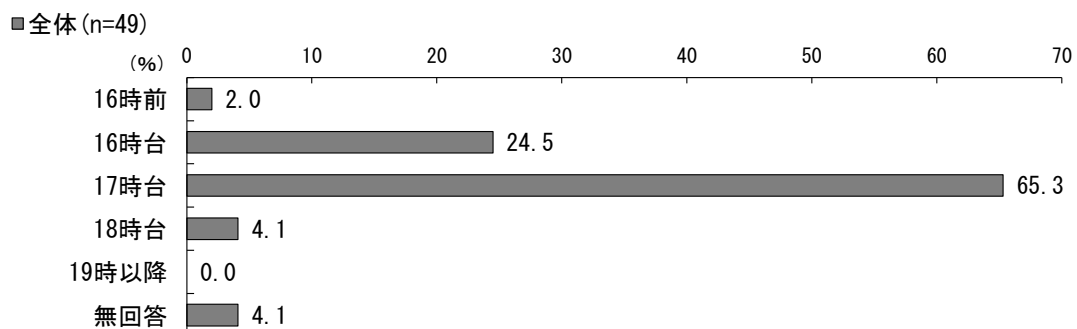


◇その他回答：グラウンド／姉の家

▼放課後の過ごし方：小学生児童：現状（日数）



▼放課後児童クラブの利用時間：小学生児童：現状

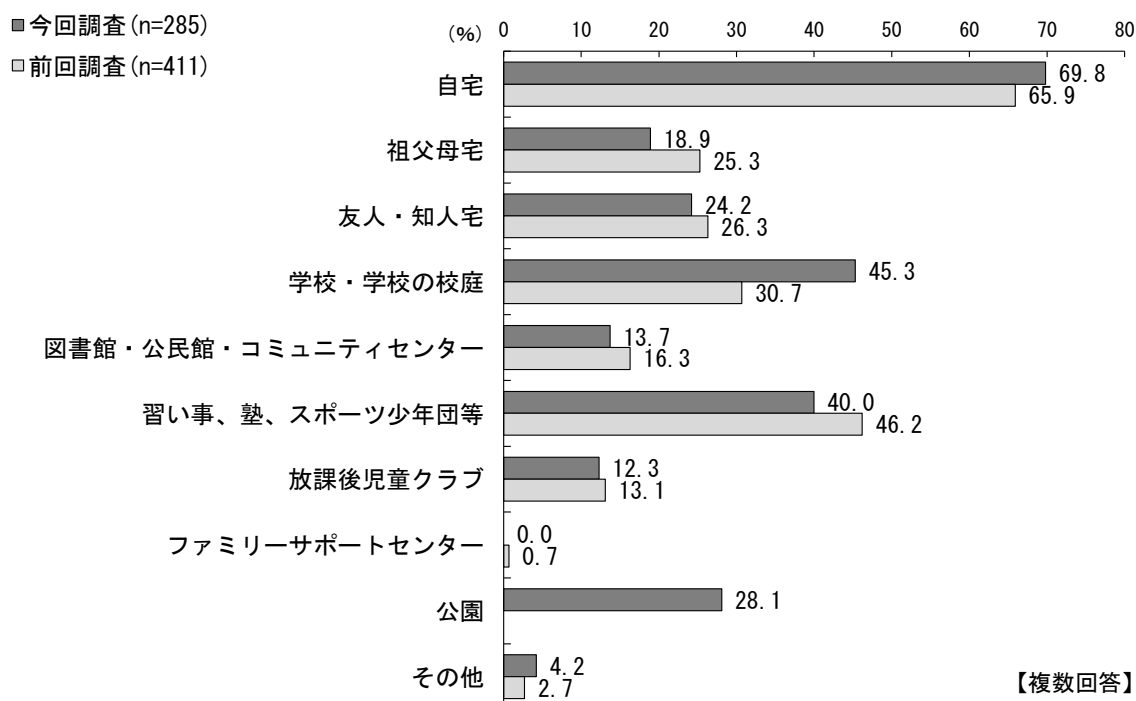


(2) 放課後の過ごし方：希望

問41 今後、宛名のお子さんの放課後（平日の小学校終了後）の時間を、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。

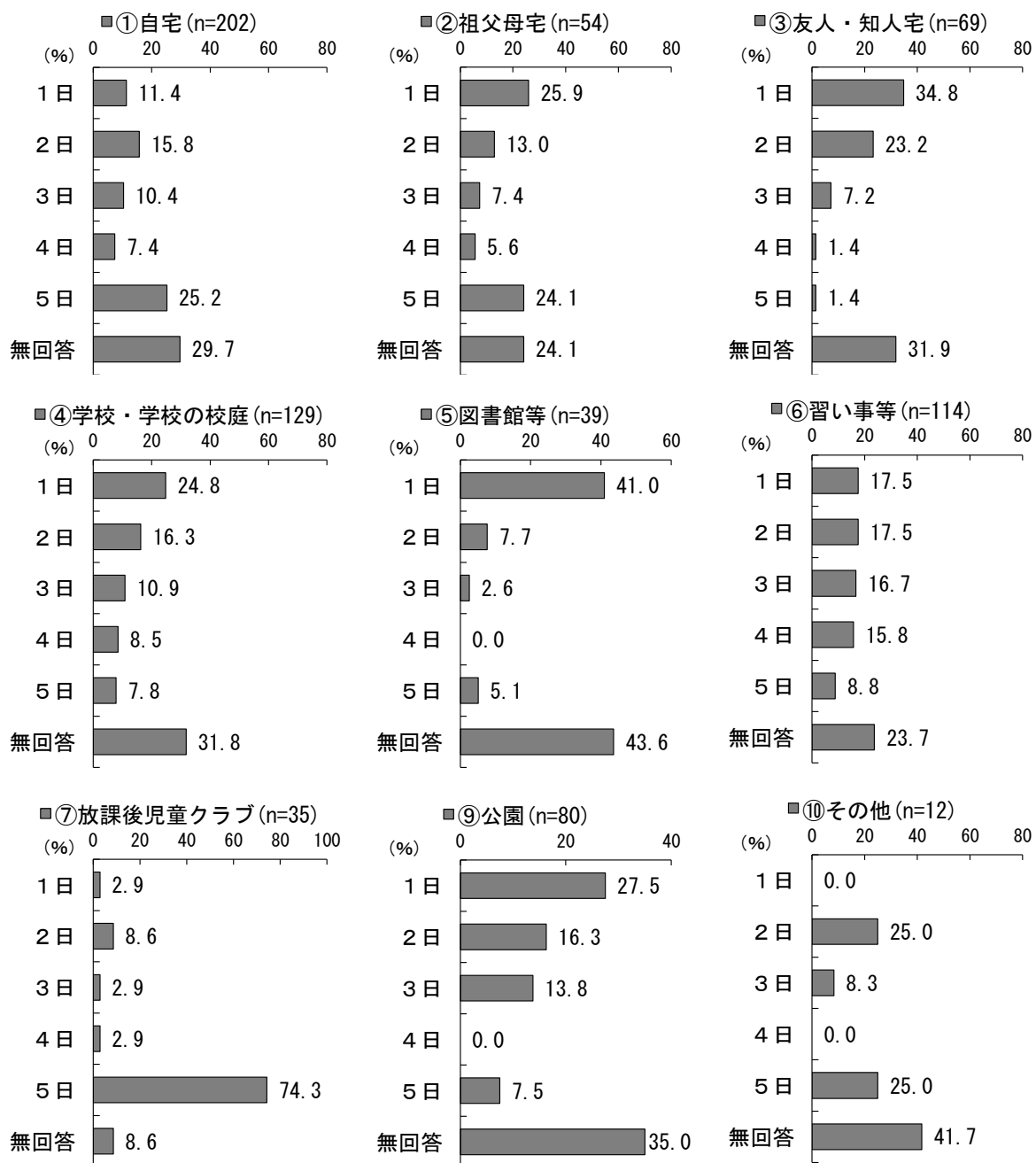
- ◆希望する放課後の過ごし方は「自宅」（69.8%）が最も多く、次いで「学校・学校の校庭」（45.3%）、「習い事、塾、スポーツ少年団等」（40.0%）が続きます。
- ◆前回調査と比べ「学校・学校の校庭」が約 15 ポイント増加しています。また、前回調査にはない「公園」が 28.1%となっています。

▼希望する放課後の過ごし方：小学生児童：希望

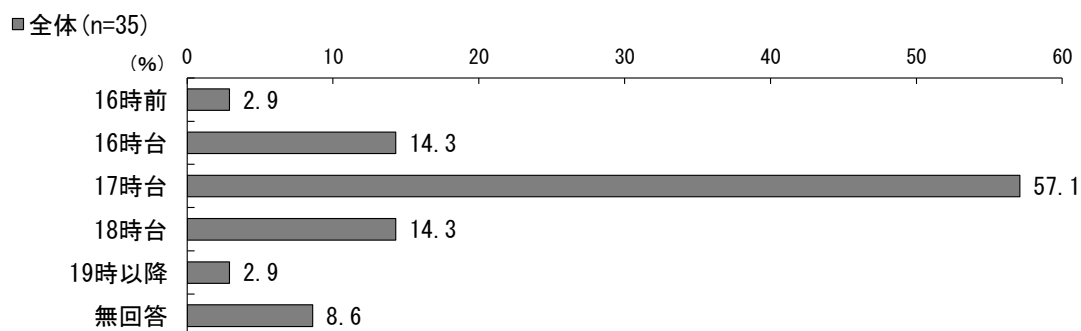


◇その他回答：グラウンド／熊野古道センター／高学年なのでいろんな所へ遊びにっている／姉の家／雨でも遊べるようなところがあれば／放課後、長期休暇の子どもの居場所がない／放課後児童クラブも6年生まで拡大してほしい／学校の友だちと外で元気に遊んでほしい

▼放課後の過ごし方：小学生児童：現状（日数）



▼放課後児童クラブの利用時間：小学生児童：希望

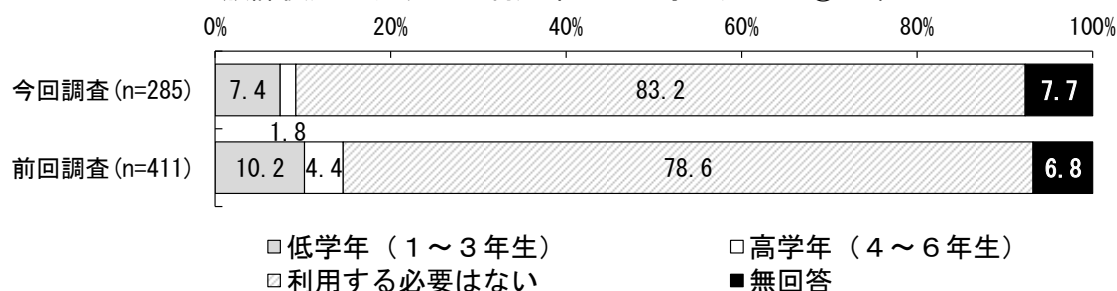


(3) 土曜や日曜・祝日、長期休暇中の放課後児童クラブの利用意向

問42 土曜や日曜・祝日、夏休みなど長期休暇中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。利用希望と利用したい時間帯をお答えください。

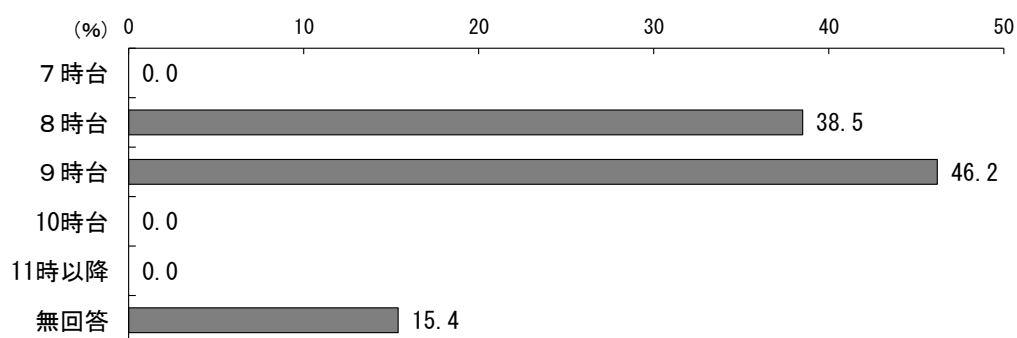
- ◆①土曜日の利用意向は「低学年（１～３年生）」が7.4%、「高学年（４～６年生）」が1.8%となっています。
- ◆②日曜日・祝日の利用意向は「低学年（１～３年生）」が6.3%、「高学年（４～６年生）」が1.4%となっています。
- ◆③長期休暇中の利用意向は「低学年（１～３年生）」が24.2%、「高学年（４～６年生）」が8.8%となっています。
- ◆前回調査と比較すると「高学年（４～６年生）」でも利用したいと回答する割合が減少しています。

▼放課後児童クラブの利用希望：小学生児童：①土曜日

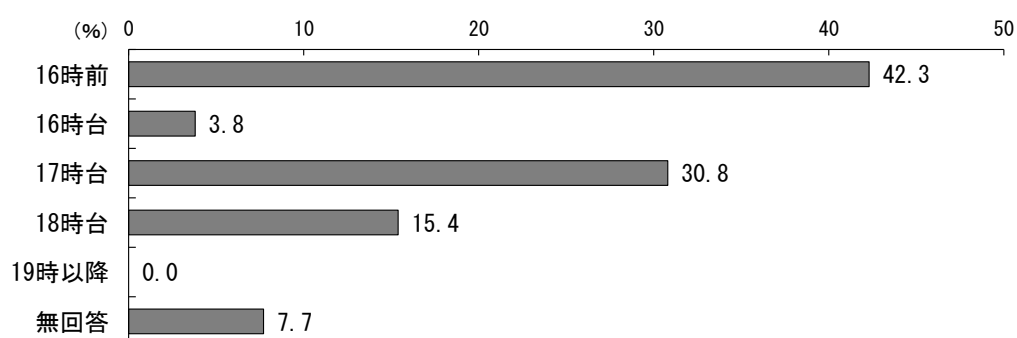


▼放課後児童クラブの利用希望：小学生児童：①土曜日（利用時間）

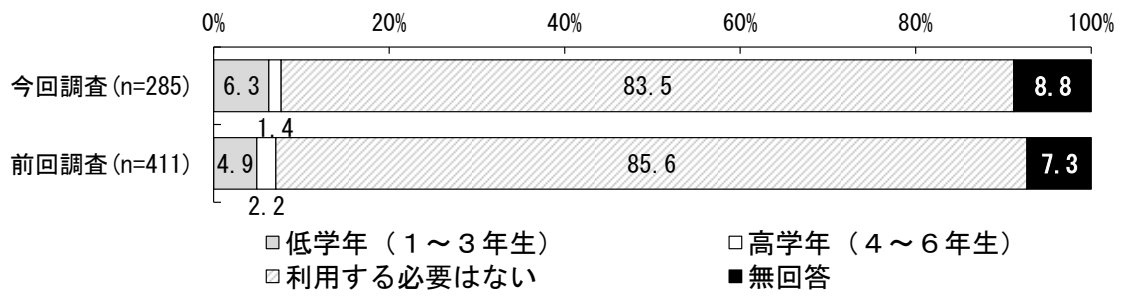
■①土曜日開始時間 (n=26)



■①土曜日終了時間 (n=26)

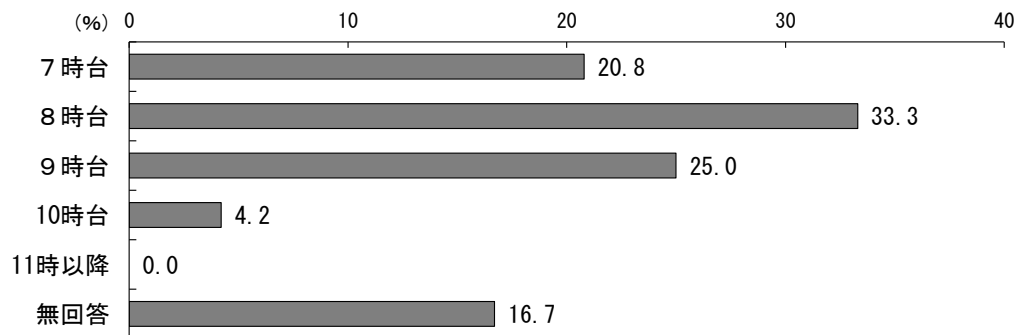


▼放課後児童クラブの利用希望：小学生児童：②日曜日・祝日

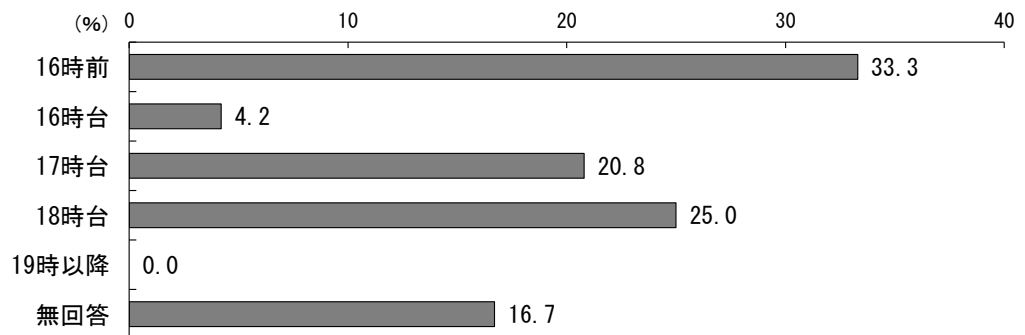


▼放課後児童クラブの利用希望：小学生児童：②日曜日・祝日（利用時間）

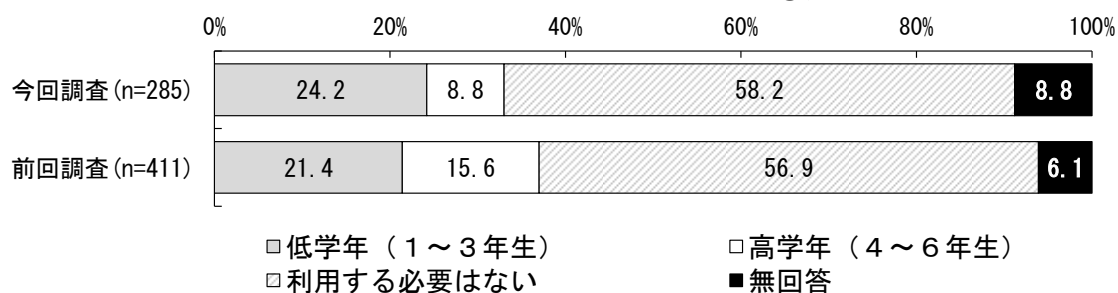
■②日曜日・祝日利用開始時間 (n=24)



■②日曜日・祝日利用終了時間 (n=24)

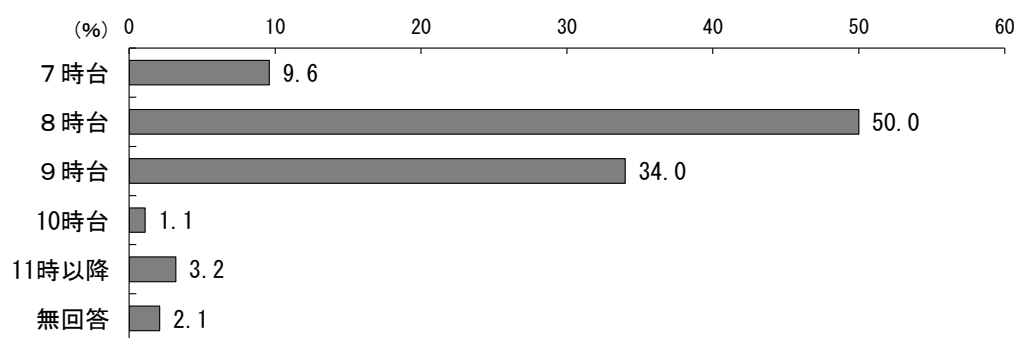


▼放課後児童クラブの利用希望：小学生児童：③長期休暇中

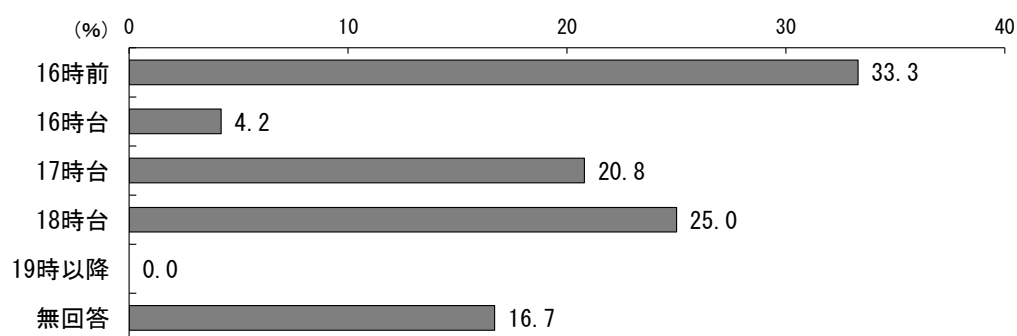


▼放課後児童クラブの利用希望：③長期休暇中（利用時間）

■③長期休暇中利用開始時間 (n=94)



■③長期休暇中利用終了時間 (n=94)



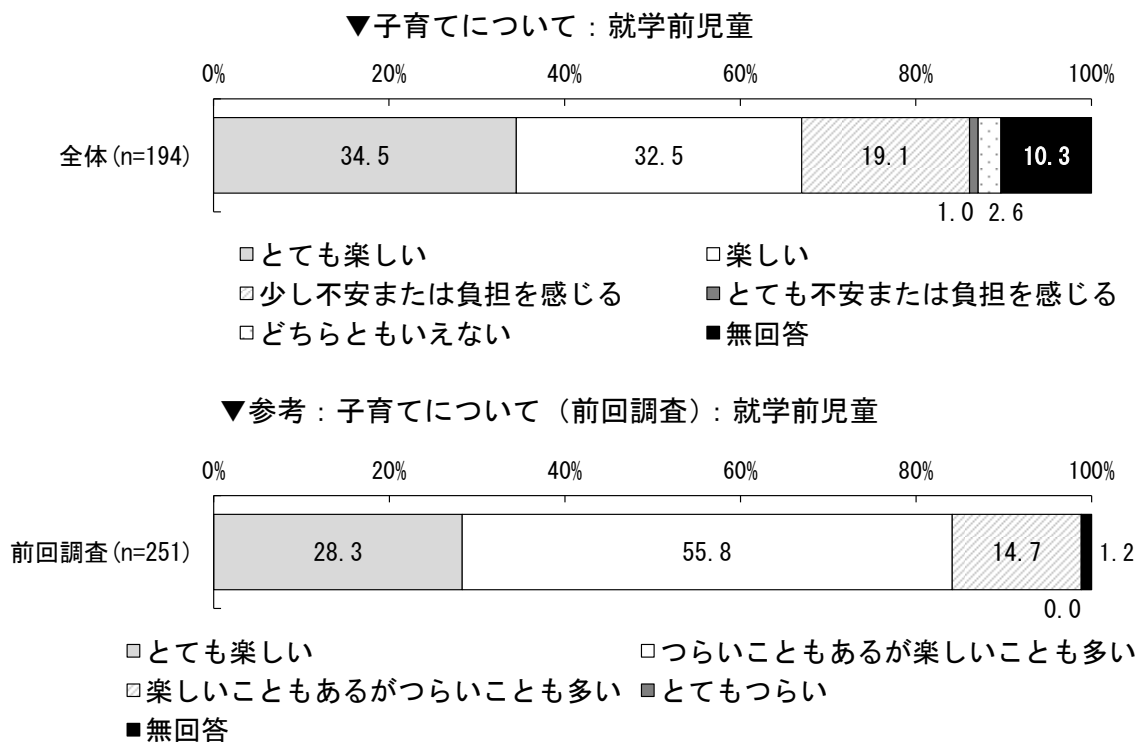
11. 子育ての不安や負担について

(1) 子育てについて

①就学前児童

問44 子育ては、楽しいときもあれば、つらいときもあると思いますが、一番近いお気持ちをお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

◆「とても楽しい」が34.5%で最も多く、これに「楽しい」(32.5%)をあわせた『楽しい』が67.0%となっています。一方、『不安・負担を感じる』(「少し不安または負担を感じる」19.1%と「とても不安または負担を感じる」1.0%の合計)は20.1%となっています。

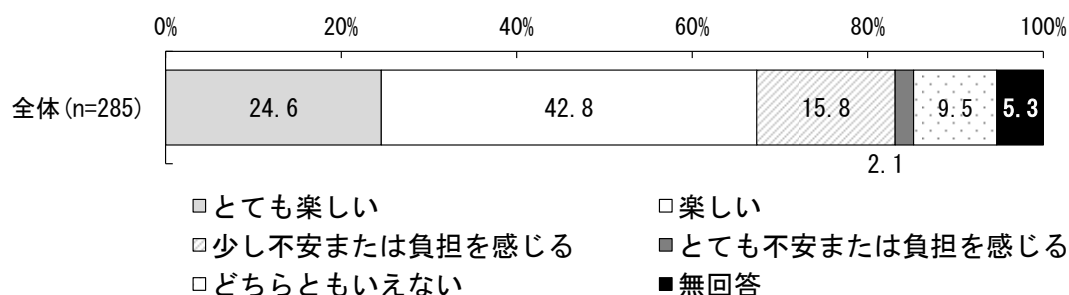


②小学生児童

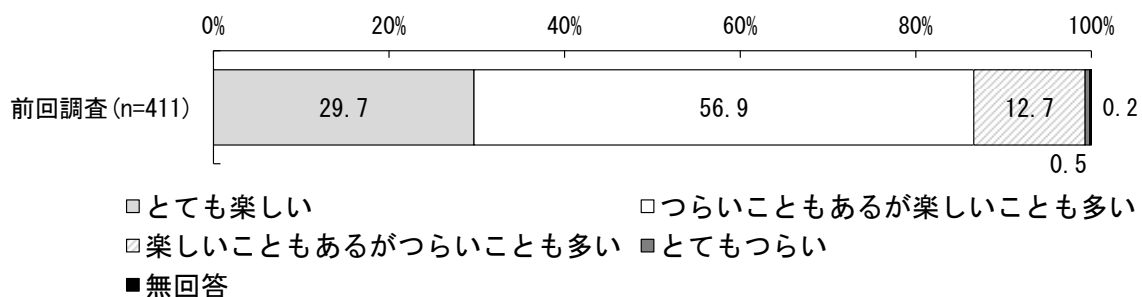
問45 子育ては、楽しいときもあれば、つらいときもあると思いますが、一番近いお気持ちをお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

◆「楽しい」が42.8%で最も多く、これに「とても楽しい」(24.6%)をあわせた『楽しい』が67.4%となっています。一方、『不安・負担を感じる』(「少し不安または負担を感じる」15.8%と「とても不安または負担を感じる」2.1%の合計)は17.9%となっています。

▼子育てについて：小学生児童



▼参考：子育てについて（前回調査）：小学生児童



(2) 子育てについての悩みごと

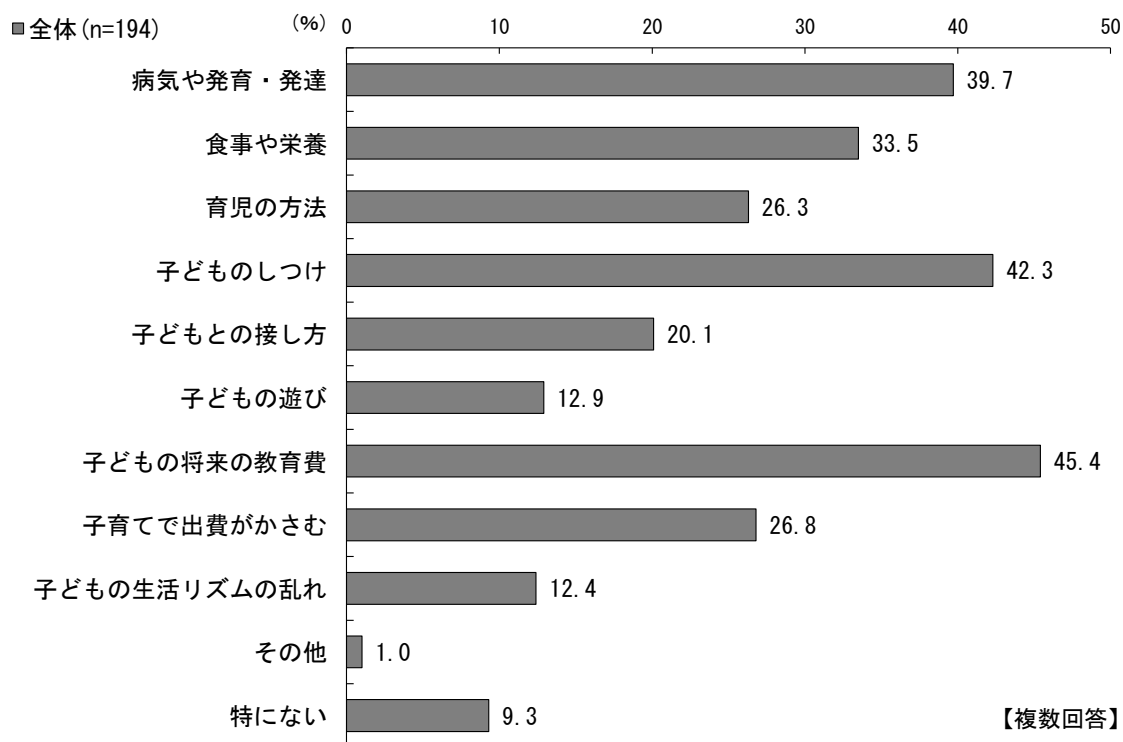
①就学前児童

問45 お子さんを育てていて、日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。(それぞれあてはまるものすべてに○)

i お子さんについての悩みごと

- ◆お子さんについての悩みごとは「子どもの将来の教育費」(45.4%)が最も多く、次いで「子どものしつけ」(42.3%)、「病気や発育・発達」(39.7%)が続きます。
- ◆「特にない」は9.3%と約1割にとどまります。

▼お子さんについての悩みごと：就学前児童



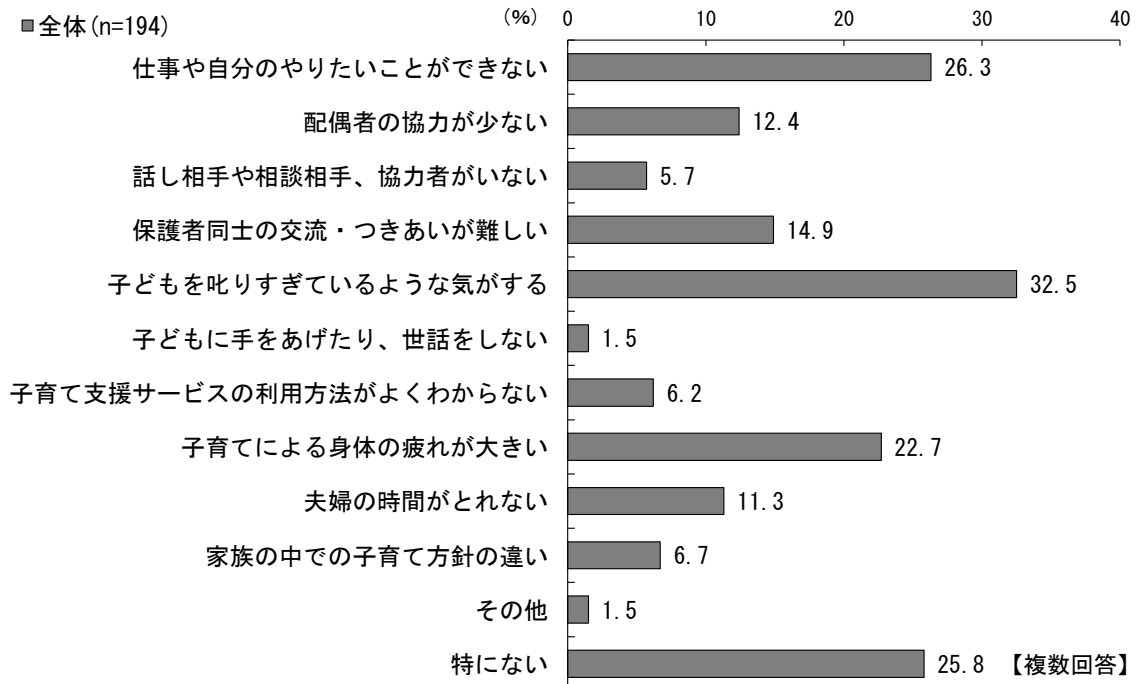
◇その他回答：市内に小児科が少なすぎる／勉強を見てくれる場所がない／交通の便が悪い

ii 保護者の悩みごと

◆保護者の悩みごとは「子どもを叱りすぎているような気がする」(32.5%)が最も多く、次いで「仕事や自分のやりたいことができない」(26.3%)、「子育てによる身体の疲れが大きい」(22.7%)などが続きます。

◆「特にない」は25.8%となっています。

▼保護者の悩みごと：就学前児童



◇その他回答：病院に行きたい時に行きにくい／シングルマザーのため自分が健康でこの先も仕事を続けられるかたまたまに不安になる／この地域での子育てに不安がある

②小学生児童

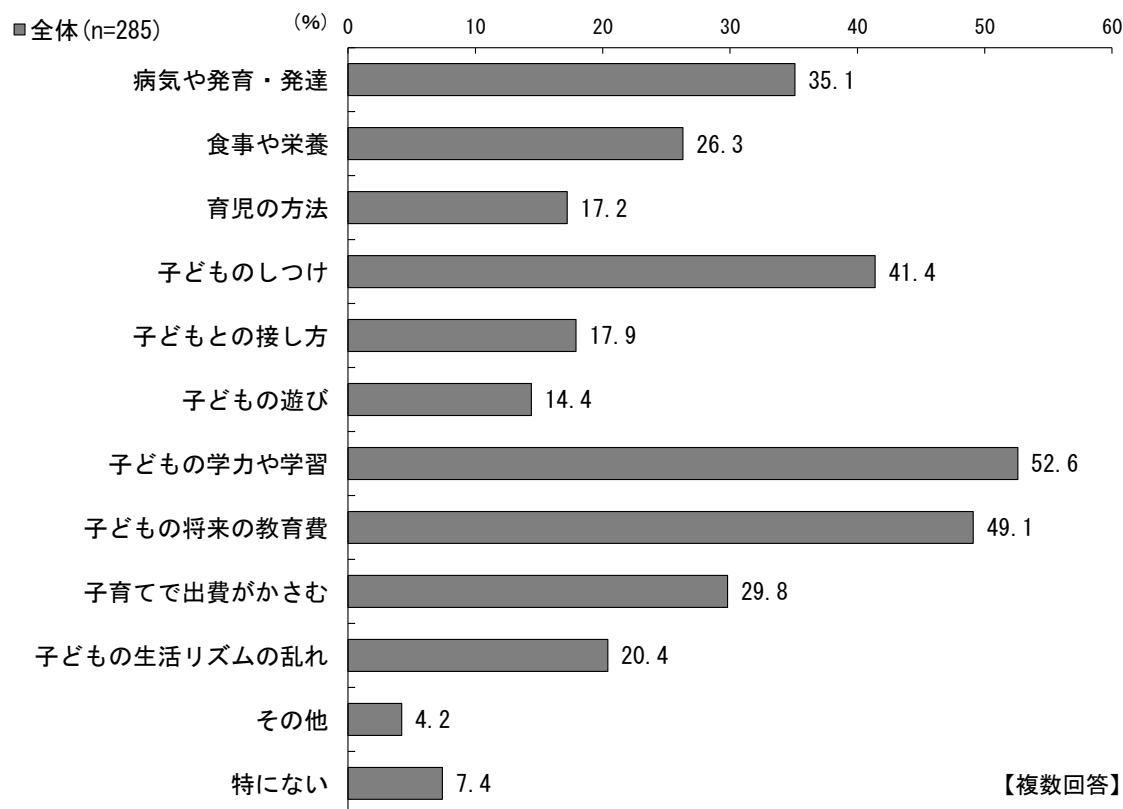
問46 お子さんを育てていて、日頃悩んでいること、不安に感じることはどのようなことですか。（それぞれあてはまるものすべてに○）

i お子さんについての悩みごと

◆お子さんについての悩みごとは「子どもの学力や学習」(52.6%)が最も多く、次いで「子どもの将来の教育費」(49.1%)、「子どものしつけ」(41.4%)、「病気や発育・発達」(35.1%)が続きます。

◆「特にない」は7.4%と1割以下となっています。

▼お子さんについての悩みごと：小学生児童

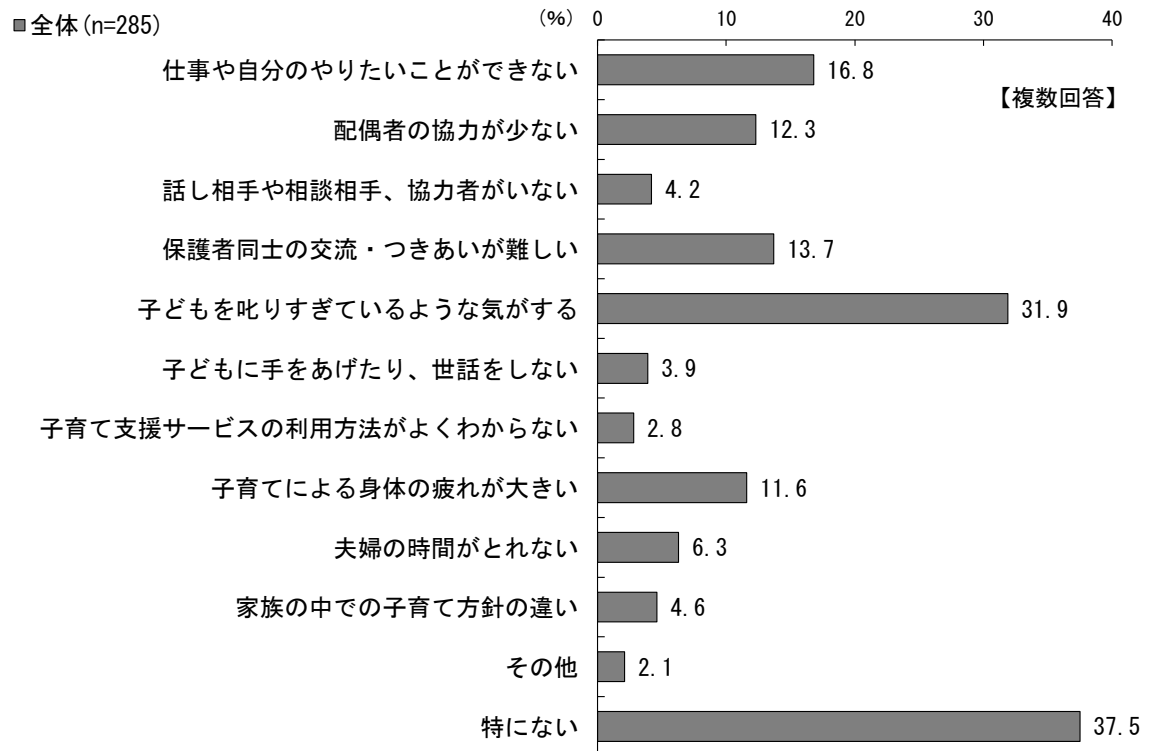


◇その他回答：友だち関係／教育環境／メディアコントロールの難しさ（タブレットやYouTubeとのつきあい方、ゲーム、SNSの時間）／病院が少ない／小児科がない／公共交通機関／車で送迎が多い／学校の選択肢の狭さ／県の北部・中部との教育格差

ii 保護者の悩みごと

◆保護者の悩みごとは「特にない」(37.5%)が最も多く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」(31.9%)、「仕事や自分のやりたいことができない」(16.8%)などが続きます。

▼保護者の悩みごと：小学生児童



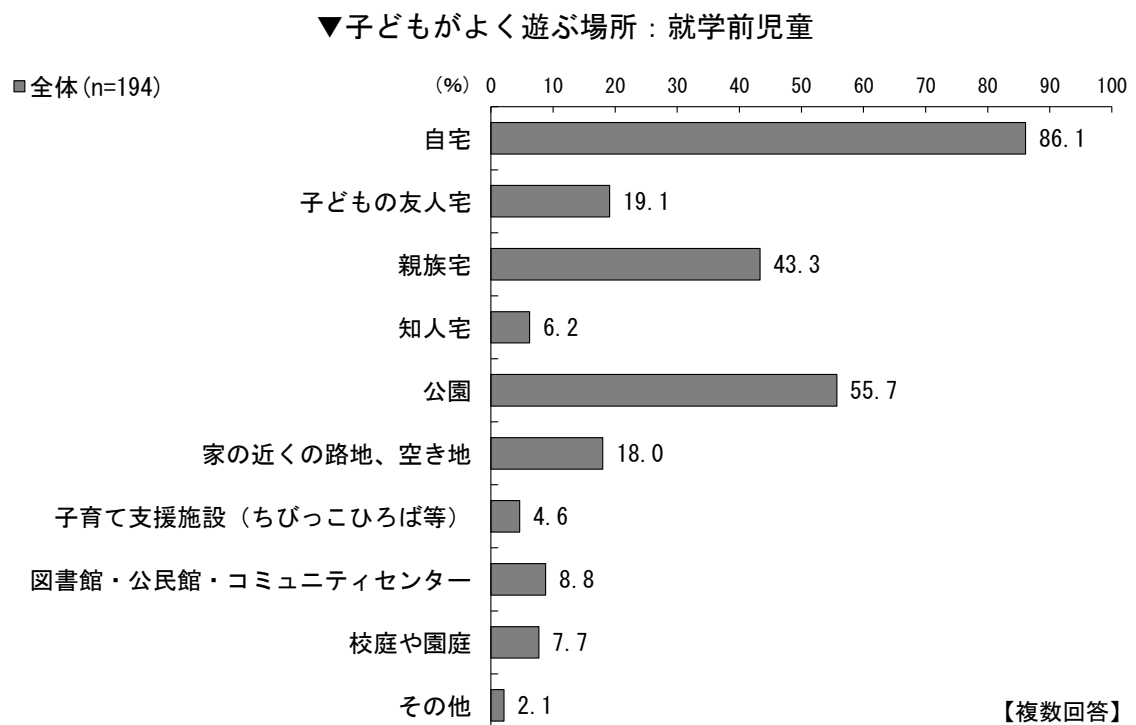
◇その他回答：家族との時間が少ない／仕事が不安定／睡眠時間／1人で子育てが難しい／年齢による身体的な負担

12. 子どもの居場所について

(1) 子どもがよく遊ぶ場所（就学前児童）

問46 お子さんはどこで遊ぶことが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

◆「自宅」（86.1%）が最も多く、次いで「公園」（55.7%）、「親族宅」（43.3%）が続きます。



◇その他回答：親の職場／熊野古道センター

(2) 子どもの遊び場について

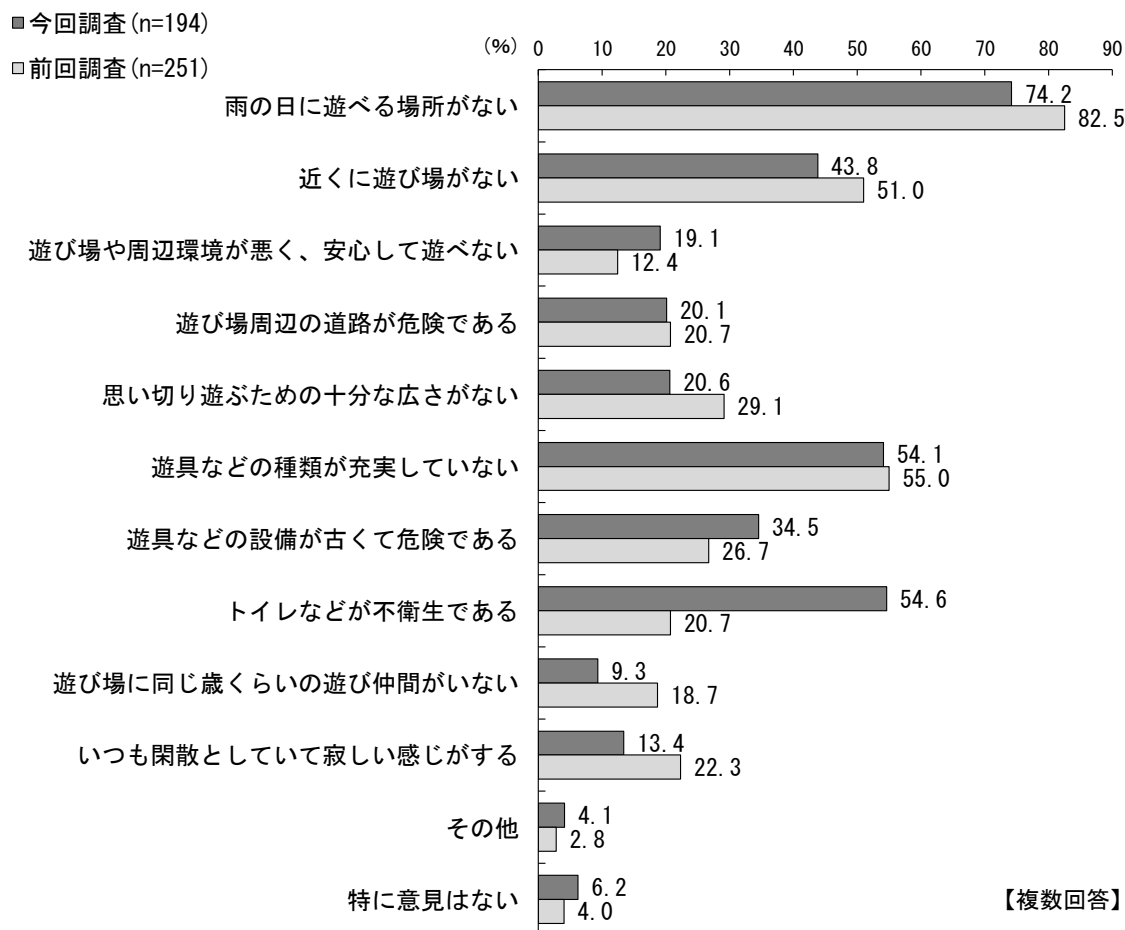
①就学前児童

問47 子どもの遊び場について、日頃どのように感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

◆「雨の日に遊べる場所がない」(74.2%)が前回調査(82.5%)と同様に最も多く、次いで「遊具などの種類が充実していない」(54.1%)、「トイレなどが不衛生である」(54.6%)、「近くに遊び場がない」(43.8%)が続きます。

◆前回調査と比較すると「トイレなどが不衛生である」の回答割合が大幅に増加(20.7%→54.6%)しています。

▼子どもの遊び場について：就学前児童



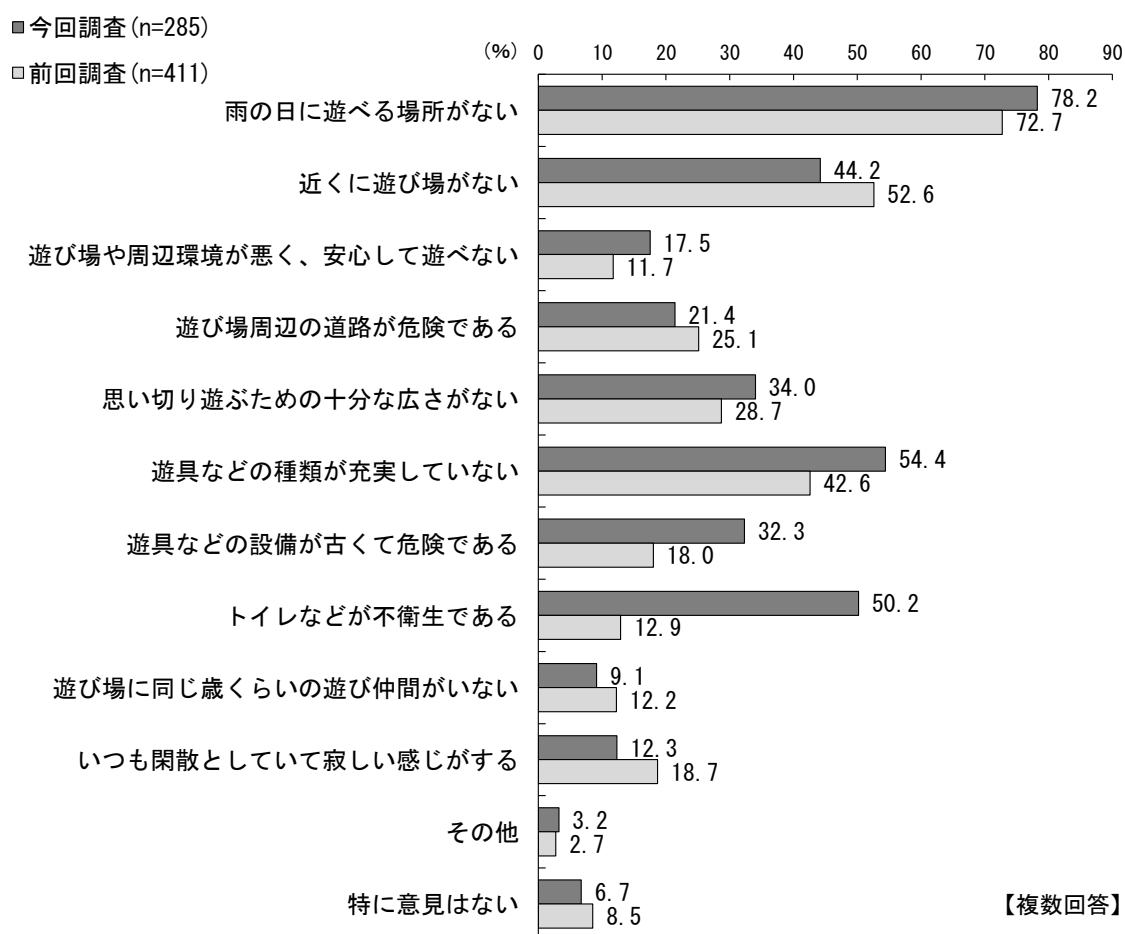
◇その他回答：公園に駐車場がなくて不便／公園を小学生に占拠されて遊べない／草が伸びても放置されている公園に行く気になれない／プール施設が市内にない／ごみ処理場ではなく、子どもが遊べる施設をつくってほしい／体を使った遊びができるところや室内遊びができる場所などをつくってほしい／子どもが安心して遊べる場所がそもそもない

②小学生児童

問43 子どもの遊び場について、日頃どのように感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

- ◆「雨の日に遊べる場所がない」(78.2%)が前回調査(72.7%)と同様に最も多く、次いで「遊具などの種類が充実していない」(54.4%)、「トイレなどが不衛生である」(50.2%)、「近くに遊び場がない」(44.2%)が続きます。
- ◆前回調査と比較すると「トイレなどが不衛生である」の回答割合が大幅に増加(12.9%→50.2%)しています。

▼子どもの遊び場について：小学生児童



◇その他回答：S E Aモデル公園を早くつくってほしい／他所に行かないと遊ぶところがない／近くに友達がい
ない／コミュニティセンターを17時まで利用できるように時間を変更してほしい。長期休みのみ等だけでも
9時～17時に／目の届かない場所で何があるかわからないので行かせたくない／駐車場のない公園が多い／
親子で遊べる広さの公園が少ない

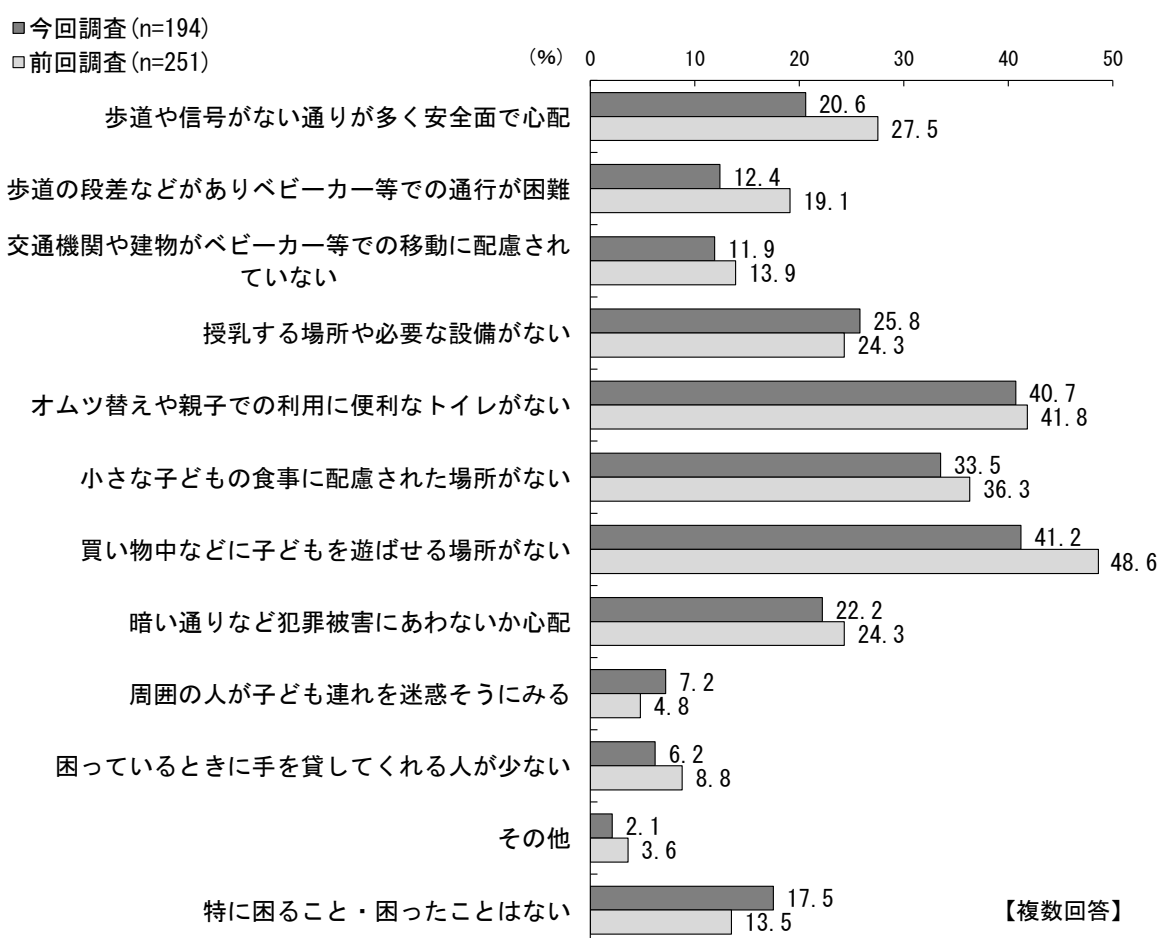
(3) 外出時に困ること

①就学前児童

問48 お子さんと外出する際に、困ること・困ったことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

◆「買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない」(41.2%)が前回調査(48.6%)と同様に最も多く、次いで「オムツ替えや親子での利用に便利なトイレがない」(40.7%)、「小さな子どもの食事に配慮された場所がない」(33.5%)、「授乳する場所や必要な設備がない」(25.8%)が続きます。

▼外出時に困ること：就学前児童



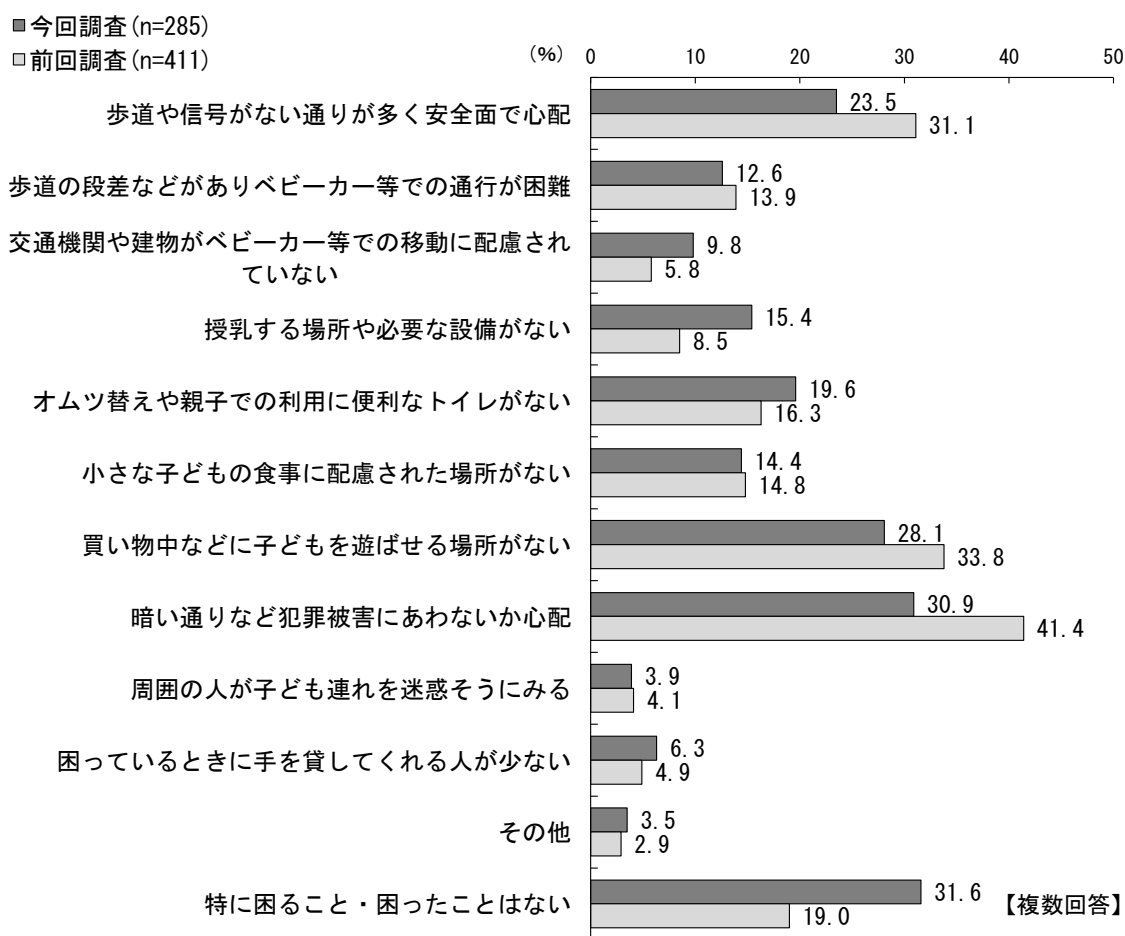
◇その他回答：交通マナーがよくない／横断歩道でも車が止まってくれない／歩道に傾斜があるためベビーカーを押しにくい／フードコーナーなどが無い

②小学生児童

問44 お子さんと外出する際に、困ること・困ったことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ◆「特に困ること・困ったことはない」(31.6%)が前回調査(19.0%)から増加して最も多い回答となっています。
- ◆具体的な困りごととしては「暗い通りなど犯罪被害にあわないか心配」(30.9%)が第1位に挙げられ、次いで「買い物中などに子どもを遊ばせる場所がない」(28.1%)、「歩道や信号がない通りが多く安全面で心配」(23.5%)が続きます。

▼外出時に困ること：小学生児童



◇その他回答：交通マナーが悪い／尾鷲の公園は充実していないので大白、山崎公園に行っていた／道が狭い／新生児から使用できるカートがないお店が多いため首が据わる前の子どもを連れての買い物が大変だった／遊ぶ場が少ないので市外へ出かけている

13. 市の子育て環境について

(1) 市の子育て環境について

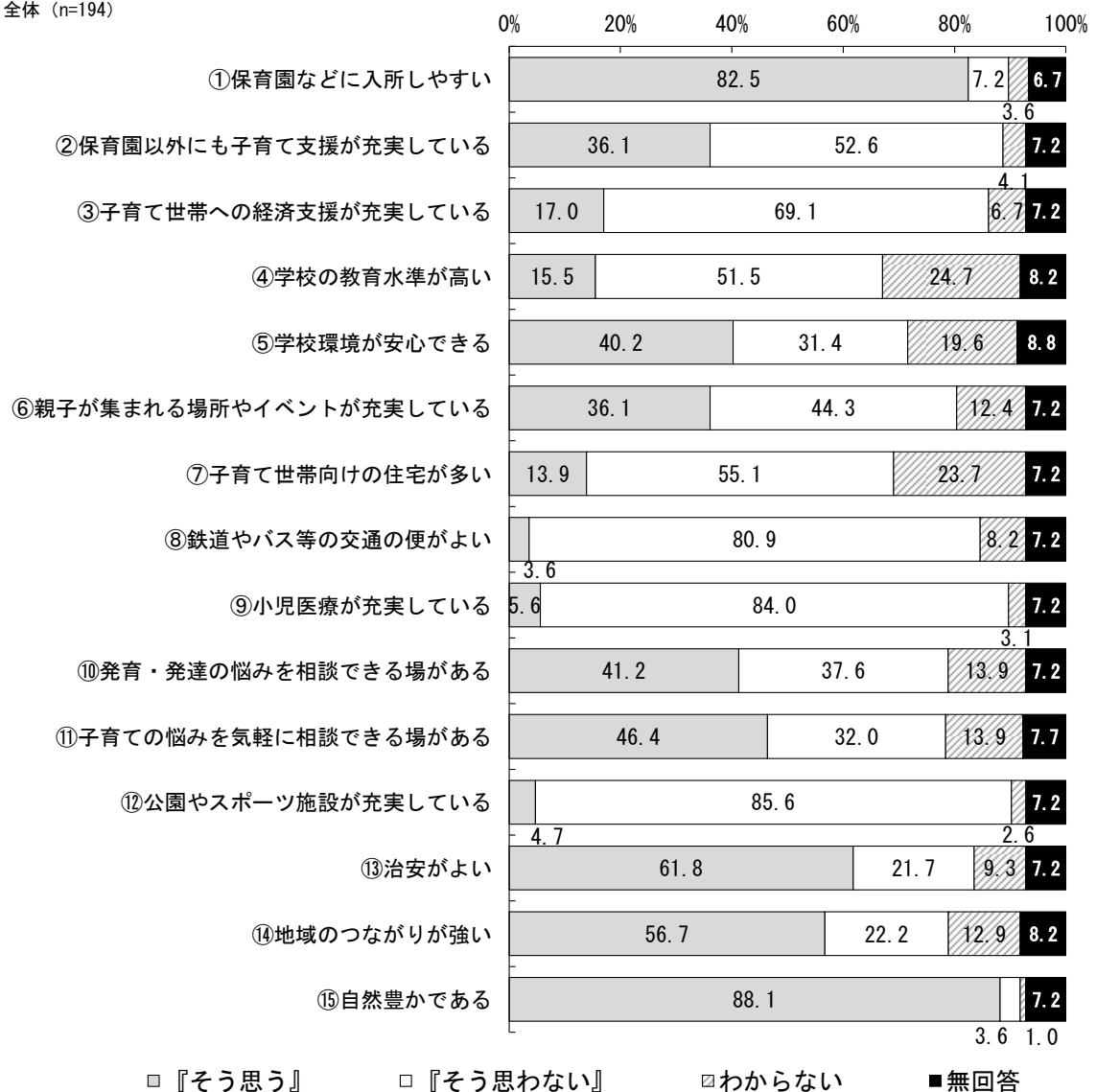
①就学前児童

問49 市の子育て環境について、以下の項目についてどのように感じていますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

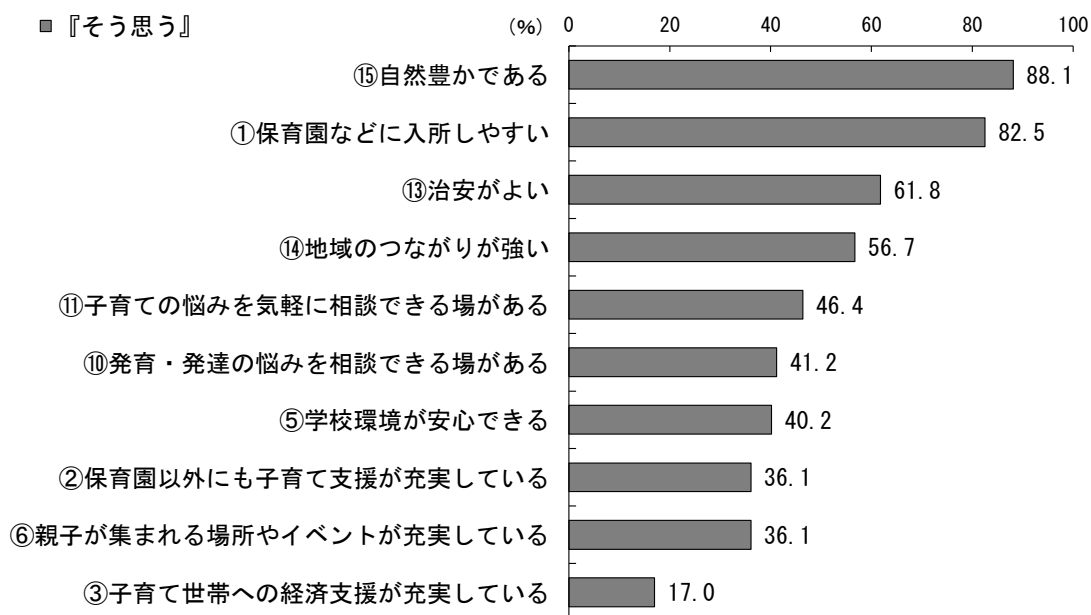
- ◆『『そう思う』(「とてもそう思う」と「そう思う」の合計)は「⑮自然豊かである」が88.1%で最も多く、次いで「①保育園などに入所しやすい」(82.5%)、「⑬治安がよい」(61.8%)、「⑭地域のつながりが強い」(56.7%)が続きます。
- ◆『『そう思わない』(「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計)は、「⑫公園やスポーツ施設が充実している」が85.6%で最も多く、次いで「⑨小児医療が充実している」(84.0%)、「⑧鉄道やバス等の交通の便がよい」(80.9%)が続きます。

▼市の子育て環境について：就学前児童

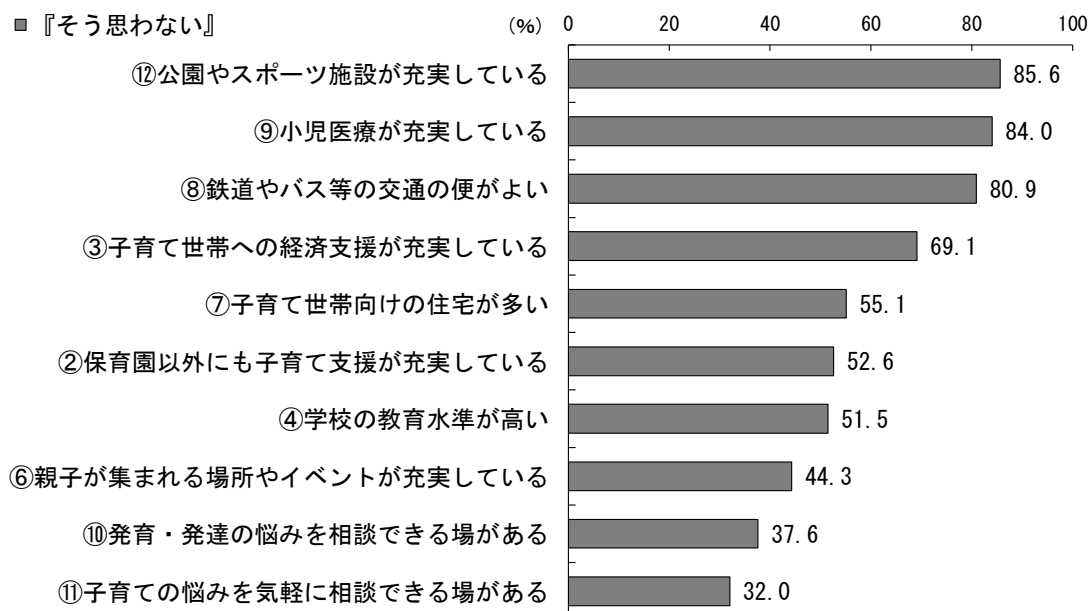
全体 (n=194)



▼市の子育て環境について：就学前児童：『そう思う』（「とてもそう思う」と「そう思う」の合計）の上位



▼市の子育て環境について：就学前児童：『そう思わない』（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）の上位



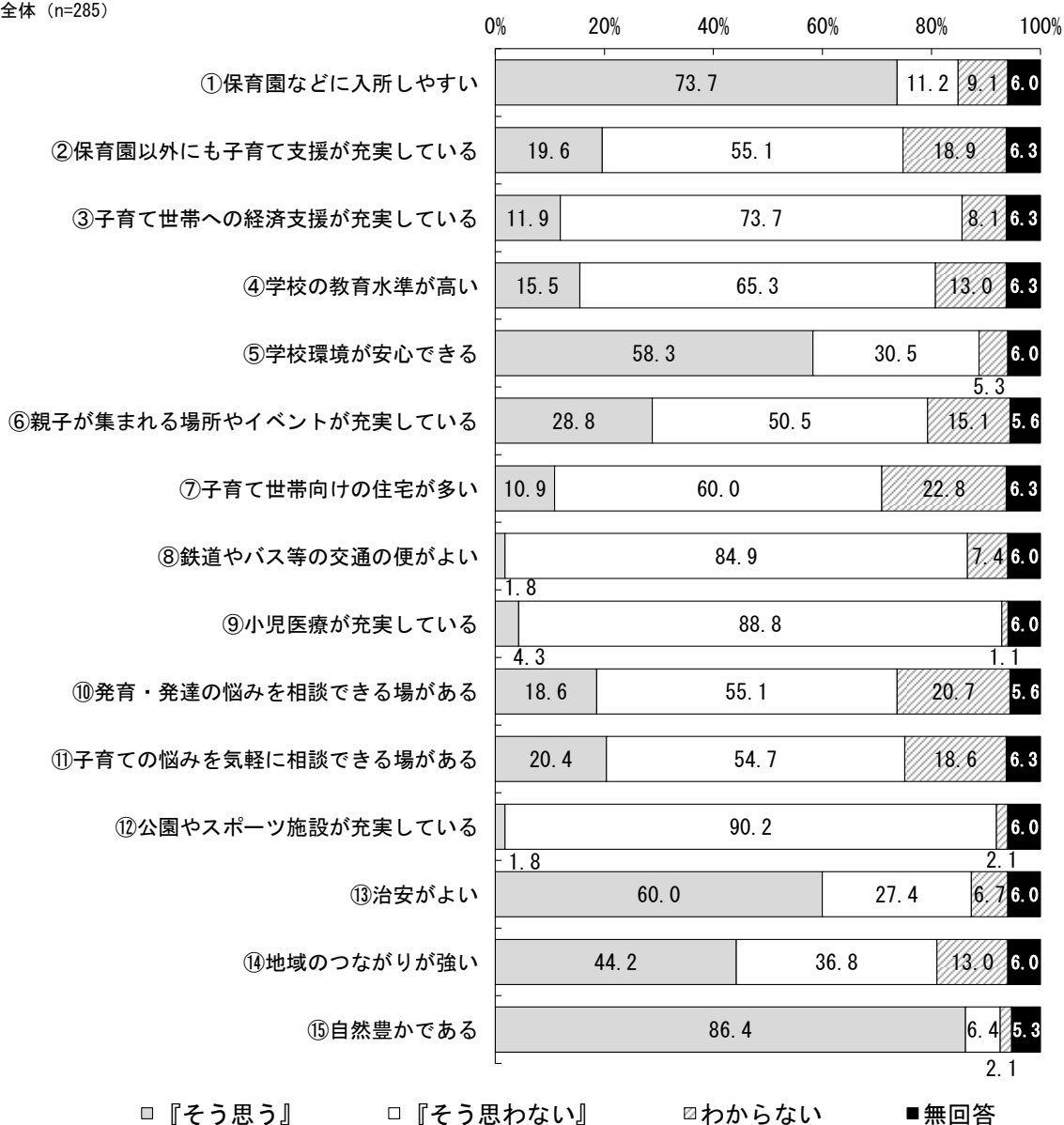
②小学生児童

問47 市の子育て環境について、以下の項目についてどのように感じていますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

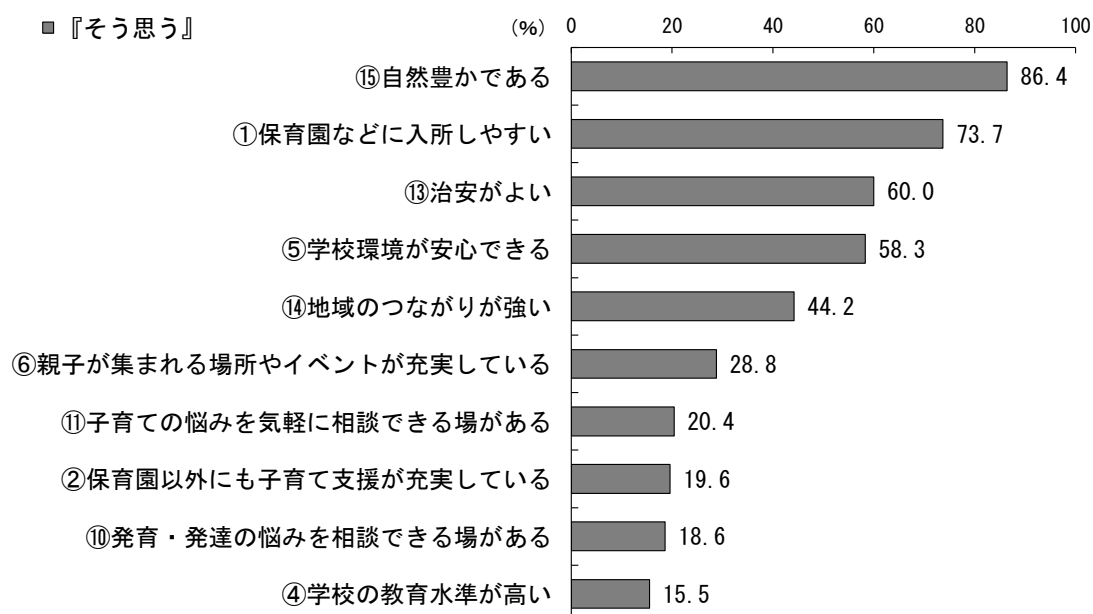
- ◆『そう思う』(「とてもそう思う」と「そう思う」の合計)は「⑮自然豊かである」が86.4%で最も多く、次いで「①保育園などに入所しやすい」(73.7%)、「⑬治安がよい」(60.0%)、「⑤学校環境が安心できる」(58.3%)が続きます。
- ◆『そう思わない』(「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計)は、「⑫公園やスポーツ施設が充実している」が90.2で最も多く、次いで「⑨小児医療が充実している」(88.8%)、「⑧鉄道やバス等の交通の便がよい」(84.9%)が続きます。

▼市の子育て環境について：小学生児童

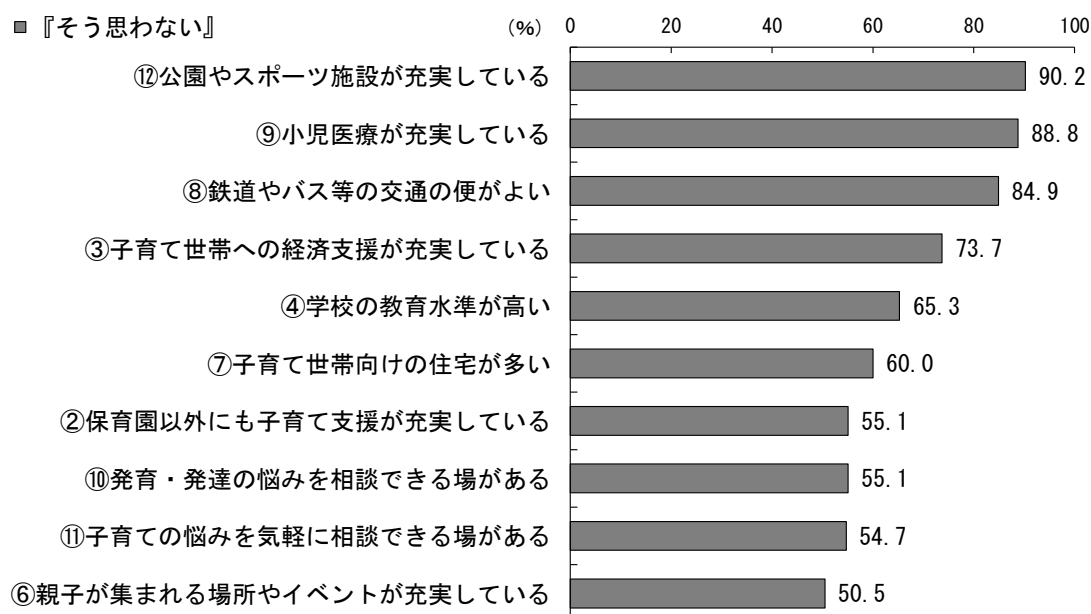
全体 (n=285)



▼市の子育て環境について：小学生児童：『そう思う』（「とてもそう思う」と「そう思う」の合計）の上位



▼市の子育て環境について：小学生児童：『そう思わない』（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）の上位



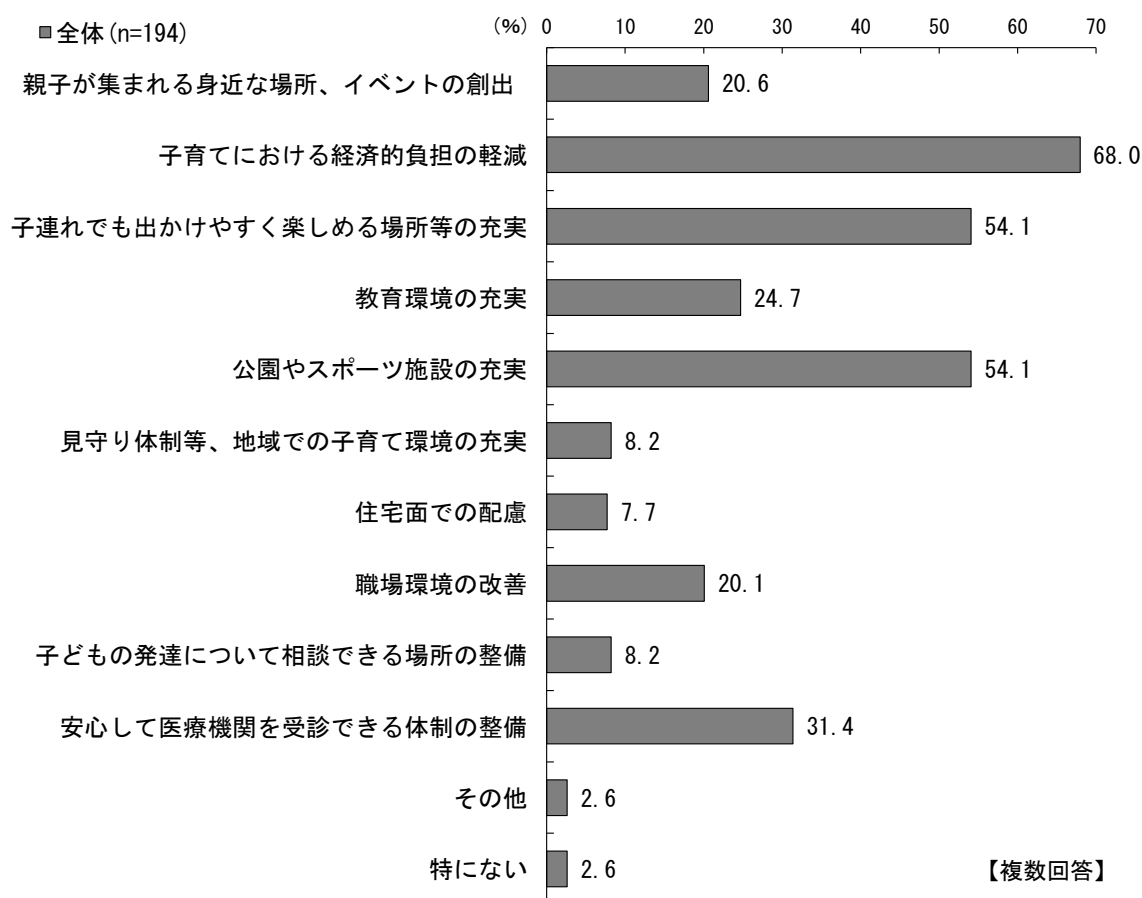
(2) 子育て支援で期待すること

①就学前児童

問50 あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。(特にあてはまるもの3つに○)

◆「子育てにおける経済的負担の軽減」(68.0%)が最も多く、次いで「子連れでも出かけやすく楽しめる場所等の充実」及び「公園やスポーツ施設の充実」(同率54.1%)、「安心して医療機関を受診できる体制の整備」(31.4%)が続きます。

▼子育て支援で期待すること：就学前児童



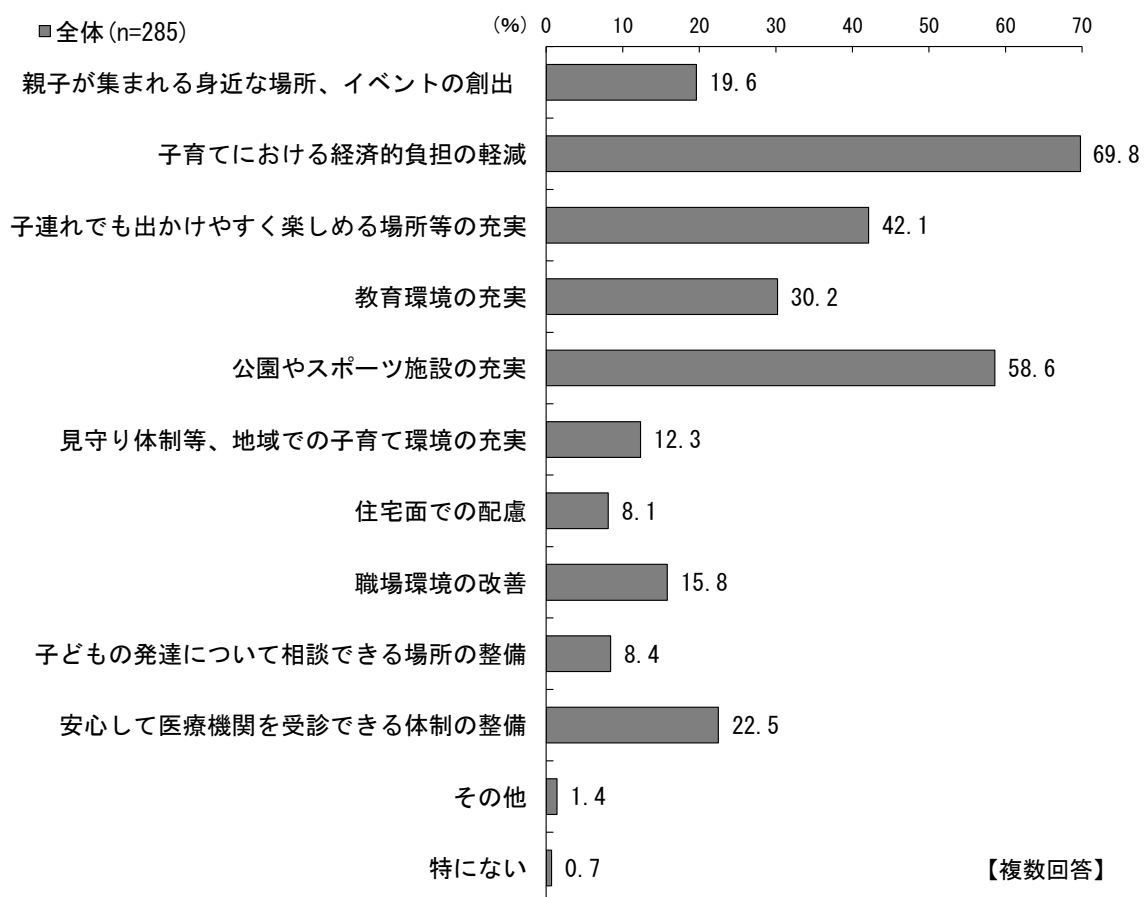
◇その他回答：希望した人がすべて認定こども園に入園できるようにしてほしい／経済的支援／障がいのある子でも出かけやすい場所の充実／放課後（保育園、小学校）など利用した習い事活動（習字、英語、ダンスなど）／保育料の免除や塾への補助など／高校の選択肢が少なく、交通が不便のため下宿が必要になるため、家から通えるようにJRやバスの充実や補助を希望

②小学生児童

問48 あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。(特にあてはまるもの3つに○)

◆「子育てにおける経済的負担の軽減」(69.8%)が最も多く、次いで「公園やスポーツ施設の充実」(58.6%)、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所等の充実」(42.1%)、「教育環境の充実」(30.2%)が続きます。

▼子育て支援で期待すること：小学生児童



◇その他回答：土日祝に利用できる児童館／図書館の建て直し／子育て中の減税、ごみ袋無料などのサービス

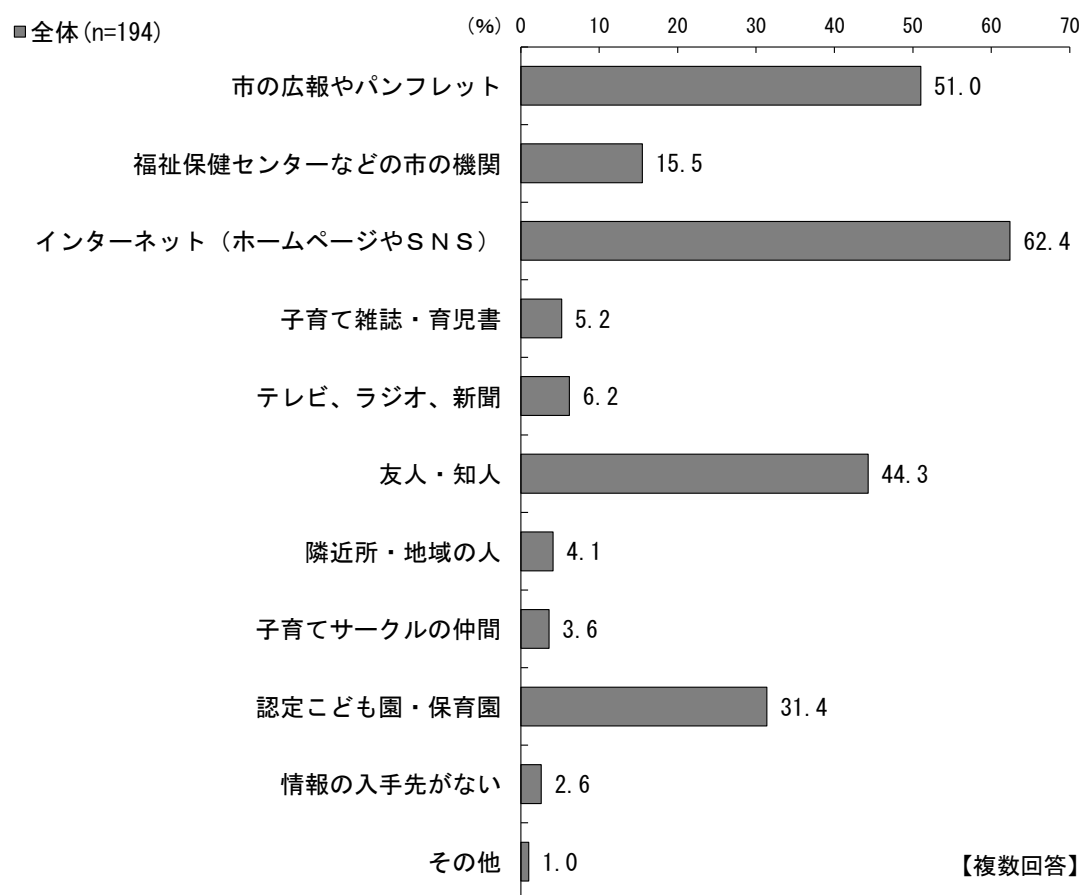
(3) 子育てに関する情報入手方法

①就学前児童

問51 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。(あてはまるものすべてに○)

◆「インターネット（ホームページやSNS）」(62.4%)で最も多く、次いで「市の広報やパンフレット」(51.0%)、「友人・知人」(44.3%)、「認定こども園・保育園」(31.4%)が続きます。

▼子育てに関する情報入手方法：就学前児童



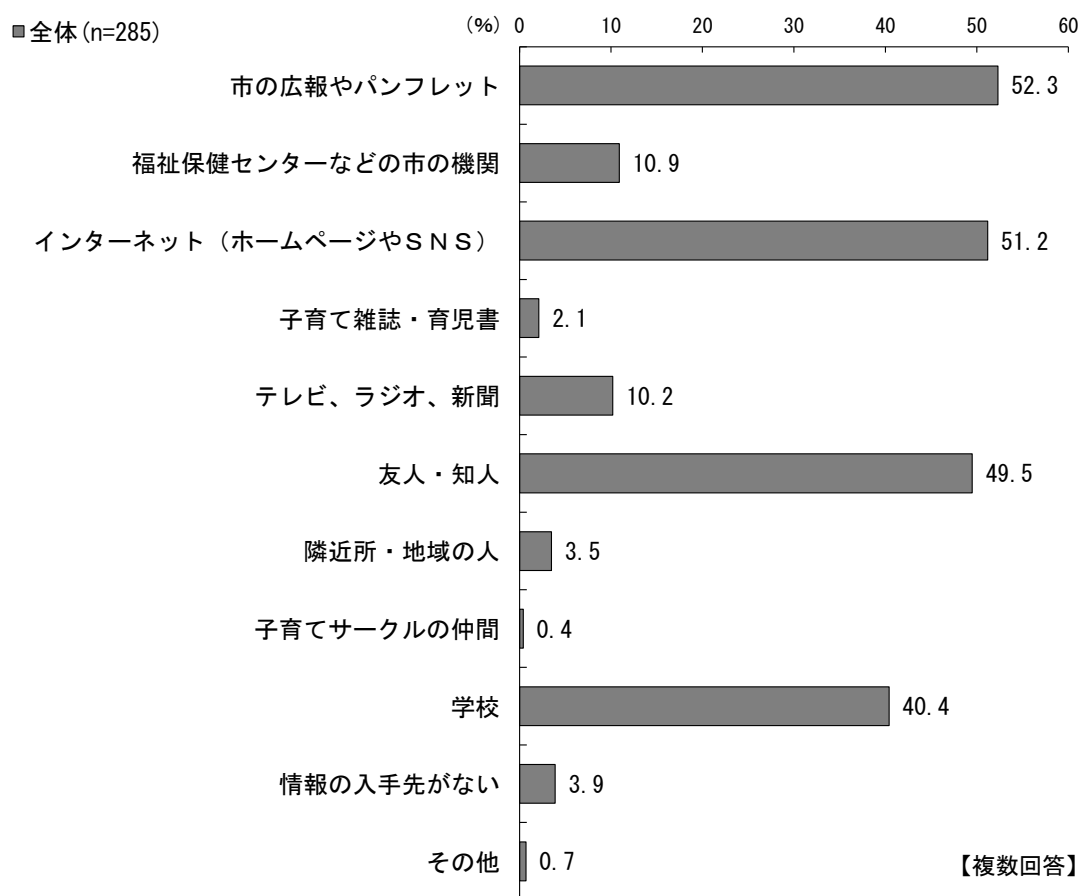
◇その他回答：病院

②小学生児童

問49 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。(あてはまるものすべてに○)

◆「市の広報やパンフレット」(52.3%)で最も多く、次いで「インターネット(ホームページやSNS)」(51.2%)、「友人・知人」(49.5%)、「学校」(40.4%)が続きます。

▼子育てに関する情報入手方法：小学生児童



◇その他回答：病院

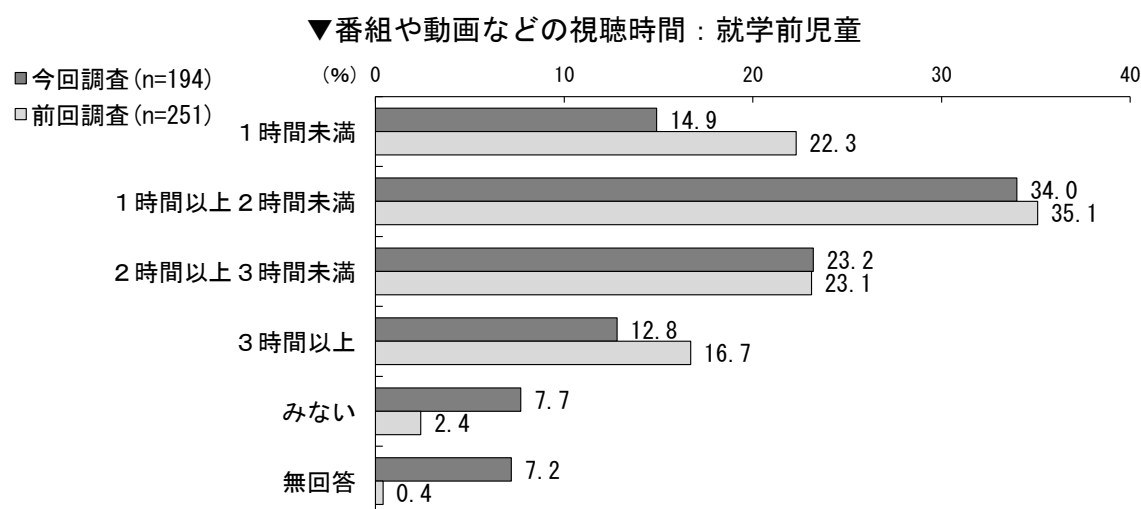
14. 子どもへのテレビ・インターネット・ゲーム等の影響について

(1) 番組や動画などの視聴時間

①就学前児童

問52 宛名のお子さんは平日の1日でテレビやDVD、インターネット(スマートフォンを含む)を使った番組や動画をどのくらいをみますか。(あてはまるもの1つに○)

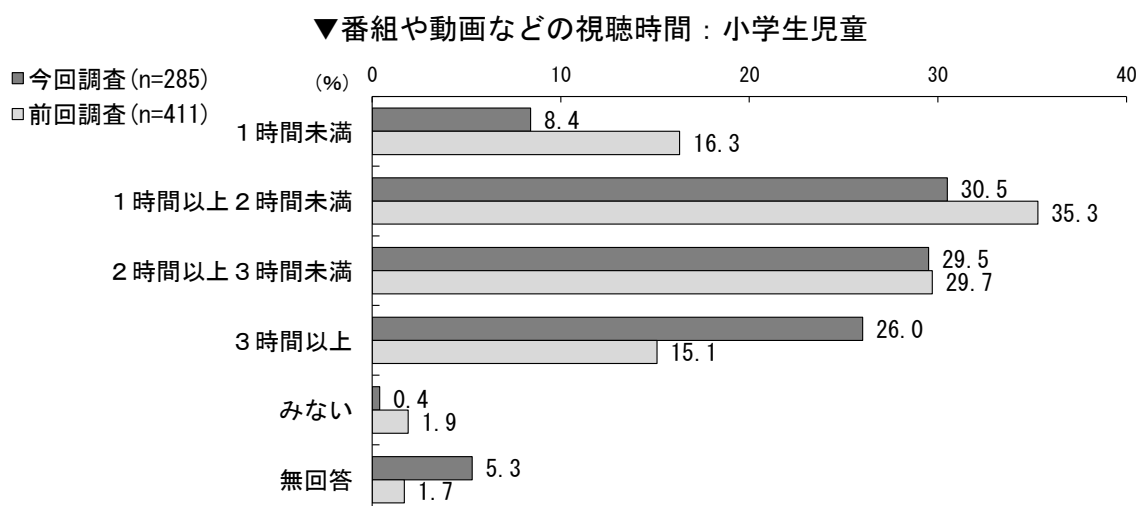
◆「1時間以上2時間未満」(34.0%)が前回調査(35.1%)と同様に最も多く、次いで「2時間以上3時間未満」が23.2%、「1時間未満」が14.9%で続きます。



②小学生児童

問50 宛名のお子さんは平日の1日でテレビやDVD、インターネット(スマートフォンを含む)を使った番組や動画をどのくらいをみますか。(あてはまるもの1つに○)

◆「1時間以上2時間未満」(30.5%)が前回調査(35.3%)と同様に最も多くなっていますが、「3時間以上」(26.0%)と回答する割合が前回調査(15.1%)より約11ポイント増加しています。

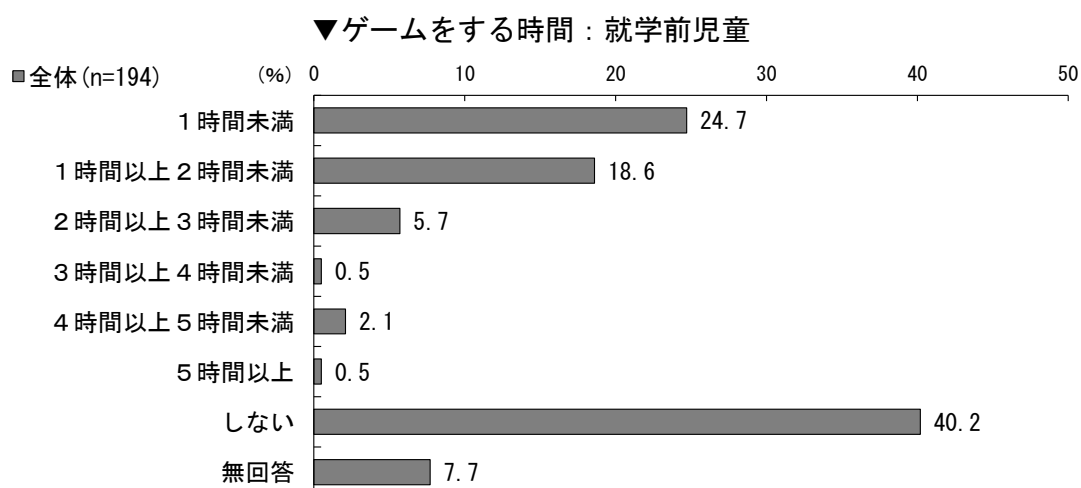


(2) ゲームをする時間

①就学前児童

問53 あなたのお子さんは平日の1日でゲーム機やスマートフォンやタブレットなどを使ったゲームをどのくらいしますか。(あてはまるもの1つに○)

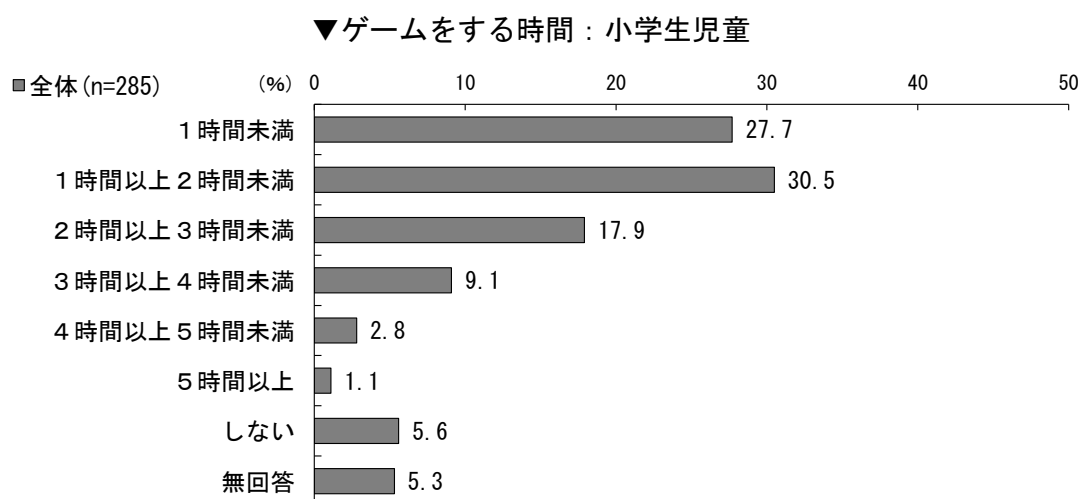
◆「しない」が40.2%で最も多く、次いで「1時間未満」が24.7%、「1時間以上2時間未満」が18.6%となっています。



②小学生児童

問51 あなたのお子さんは平日の1日でゲーム機やスマートフォンやタブレットなどを使ったゲームをどのくらいしますか。(あてはまるもの1つに○)

◆「1時間以上2時間未満」が30.5%と約3割となっており、次いで「1時間未満」が27.7%、「2時間以上3時間未満」が17.9%となっています。



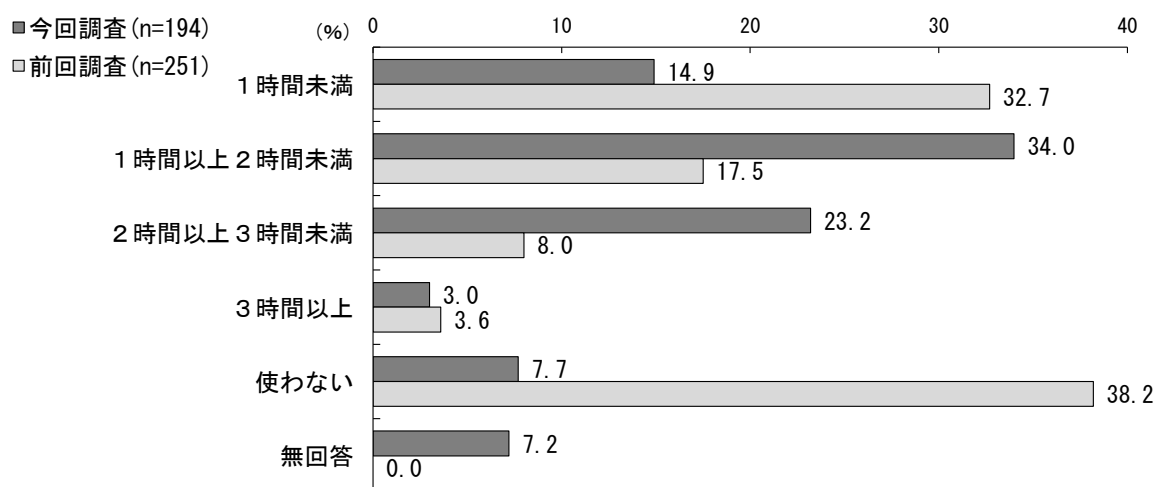
(3) スマートフォンやタブレットの使用時間

①就学前児童

問54 あなたのお子さんは平日の1日で動画の視聴やゲーム以外（SNSなど）でどのくらいスマートフォン・タブレットを使用していますか。（あてはまるもの1つに○）

◆「使わない」（7.7%）が前回調査（38.2%）から大幅に減少し、利用時間は「1時間以上2時間未満」が前回調査の17.5%から34.0%へ、「2時間以上3時間未満」が前回調査の8.0%から23.2%へ増加しています。

▼スマートフォンやタブレットの使用時間：就学前児童

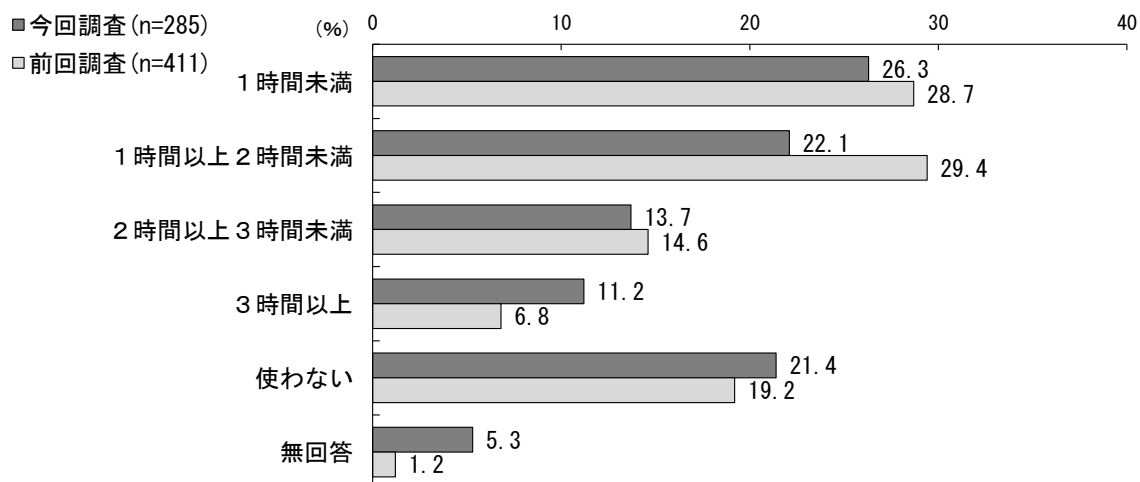


②小学生児童

問52 あなたのお子さんは平日の1日で動画の視聴やゲーム以外（SNSなど）でどのくらいスマートフォン・タブレットを使用していますか。（あてはまるもの1つに○）

◆「1時間未満」（26.3%）、「1時間以上2時間未満」（22.1%）が前回調査から減少し、「3時間以上」が前回調査の6.8%から11.2%へ増加しています。

▼スマートフォンやタブレットの使用時間：小学生児童



(4) スマートフォンやタブレットの利用開始時期

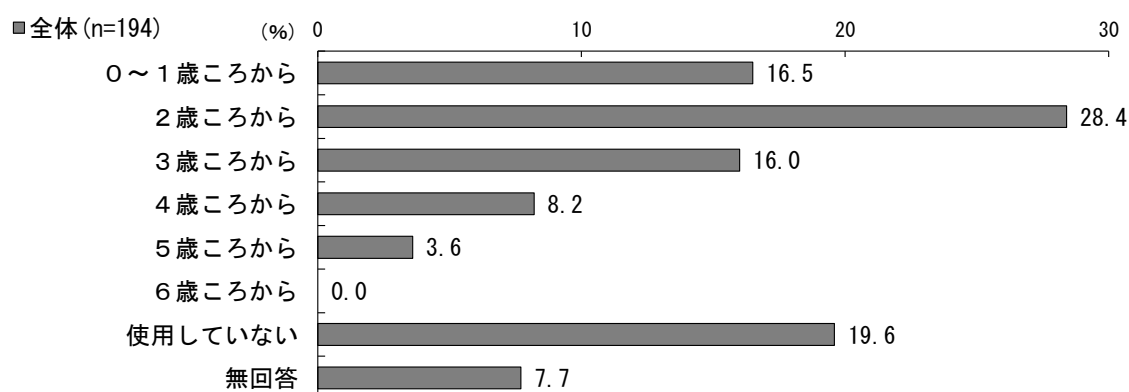
①就学前児童

問55 お子さんが何歳のときからスマートフォンやタブレットを使用（動画を見せたり、ゲームで遊ばせたりすること）していますか。（あてはまるもの1つに○）

◆「2歳ころから」(28.4%)が最も多く、次いで「0～1歳ころから」(16.5%)、「3歳ころから」(16.0%)が続きます。

◆約6割(60.9%)が3歳からスマートフォンやタブレットを利用しています。

▼スマートフォンやタブレットの利用開始時期：就学前児童



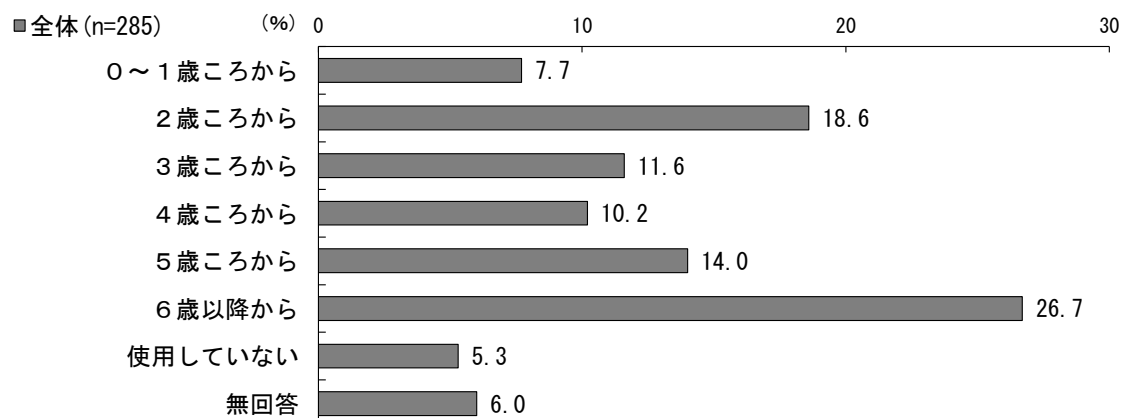
②小学生児童

問53 お子さんが何歳のときからスマートフォンやタブレットを使用（動画を見せたり、ゲームで遊ばせたりすること）していますか。（あてはまるもの1つに○）

◆「使用していない」が5.3%と1割以下にとどまり、利用時期は「6歳以降から」が26.7%で最も多く、次いで「2歳ころから」(18.6%)、「5歳ころから」(14.0%)が続きます

◆約4割(37.9%)が3歳からスマートフォンやタブレットを利用しています。

▼スマートフォンやタブレットの利用時期：小学生児童



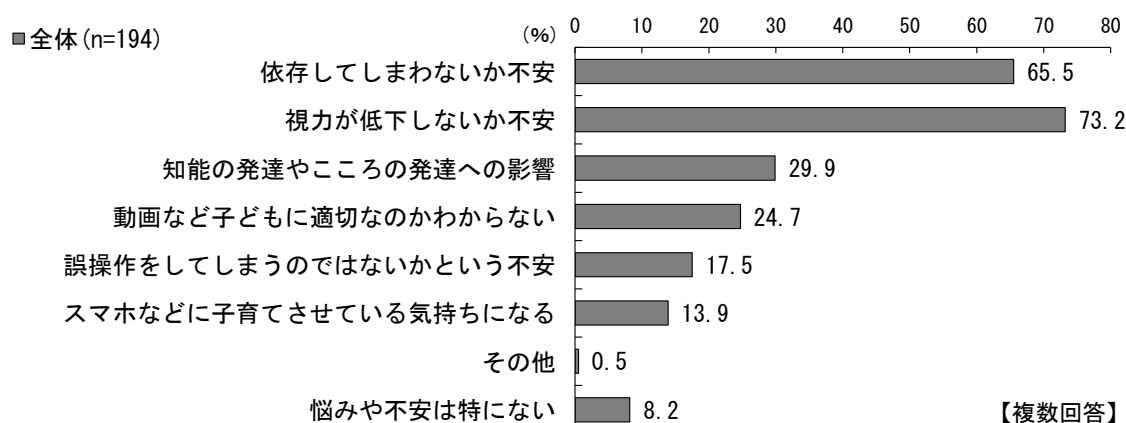
(5) スマートフォンやタブレットの利用についての不安

①就学前児童

問56 子育てする中で、お子さんにスマホやタブレットを与えることに関して、悩みや不安はありますか。(あてはまるものすべてに○)

◆「視力が低下しないか不安」(73.2%) が最も多く、次いで「依存してしまわないか不安」(65.5%) が続きます。

▼スマートフォンやタブレットの利用についての不安：就学前児童



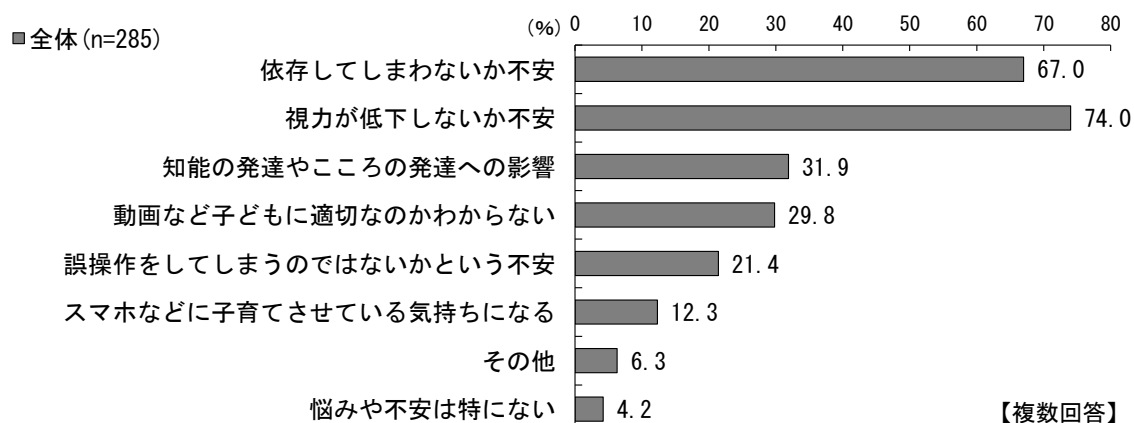
◇その他回答：罪悪感を感じてしまう

②小学生児童

問54 子育てする中で、お子さんにスマホやタブレットを与えることに関して、悩みや不安はありますか。(あてはまるものすべてに○)

◆「視力が低下しないか不安」(74.0%) が最も多く、次いで「依存してしまわないか不安」(67.0%) が続きます。

▼スマートフォンやタブレットの利用についての不安：小学生児童



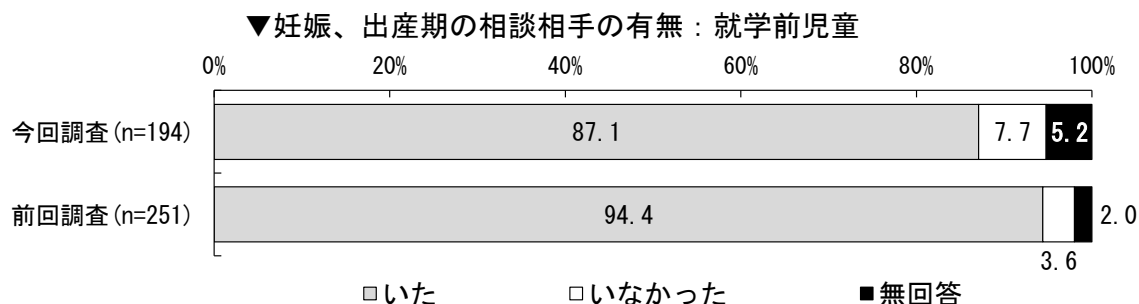
◇その他回答：SNSによるトラブルに巻き漏れないか不安(いじめや危険な事にまきこまれないか、友だちとのやりとり、いじめ、変な犯罪にまきこまれないか)／持たせない、さわらせないことで子ども間格差が生まれないか／広告が子ども向けではない／運動能力の低下

15. 妊娠・出産・子育てについて（就学前児童）

（１）妊娠、出産期の相談相手の有無

問57 妊娠、出産を通しての不安や悩みを相談できる人がいましたか。（あてはまるもの1つに○）

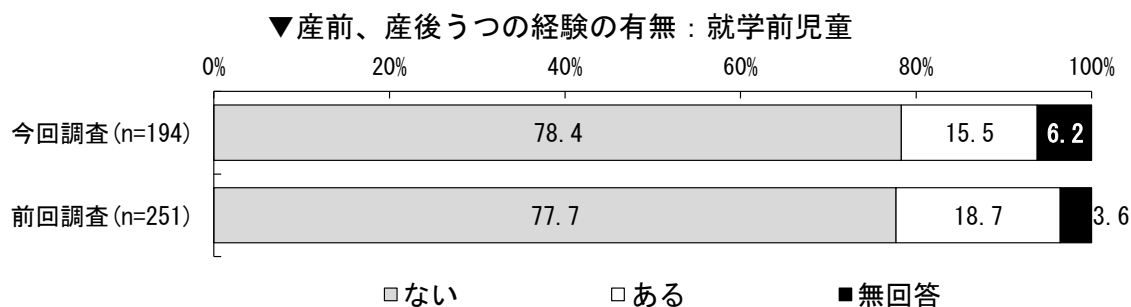
◆相談相手が「いた」が87.1%と多数を占めていますが、前回調査（94.4%）より約7ポイント減少しています。



（２）産前、産後うつの経験の有無

問58 産前、産後うつ（マタニティブルーやパタニティブルー）になったことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

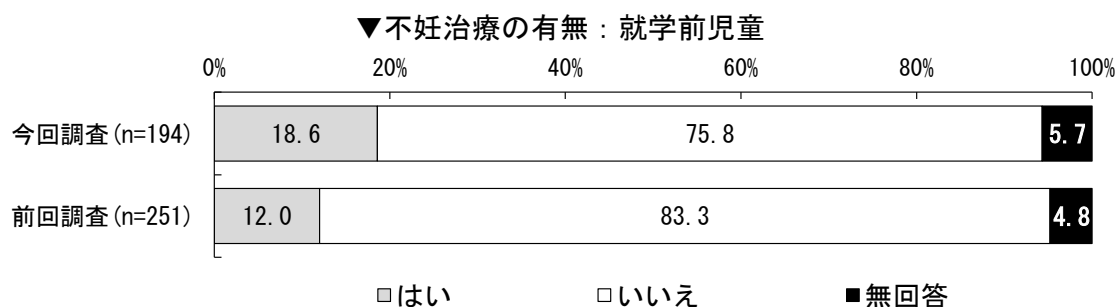
◆「ない」が78.4%と前回調査（77.7%）とほぼ同率となっています。



（３）不妊治療の有無

問59 不妊治療を受けたことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

◆「はい」が18.6%と前回調査（12.0%）より約7ポイント増加しています。

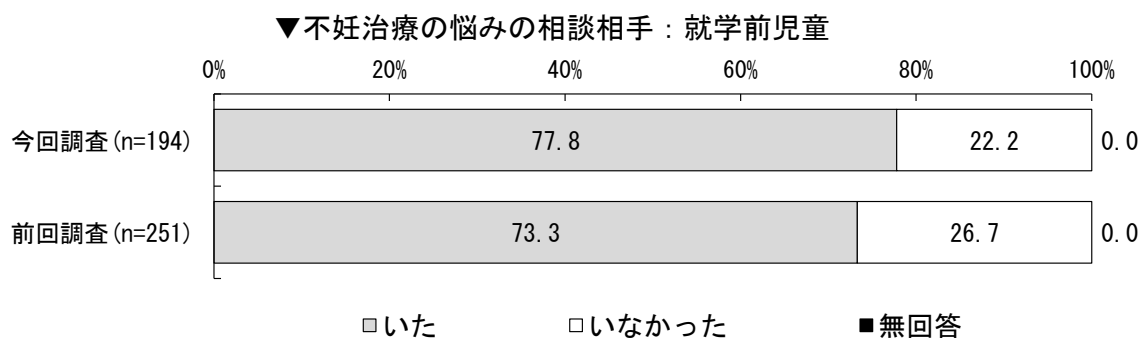


(4) 不妊治療の悩みの相談相手

【問59で「1」を選んだ方にうかがいます。】

問60 不妊治療の悩みを相談できる相手がいましたか。(あてはまるもの1つに○)

◆「いた」が77.8%と前回調査(73.3%)より約5ポイント増加しています。

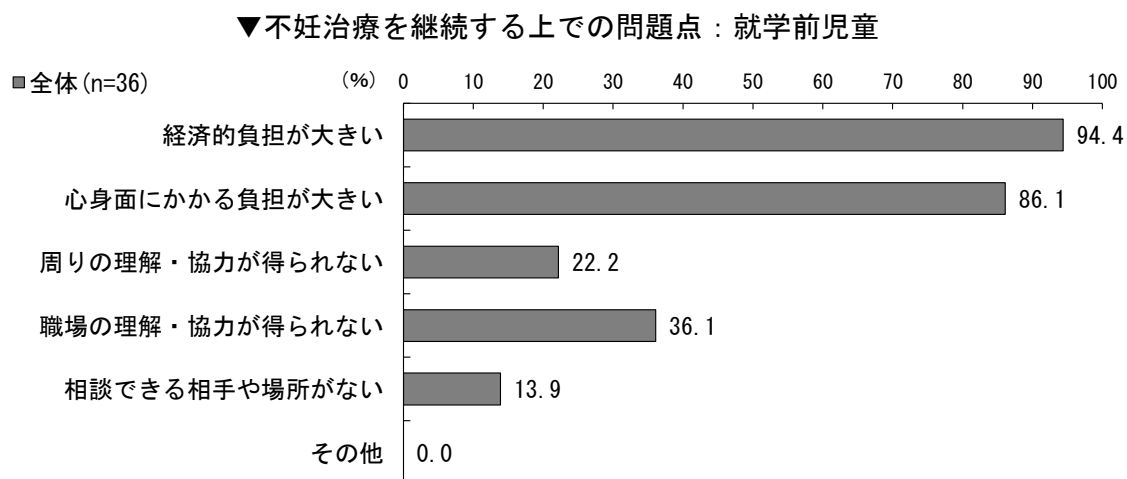


(5) 不妊治療を継続する上での問題点

【問59で「1」を選んだ方にうかがいます。】

問61 不妊治療を継続する上で、問題だと感じることはありますか(あてはまるものすべてに○)

◆「経済的負担が大きい」(94.4%)が最も多く、次いで「心身面にかかる負担が大きい」(86.1%)が続きます。



16. 調査結果からみえる課題等

第3期尾鷲市子ども・子育て支援事業計画・母子保健計画策定に向けたアンケート調査結果からみえる課題等をまとめると次のとおりとなります。

①子育てと仕事の両立を支援する環境づくりについて

◆「父母ともに」子育てを行っている割合が増加

「父母ともに」と回答する割合が就学前児童（65.5%、前回調査より約7ポイント増）、小学生児童（58.2%、前回調査より約4ポイント増）ともに前回調査より増加しています。【15 ページ参照】

◆『就労している』母親の割合が増加

『就労している』（「パート・アルバイト等」と「フルタイム」の合計）と回答した母親の割合が就学前児童（82.5%、前回調査より約8ポイント増）、小学生児童（87.9%、前回調査より約3ポイント増）ともに前回調査より増加しています。【23～24 ページ参照】

※参考：児童のいる働いている母親の割合 77.8%（令和5年国民生活基礎調査）

◆父親は長時間労働の傾向

父親の就労時間をみると、「1日8時間超（残業をすることが多い）」と回答した割合が就学前児童で43.8%、小学生児童で50.7%と長時間労働の傾向にある結果となっています。【25 ページ参照】

◆希望どおりの生活・働き方ができていないと回答する割合は母親で比較的多く、その理由は「仕事が忙しい」が主な理由

母親の「希望どおりの生活・働き方はできていない」と回答した割合は就学前児童（28.4%：父親 16.0%）、小学生児童（27.7%：父親 17.0%）ともに父親を上回っています。【35 ページ参照】

また、その理由として、就学前児童・小学生児童の父母ともに「仕事が忙しい」が最も多くなっています。また、就学前児童の母親では「仕事をしたいが条件にあわない」（19.4%）と回答する割合が比較的多くなっています。【36～37 ページ参照】

◆育児休業の取得は増加傾向

母親では「取得した（現在取得中）」が50.0%と前回調査（37.5%）より約13ポイント増加し、父親では8.8%と前回調査（2.0%）より約7ポイント増加しています。【27 ページ参照】

※参考：育児休業取得率：女性 80.2%、男性 17.1%（令和4年度雇用均等基本調査）、市の調査結果を働いている保護者で限定し換算した育児休業取得率は女性 82.2%、男性 9.0%

◆定期的な教育・保育サービスを「利用していない」が減少、利用しているサービスは「認可保育所」が多数を占める

定期的な教育・保育サービスを「利用していない」は17.5%と前回調査より約4ポイント減少し、利用しているサービスは「保育園」が62.4%と前回同様最も多くなっています。【40 ページ参照】

◆利用していない理由で「利用する必要がある」が減少

「利用する必要がある」が38.2%と前回調査(50.9%)より約13ポイント減少しています。【41 ページ参照】

◆病気の際の対応

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が就学前児童で56.7%、小学生児童で40.8%となっています。【51 ページ参照】

就労している母親の割合が増加傾向にあり、保育ニーズが高い中、保護者が仕事をしながら安心して子育て期間を過ごすことができるよう、教育・保育施設の充実、保育人材の確保を図り、希望する施設や制度等が利用できる環境づくりなど仕事と子育ての両立に向けた支援を充実する必要があります。

また、育児休業の取得は増加傾向にありますが、男女ともに育児休業を取得しやすい環境づくりや父親の家事や育児への参画促進を図っていくことが必要となっています。

②子どもの居場所について

◆放課後の過ごし方は「自宅」、「習い事、塾、スポーツ少年団等」など

小学生児童の現状の放課後の過ごし方は「自宅」(71.2%)が最も多く、次いで「習い事、塾、スポーツ少年団等」(38.9%)、「学校・学校の校庭」(36.1%)が続きます。希望する放課後の過ごし方は「自宅」(69.8%)が最も多く、次いで「学校・学校の校庭」(45.3%)、「習い事、塾、スポーツ少年団等」(40.0%)が続きます。【56～59 ページ参照】

◆放課後児童クラブの長期休暇中の利用ニーズは低学年で増加

長期休暇中の利用意向は「低学年(1～3年生)」が24.2%と前回調査(21.4%)から増加しています。【62 ページ参照】

◆子どもの遊び場についての意向は「雨の日に遊べる場所がない」

就学前児童では「雨の日に遊べる場所がない」(74.2%)が前回調査(82.5%)と同様に最も多く、次いで「遊具などの種類が充実していない」(54.1%)、「トイレなどが不衛生である」(54.6%)、「近くに遊び場がない」(43.8%)が続きます。また、小学生児童でも「雨の日に遊べる場所がない」(78.2%)が前回調査(72.7%)と同

様に最も多く、次いで「遊具などの種類が充実していない」(54.4%)、「トイレなどが不衛生である」(50.2%)、「近くに遊び場がない」(44.2%)が続きます。【70～71ページ参照】

◆公園等の整備状況に不満が多く、公園等へのニーズが強い

市の子育て環境について15項目についてたずねた設問のうち、『そう思わない』(「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計)は、「⑫公園やスポーツ施設が充実している」が就学前児童(85.6%)、小学生児童(90.2%)でそれぞれ第1位に挙げられています。【74～77ページ参照】

また、子育て支援で期待することにおいても、「公園やスポーツ施設の充実」が就学前児童(54.1%)、小学生児童(58.6%)ともに第2位に挙げられています。【78～79ページ参照】

こどもの居場所づくりが求められている中、放課後の子どもの居場所として放課後児童クラブをはじめ、安全・安心に過ごし、多様な体験等ができる場の確保が必要となっています。また、放課後・休日の子どもの居場所のひとつである公園については、その充実と安全で利用しやすい公園づくりが必要となっています。

③子育て支援で期待すること

◆子育て支援で期待することは「子育てにおける経済的負担の軽減」が第1位

子育て支援で期待することの上位回答は、就学前児童・小学生児童ともに「子育てにおける経済的負担の軽減」が最も多く、次いで「子連れでも出かけやすく楽しめる場所等の充実」、「公園やスポーツ施設の充実」などが上位に挙げられています。

【78～79ページ参照】

また、子育てにおける悩みごとの上位回答に、学前児童・小学生児童ともに「子どもの将来の教育費」が挙げられています。【65ページ・67ページ参照】

経済的な理由で子どもを産み育てることが困難な状況にならないよう、これまでも各種手当等による経済的支援に取り組んできましたが、今後も、保護者・子どもの生活支援策が必要となっています。

④支援が必要な子どもへの対応

◆相対的な貧困とされる層では、必要な食料・衣料が買えなかった経験が就学前児童で3割半ば、小学生児童で2割強

相対的な貧困とされる層(「区分3(貧困線未満)」)では、『経験があった』(「何度

かあった」と「頻繁にあった」の合計）と回答する割合は、就学前児童では「①必要な食料が買えなかった」及び「②必要な衣料が買えなかった」が同率で 35.7%となっています。小学生児童では「①必要な食料が買えなかった」及び「②必要な衣料が買えなかった」は同率で 22.6%となっています。【9～12 ページ参照】

◆「ひとり親家庭」は経済的に厳しい世帯の割合が多い

配偶者のいない「ひとり親家庭」では相対的な貧困とされる層（「区分 3（貧困線未満）」）に分類される割合（就学前児童 43.8%、小学生児童 50.0%）が「配偶者がいる家庭」（就学前児童 4.5%、小学生児童 4.1%）を大きく上回ります。【6～8 ページ参照】

子どもの貧困対策など、支援の必要な子どもを守る仕組みづくりが求められています。また、ひとり親家庭では相対的貧困と分類される割合が多く、衣料品や食料品が買えなかった頻度が比較的多くみられます。これらの支援が必要な子どもやその家庭に対して、健やかに成長することのできる環境づくりが必要となっています。

⑤地域の子育て支援サービス、情報入手について

◆「子育て短期支援事業（ショートステイ）」、「認定こども園での子育て支援事業」、「ファミリーサポートセンター事業」の認知度は比較的低い

「知らなかった」と回答した割合の多い、認知度の低いサービスは「(6) 子育て短期支援事業（ショートステイ）」(78.9%) が最も多く、次いで「(8) 認定こども園での子育て支援事業」(33.5%)、「(4) ファミリーサポートセンター事業」(30.9%) が続きます。【45～46 ページ参照】

◆情報の入手先は「インターネット（ホームページやSNS）」、「市の広報やパンフレット」が上位

就学前児童では「インターネット（ホームページやSNS）」(62.4%) で最も多く、次いで「市の広報やパンフレット」(51.0%)、「友人・知人」(44.3%)、「認定こども園・保育園」(31.4%) が続きます。小学生児童では「市の広報やパンフレット」(52.3%) で最も多く、次いで「インターネット（ホームページやSNS）」(51.2%)、「友人・知人」(49.5%)、「学校」(40.4%) が続きます。【80～81 ページ参照】

必要とする人が適切なサービスを利用するため、インターネットをはじめ、様々な媒体を活用した子育て支援に関する情報発信の充実が必要となっています。

⑥その他

◆幼少期からスマートフォン・タブレットの利用開始時期が低年齢化

スマートフォン・タブレットの利用開始時期は就学前児童では「2歳ころから」(28.4%)が最も多く、3歳時点で約6割(60.9%)がスマートフォンやタブレットを利用しています。一方、小学生児童では利用開始時期が3歳時点では約4割(37.9%)となっており、利用開始時期が低年齢化している傾向にあります。【85ページ参照】

※参考：3歳児のインターネット利用率 58.7%（令和5年度青少年のインターネット利用環境実態調査結果）

◆不妊治療を受けたことがある人が増加

不妊治療を受けたことがあると回答した割合は18.6%と前回調査(12.0%)より約7ポイント増加しています。【87ページ参照】